

現 場 説 明 書（技術的事項）

工事名 福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事

1. 現場の状況

工事場所は、福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所敷地内です。工事期間中も、出張所は通常通り業務を行っています。

2. 留意事項

①地元企業・地場製品の活用

本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。

②建設リサイクル法の適用外

本工事は建設リサイクル法に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、建設副産物入力システム（COBRIS）の計画・実施報告書を提出してください。

③現場代理人及び主任技術者等の配置

現場代理人及び主任技術者については、契約約款・建設業法等に違反しないよう適切に配置し、当該工事の施工管理を行ってください。

④安全確保

工事期間中は第三者の安全確保に必要な対策を講じてください。

⑤既存工作物等の保護

工事で既存工作物等に損傷を与えないように必要な対策を講じてください。損傷を与えた場合には、監督員及び施設管理者と協議のうえ、速やかに復旧してください。

⑥物品の移動

工事に支障のある物品がある場合は、必ず施設管理者と協議を行い移動してください。

⑦工事車両の駐車位置

工事車両の駐車位置は施設管理者と協議のうえ決定してください。また敷地内に消防・救急車両が往来するため、作業を行う場合は緊急車両の通行の妨げとならないよう対策を講じながら実施してください。

⑧騒音・振動・粉塵対策

工事中の重機等による騒音・振動・粉塵等が発生する作業を行う際は十分対策を講じてください。

⑨高所作業の安全対策

高所作業となる作業は、適切な安全対策を講じ、転落・墜落災害の防止に努めてくださ

い。

⑩工程表の提出

工程表は契約後 14 日以内に提出してください。その際、作業工程については監督員及び施設管理者と十分に協議調整の上、作成してください。また、施工計画書等も速やかに提出してください。

⑪官公署への手続き

施工上、官公署への手続きが必要な場合は、受注者の責任において速やかに行ってください。

⑫休日及び時間外作業

休日及び時間外に作業を行う場合は、監督員及び施設管理者と事前に協議してください。

⑬引込切替時の仮設対応

引込ルートの変更を行う際は、仮設工事図（E-13 参照）に記載しているとおり、仮設発電機を使用して業務に支障が出ないように、対策を講じてください。

⑭重量物の搬入等

鉄骨架台の搬入等による楊重作業時は、必要に応じて交通誘導員を配置する等の安全対策を講じてください。また、重機による振動には十分注意し、移動の際は最徐行を行う等、周辺工作物等に損傷を与えないよう対策を講じてください。

3. 関連工事

なし

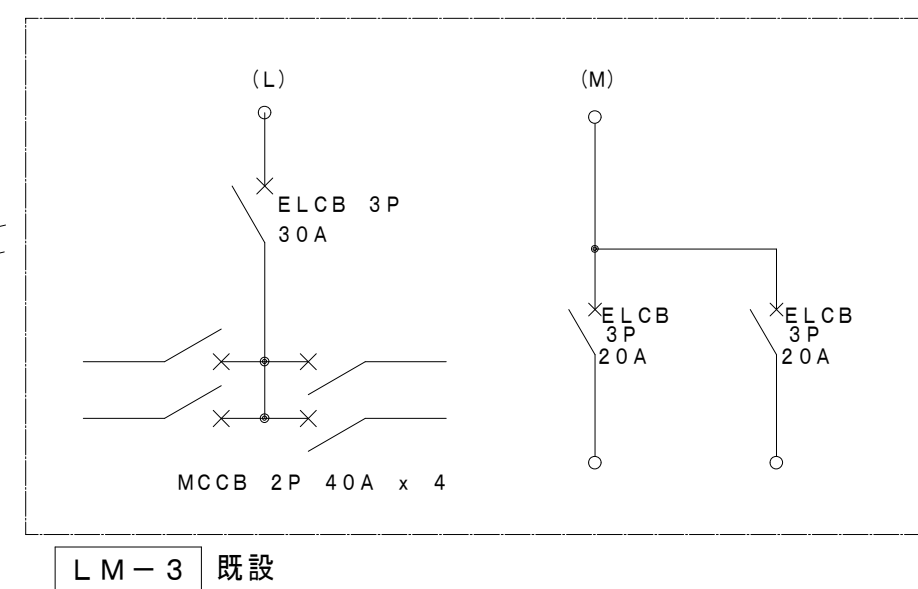
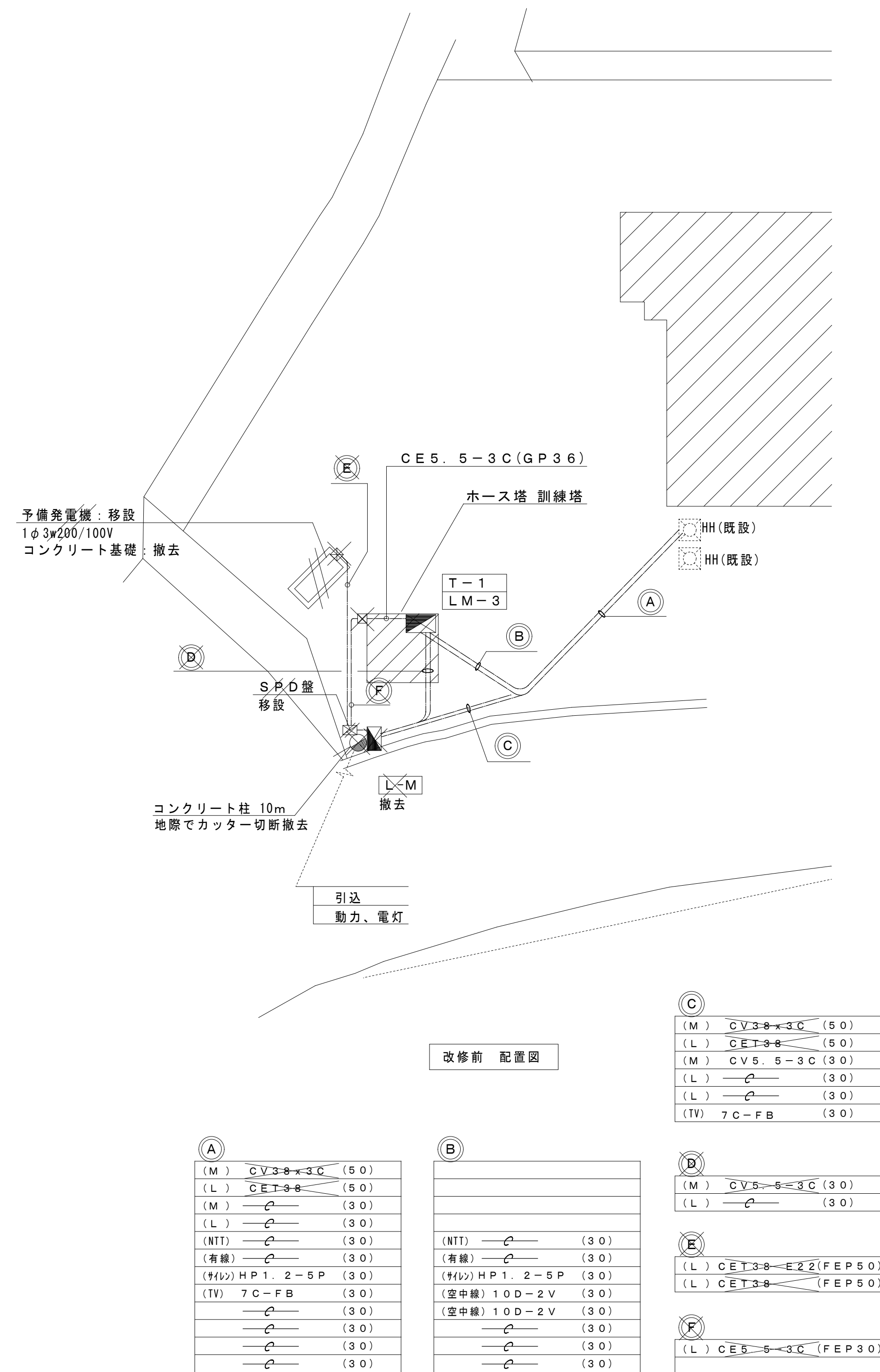
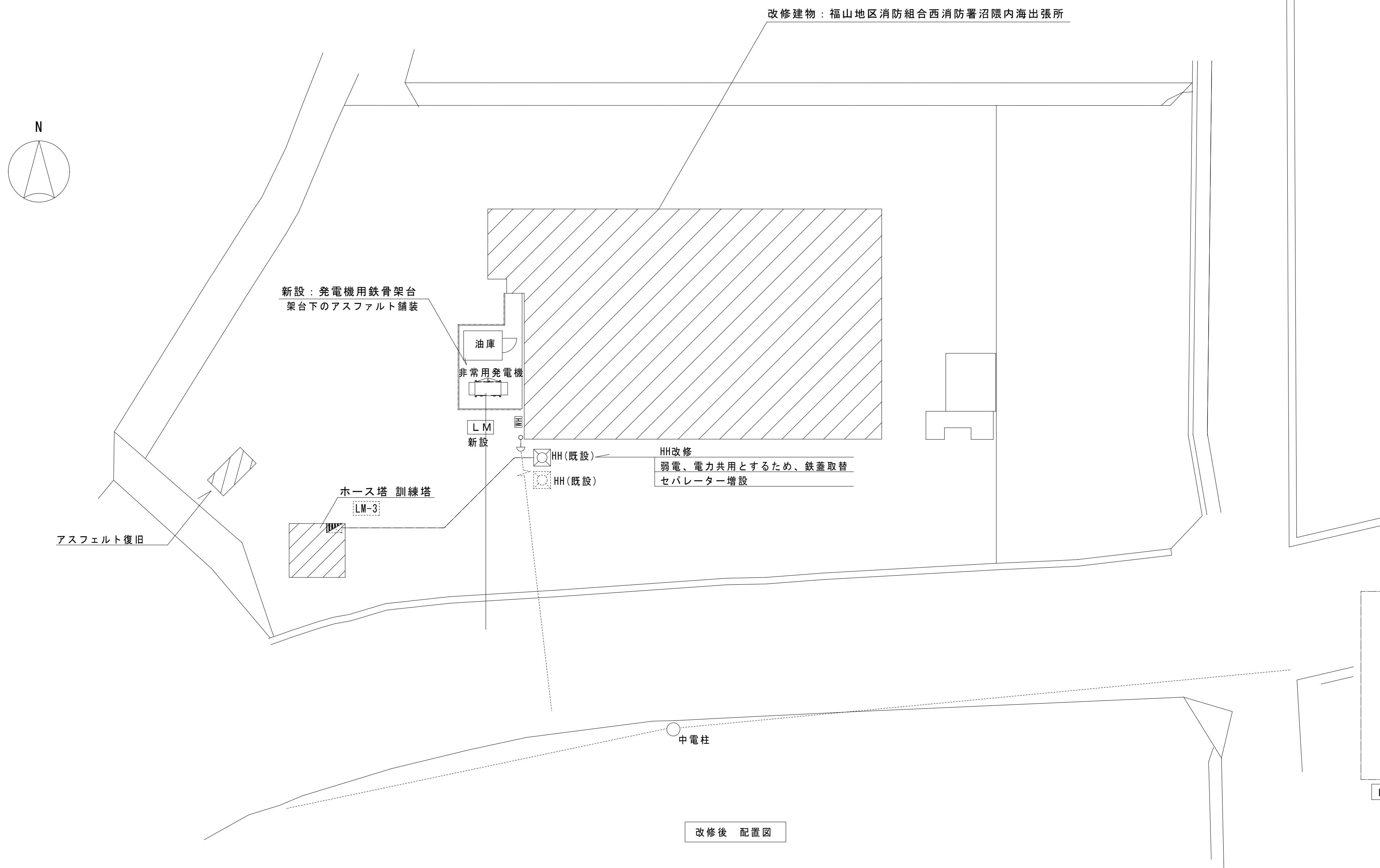
福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事

福山市建設局建築部設備課			発注	2025年 6月	
主務	次長	次長	課長補佐	設備課長	建築部長

[illegible]

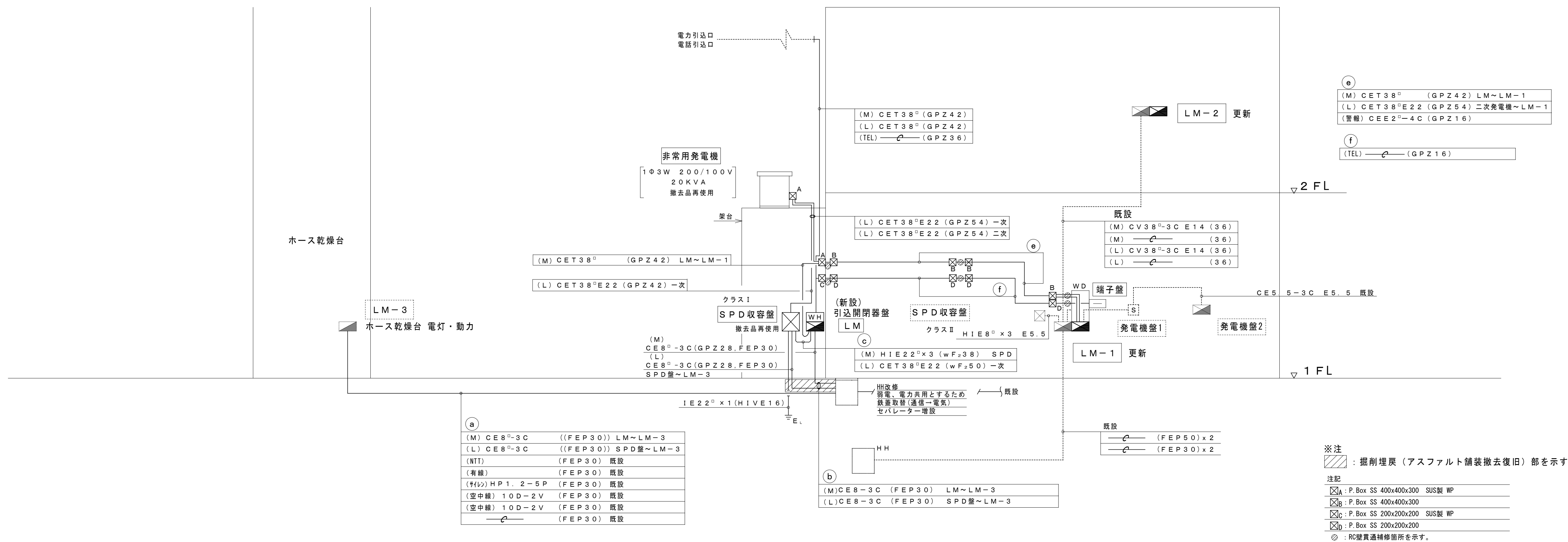


- | |
|------------------------------|
| □ 工事概要 |
| ・ 既設発電機の移設（鉄骨架台新設） |
| ・ 上記移設に伴う電気設備の改修（諸工料の支払いを含む） |
| ・ 敷地内照明器具のLED化改修 |

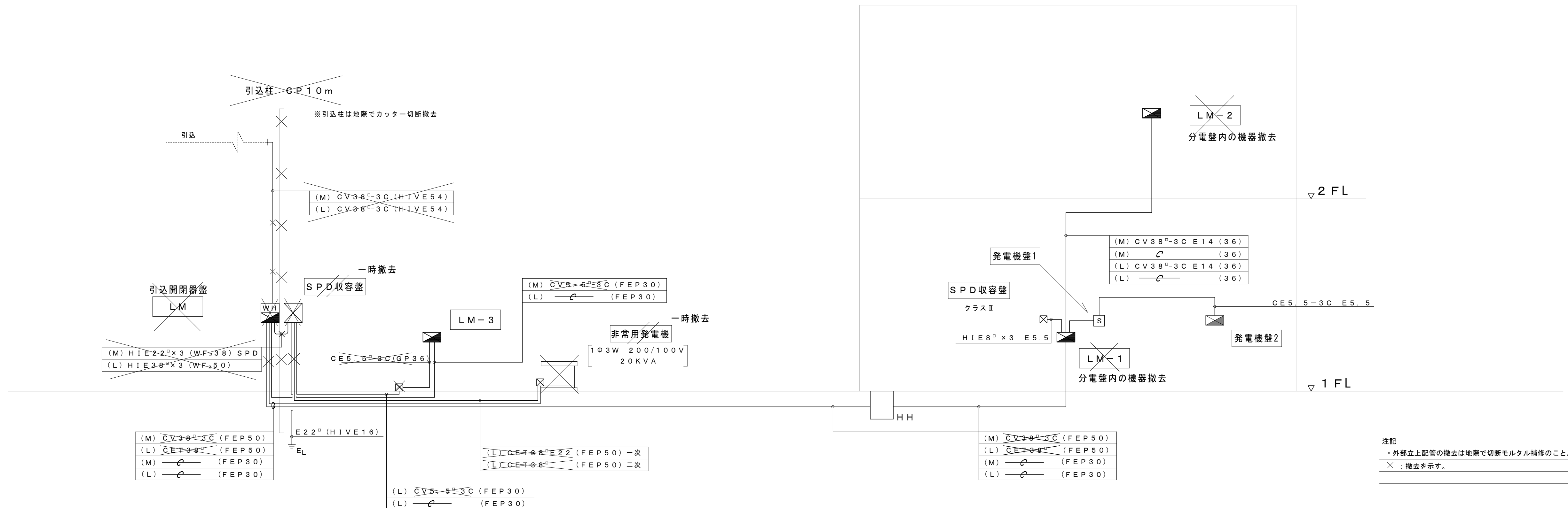


訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 TEL 084-922-3213 一級建築士 FAX 084-922-3214 第293830号 甲斐 宣行	構造設計-一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年 3月	福山市建設局建築部設備課	工事名称 福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事	区 分 電気 (E)	
				設備設計-一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 付近見取図・配置図 (改修前・改修後)	縮 尺 1 : 200	図面番号 E-02

幹線系統図（改修後）



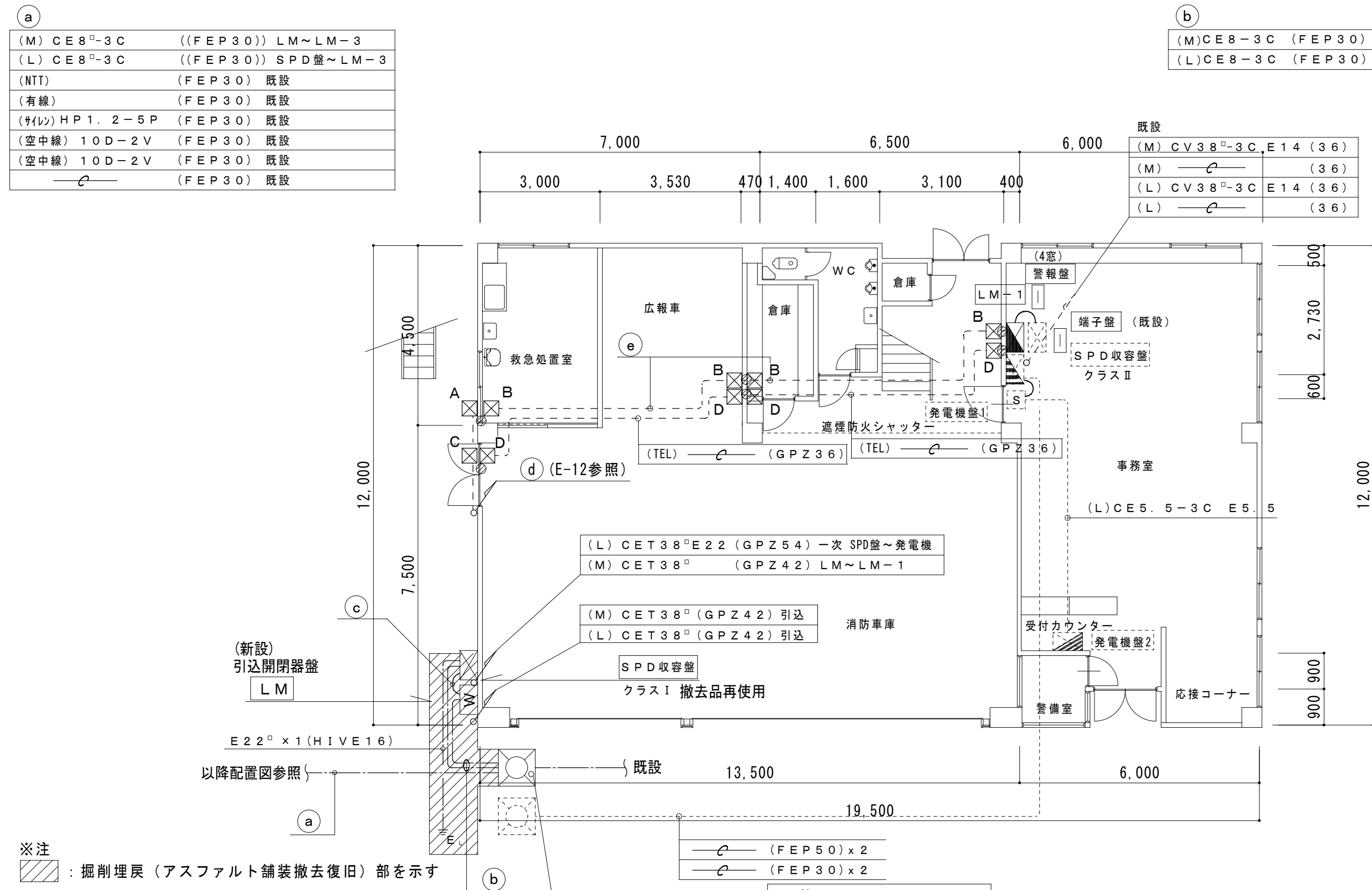
幹線系統図（改修前）



訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年 3月	福山市建設局建築部設備課	工事名称 福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事		区 分 電気 (E)
				設備設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 幹線・弱電系統図 (改修前・改修後)	縮 尺 No. Scale	図面番号 E-03

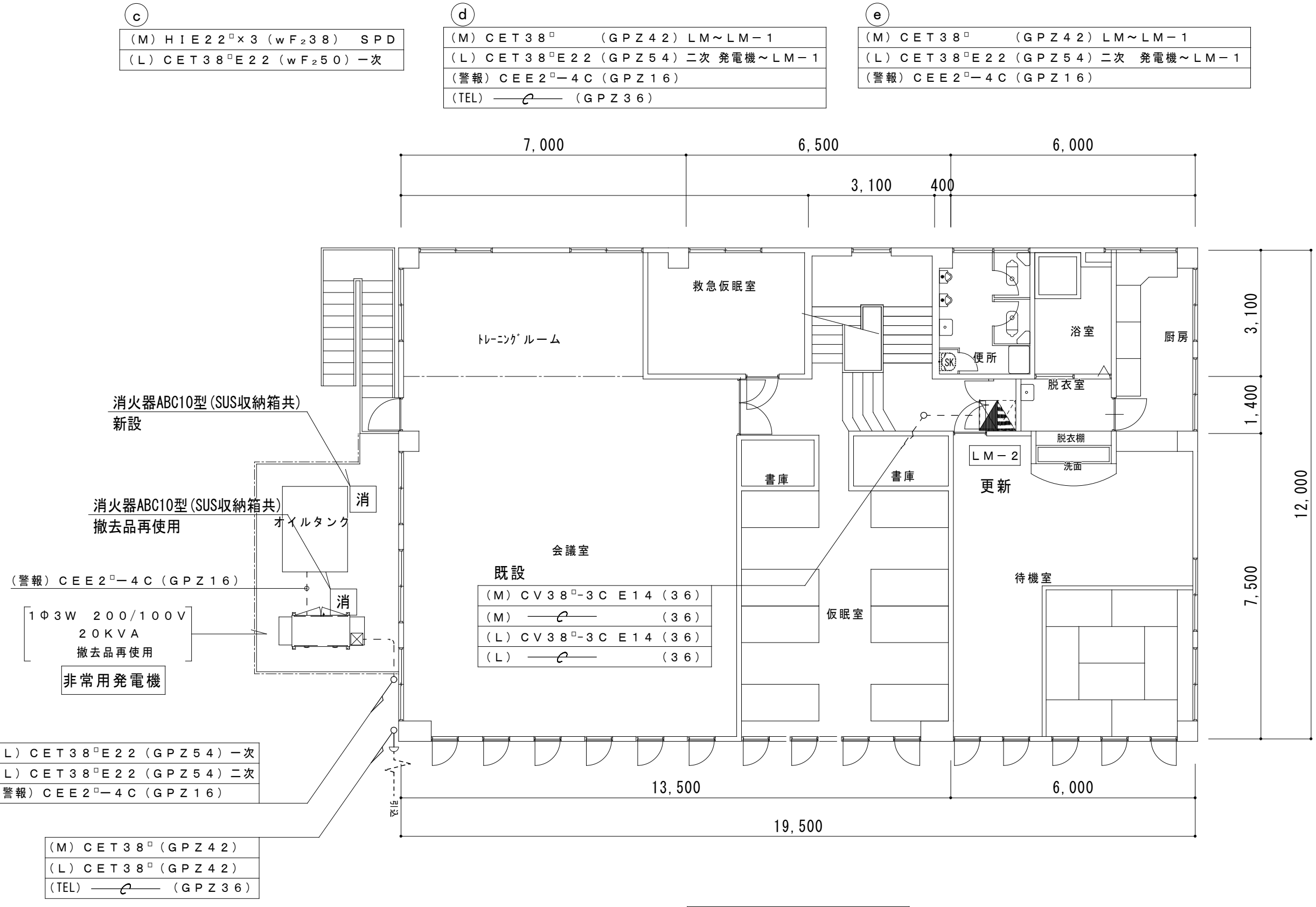
(M) CET38[□]E22 (GPZ42) LM~LM-1
(L) CET38[□] (GPZ42) LM~LM-1

改修後平面図 S=1:100



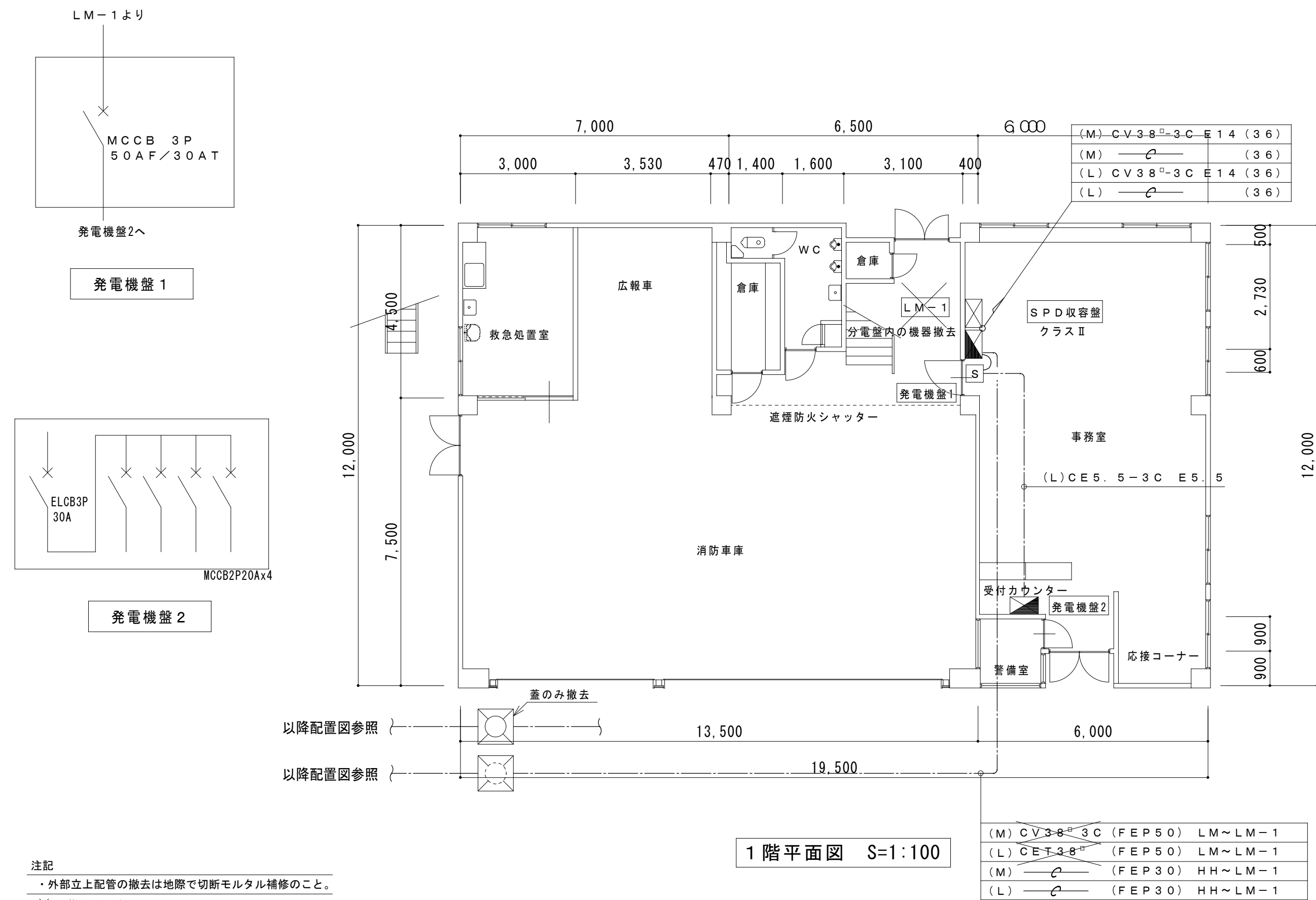
※注
斜線：掘削埋戻 (アスファルト舗装撤去復旧) 部を示す
注記
A: P.Box SS 400x400x300 SUS製 WP セバ付
B: P.Box SS 400x400x300 セバ付
C: P.Box SS 200x200x200
D: P.Box SS 200x200x200
E: RC壁貫通100φ補修箇所を示す。

1階平面図 S=1:100



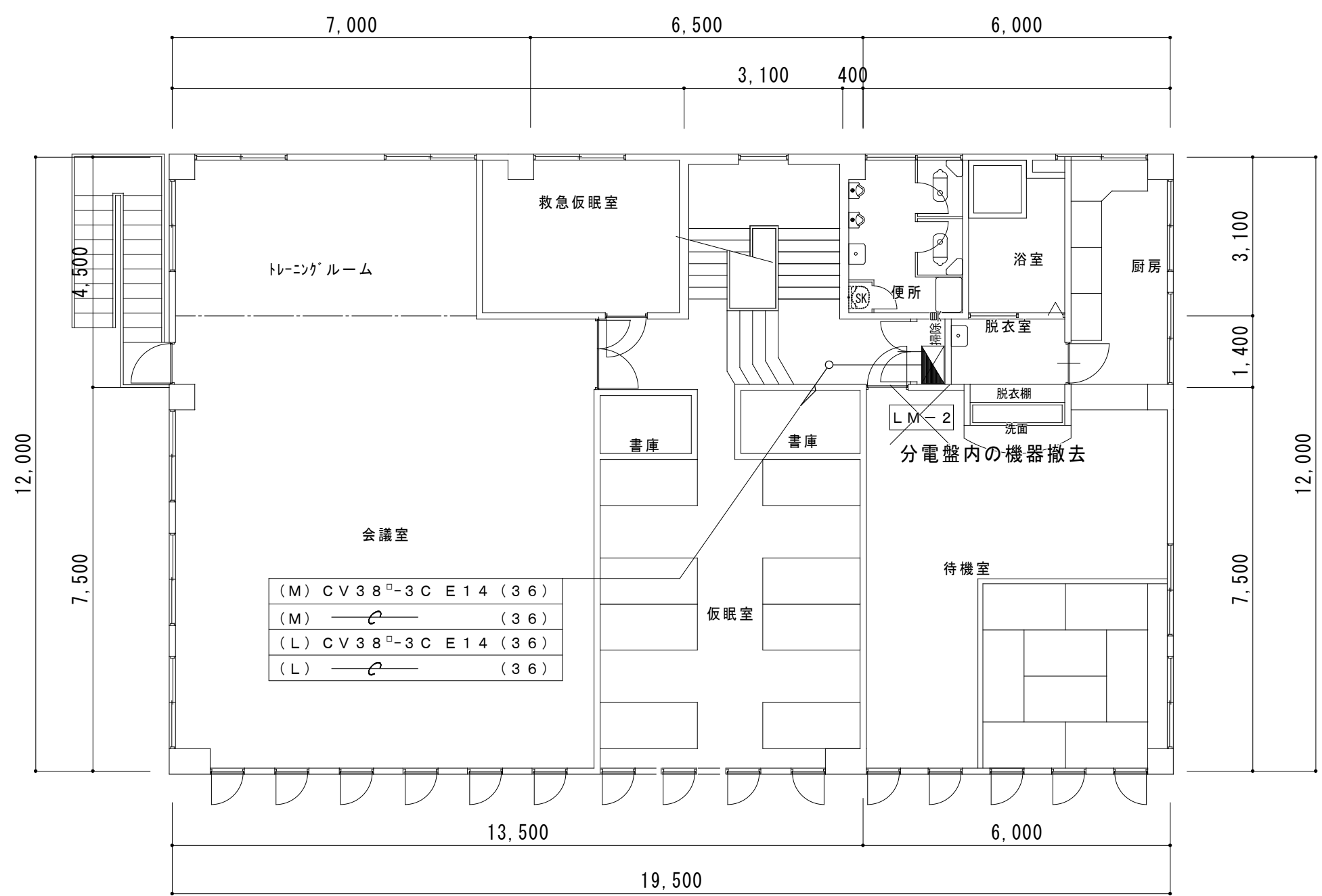
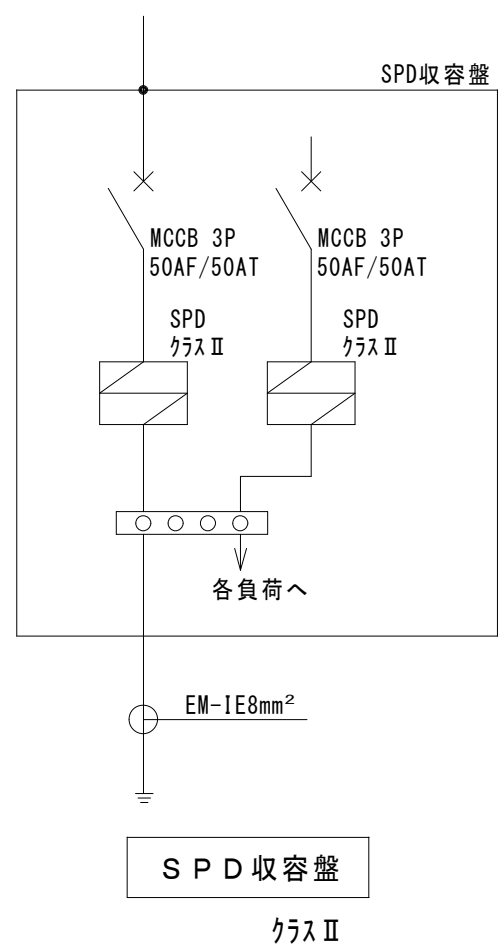
2階平面図 S=1:100

改修前平面図 S=1:100



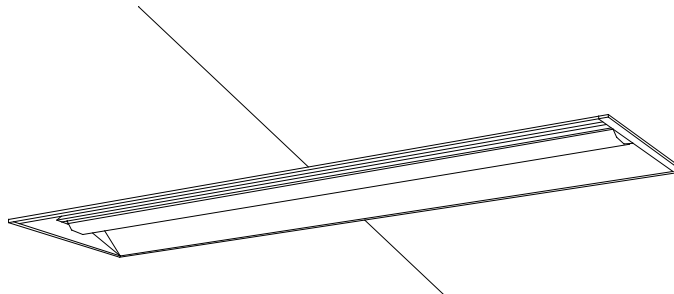
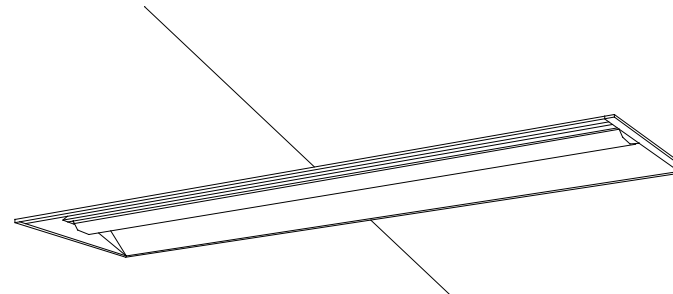
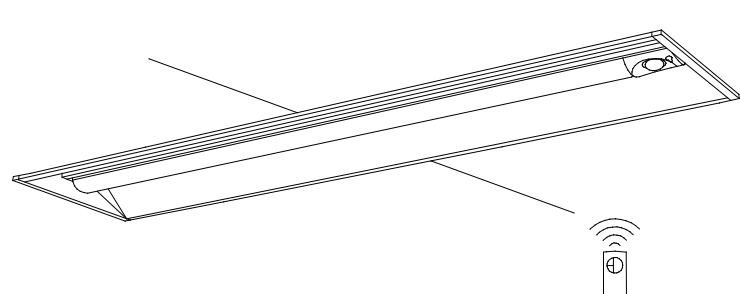
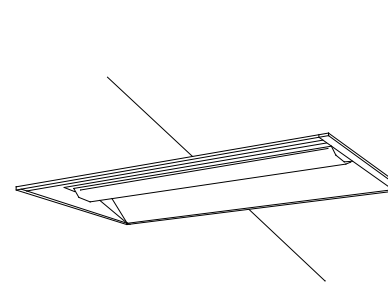
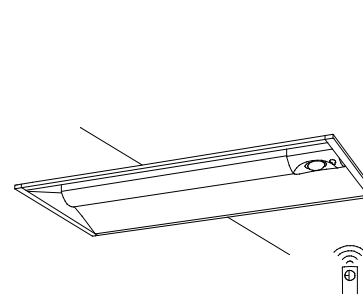
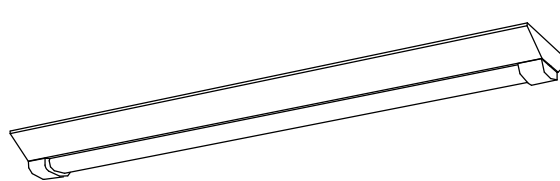
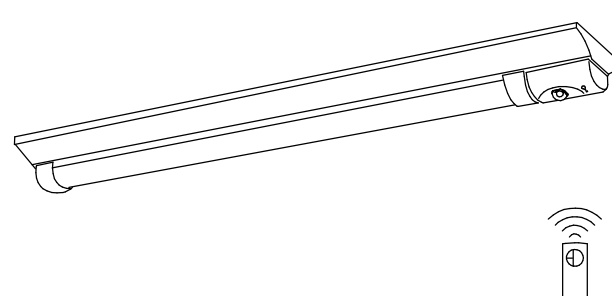
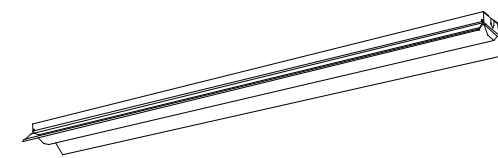
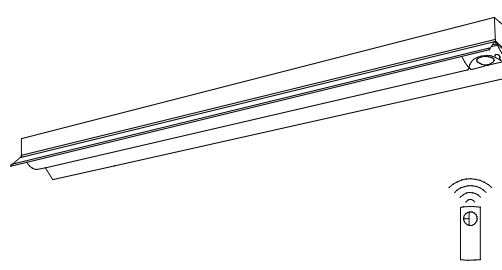
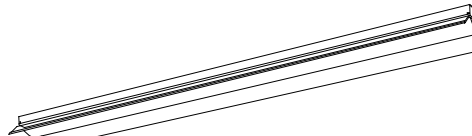
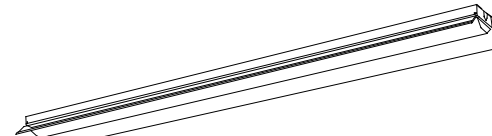
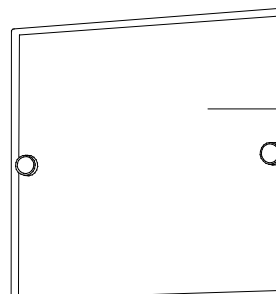
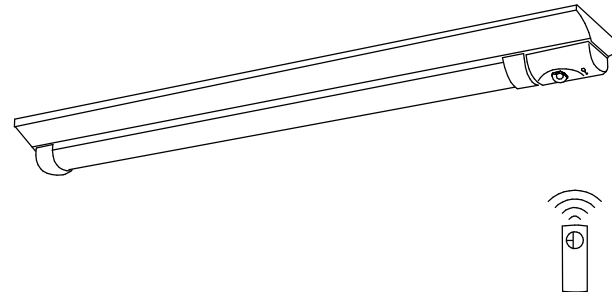
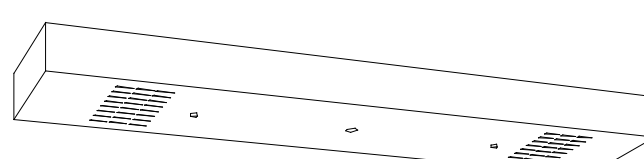
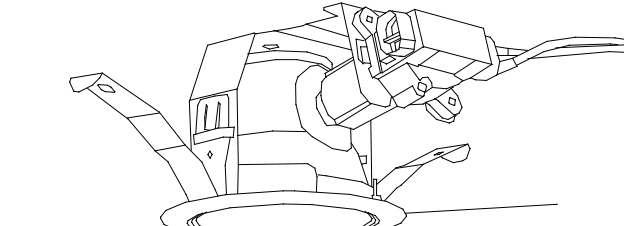
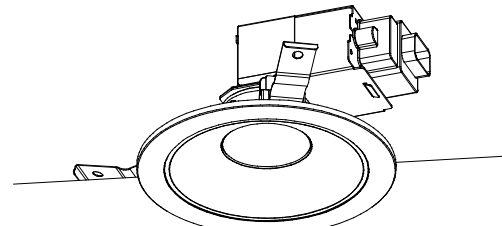
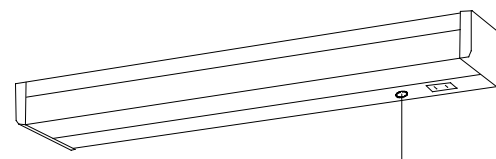
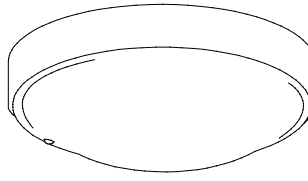
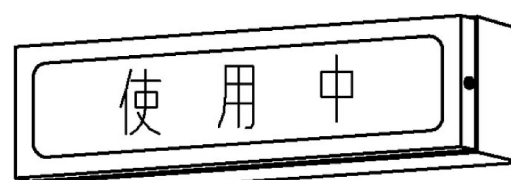
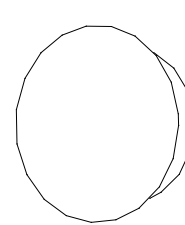
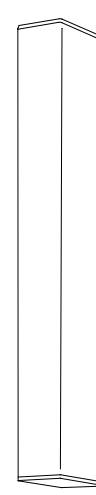
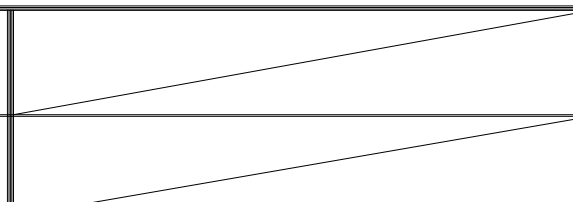
注記
・外部立上配管の撤去は地盤で切断モルタル補修のこと。
×: 撤去を示す。

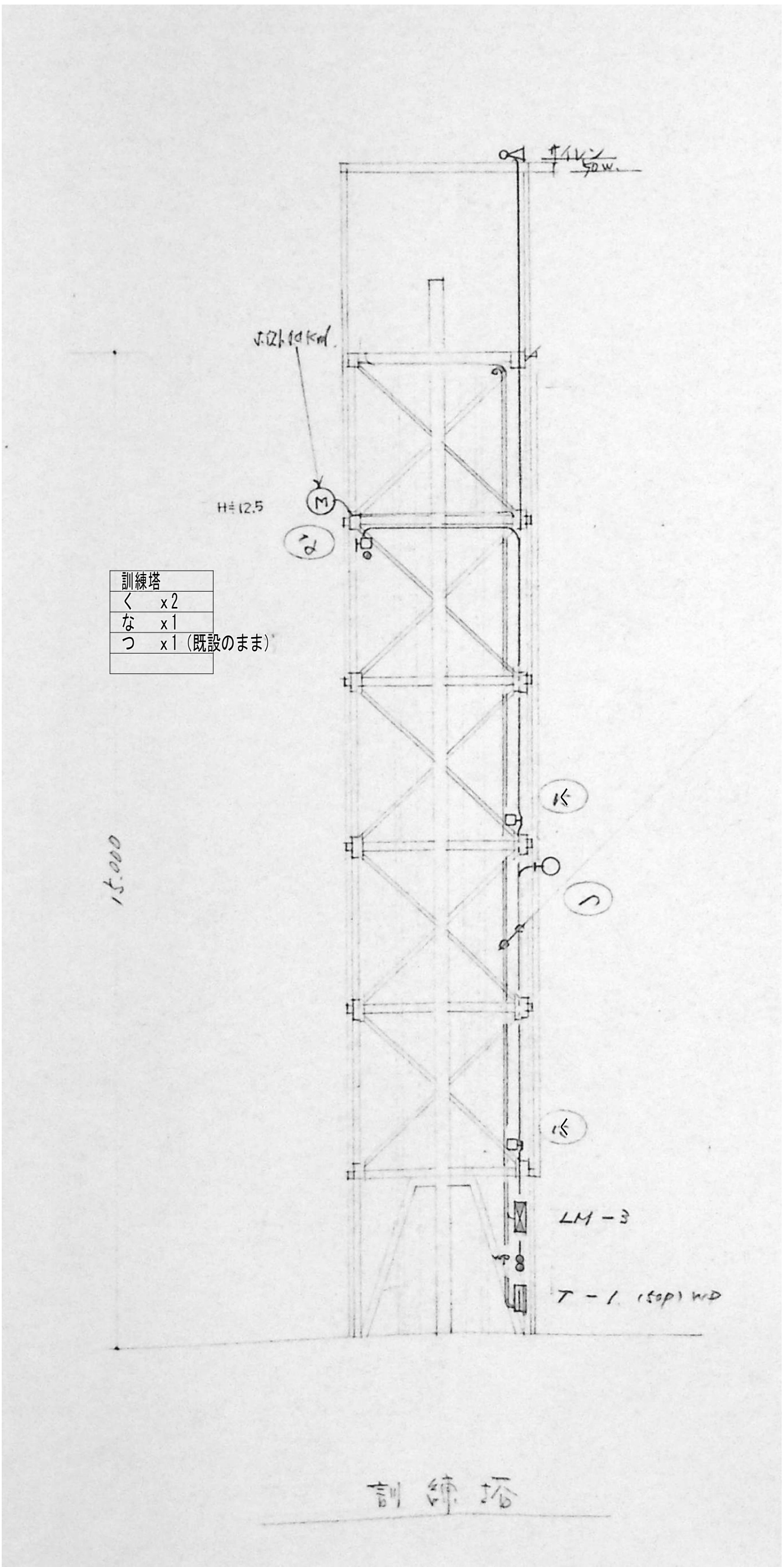
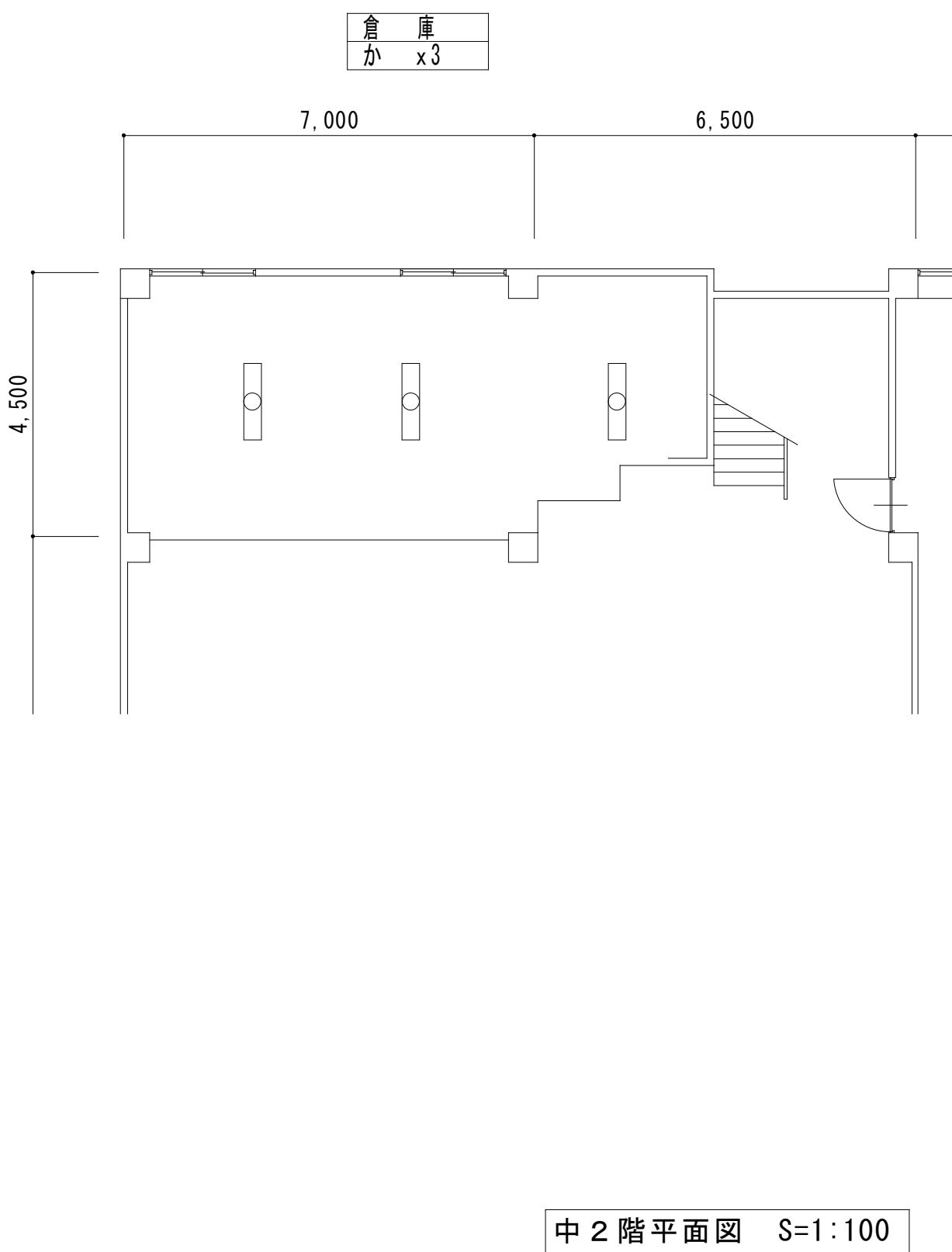
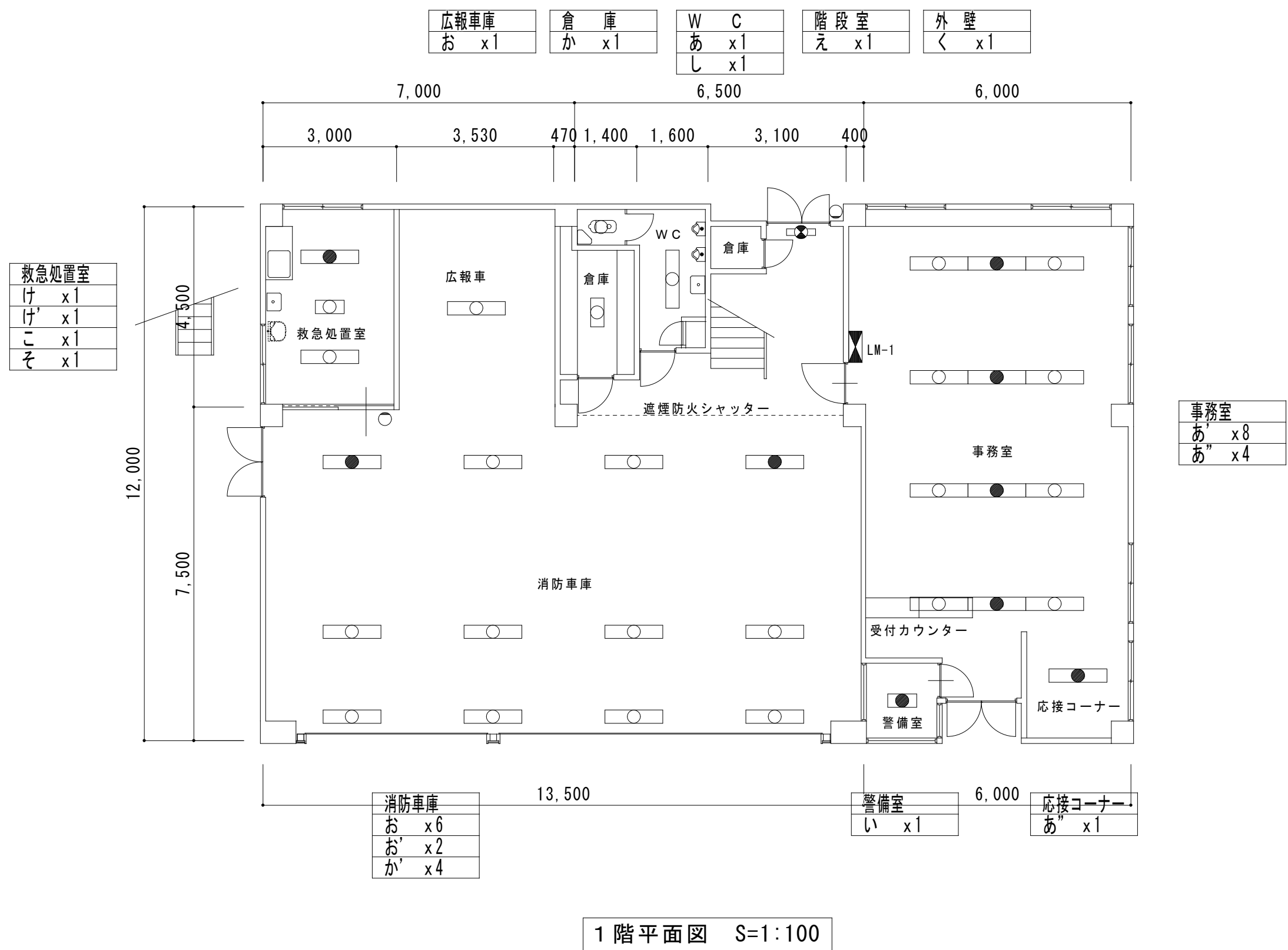
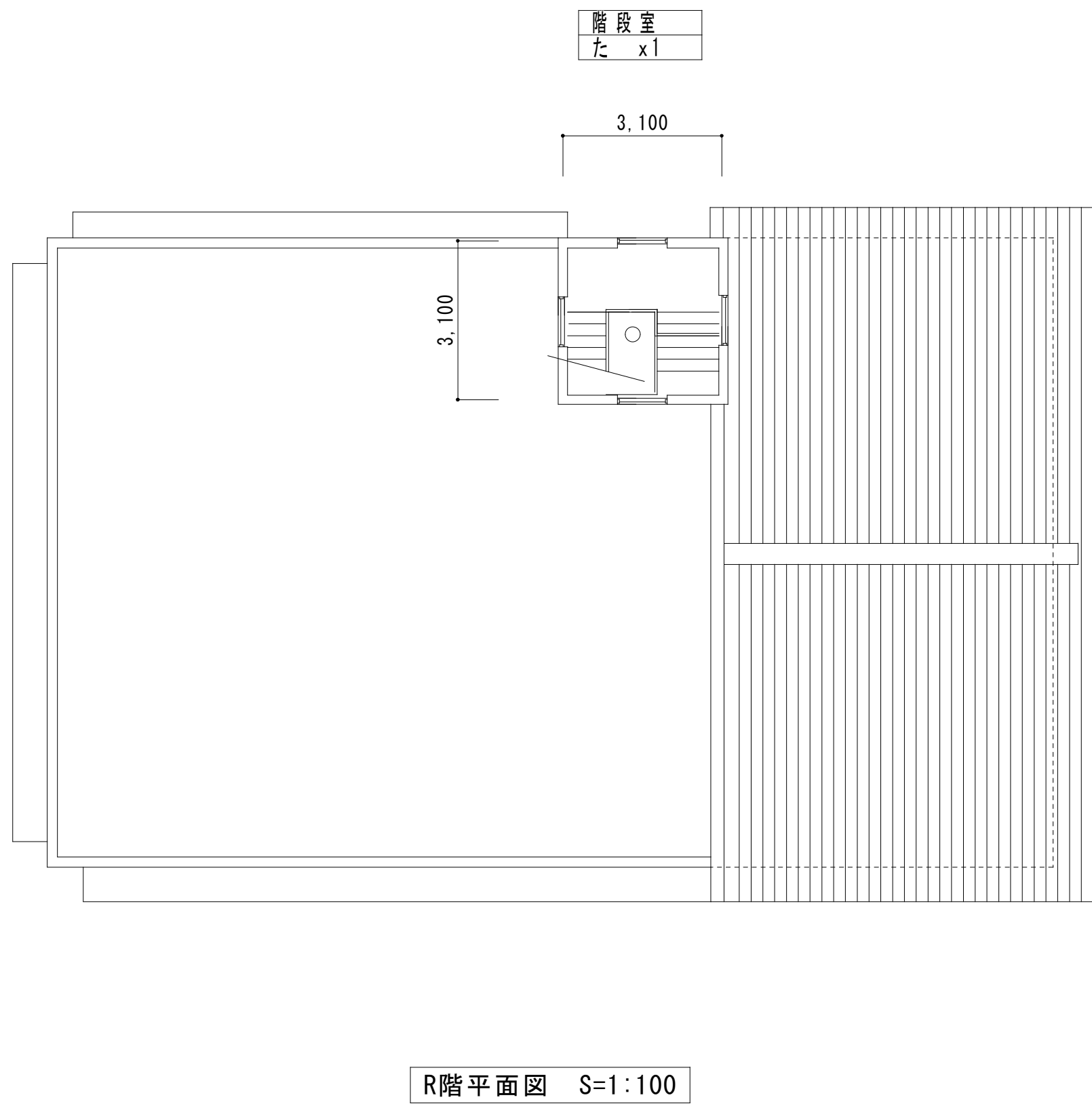
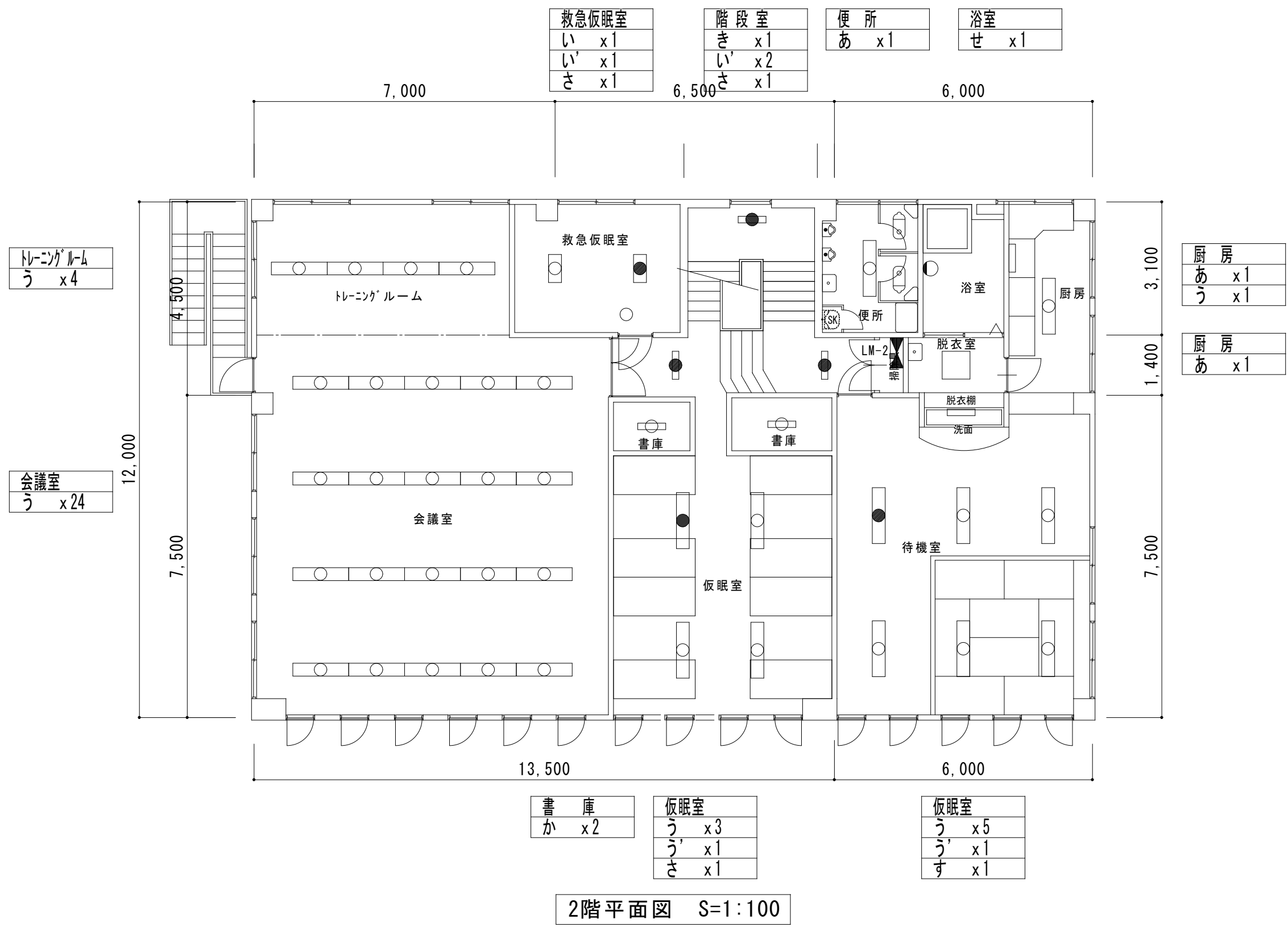
1階平面図 S=1:100



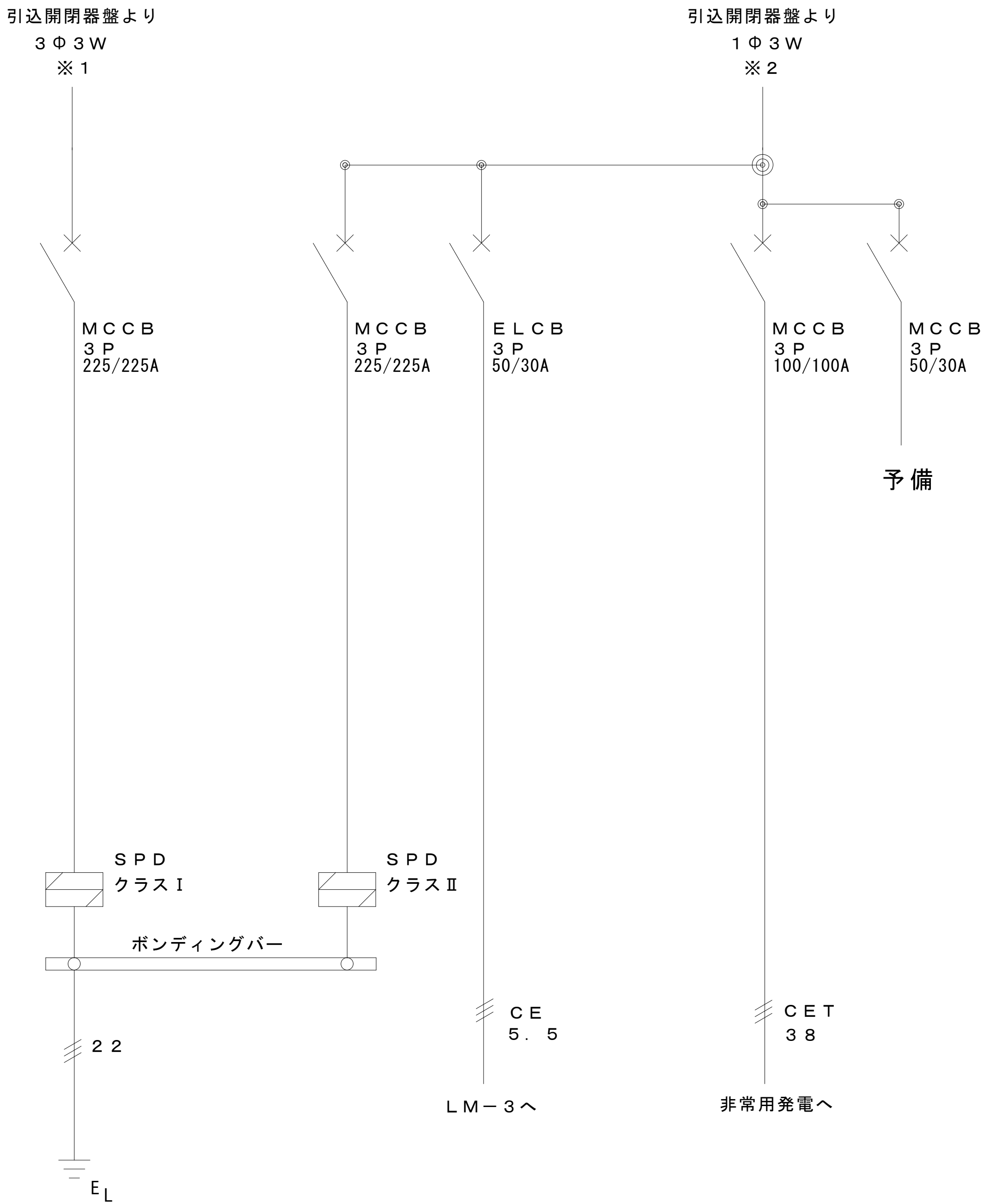
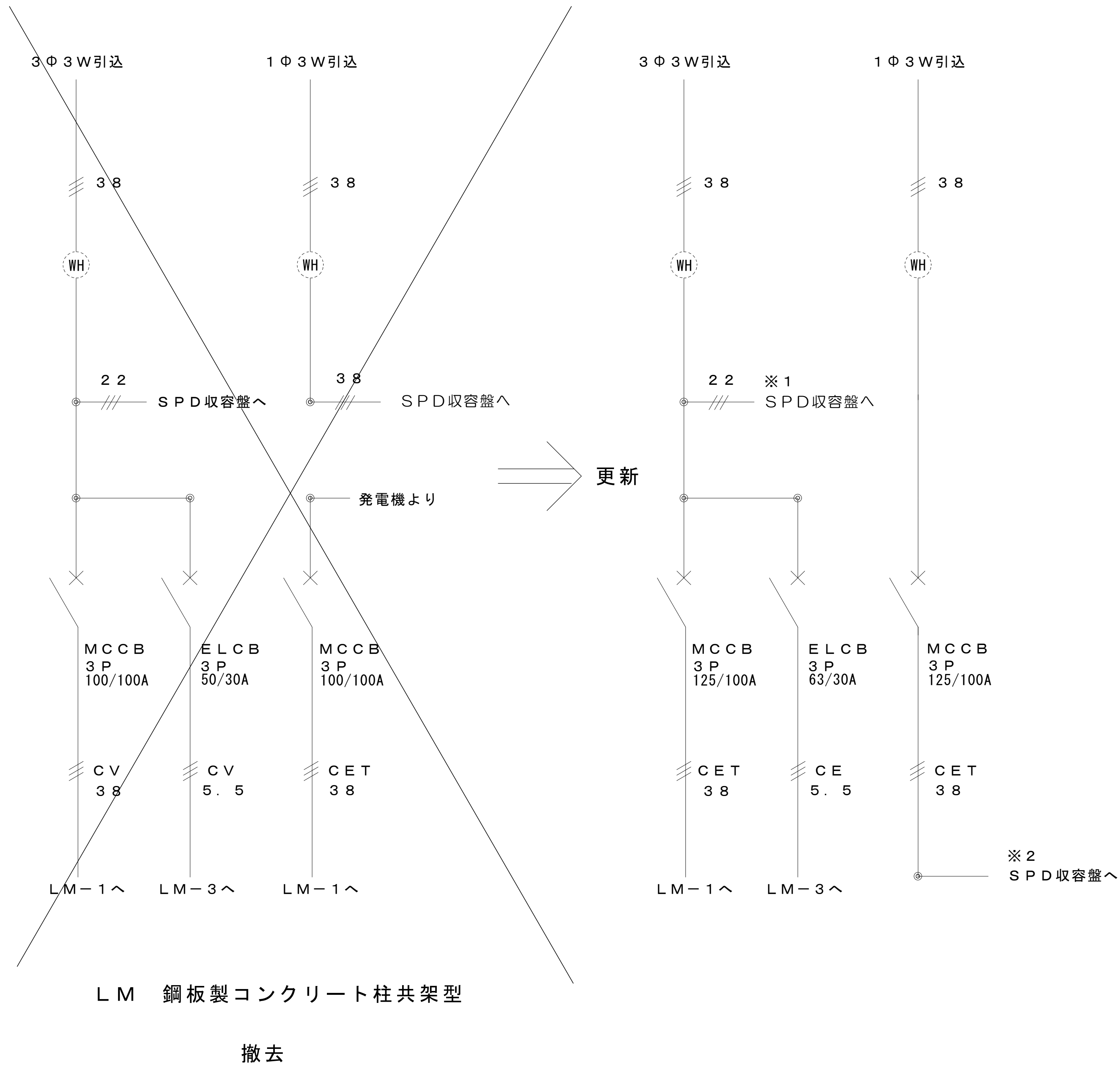
2階平面図 S=1:100

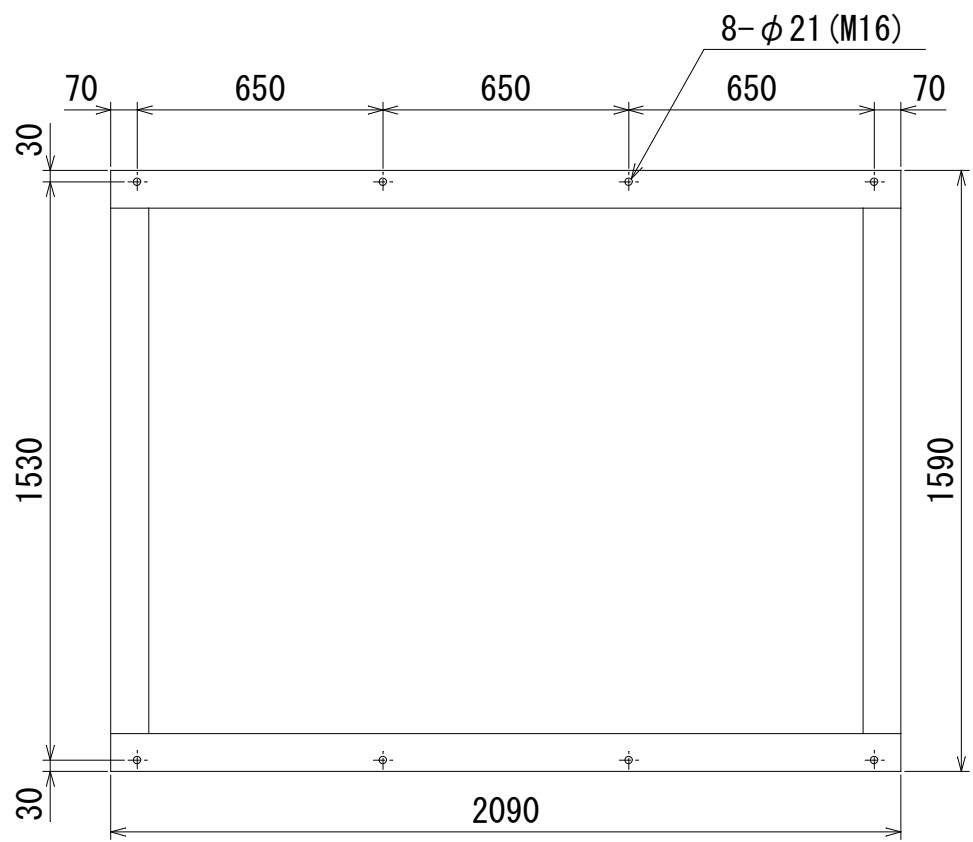
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 有 限 公 司 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和7年3月	福山市建設局建築部設備課	工事名称 福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事		区 分 電気(E)
				設備設計一級建築士 第 号		作図 変更年月	図面名称 幹線・弱電設備 平面図(改修前・改修後)		縮 尺 1/50	図面番号 E-04	

																																																																						
ランプ光束：2500lm以上 消費電力：16.3W以下 本体：亜鉛銅板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）			ランプ光束：5200lm以上 消費電力：31.9W以下 本体：亜鉛銅板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）			ランプ光束：5200lm以上 非常灯タイプ 消費電力：33.4W以下 常時：非常用ライトバー点灯 非常時：非常灯本体組込LED（一般出力型）点灯 非常灯評定番号：L A L E - 0 2 7 自己充電モニタ（緑）付、リモコン：F S K 9 0 9 1 0 K			ランプ光束：1600lm以上 消費電力：11.6W以下 本体：亜鉛銅板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）			ランプ光束：1600lm以上 非常灯タイプ 消費電力：11.6W以下 常時：非常用ライトバー点灯 非常時：非常灯本体組込LED（一般出力型）点灯 非常灯評定番号：L A L E - 0 1 8 自己充電モニタ（緑）付、リモコン：F S K 9 0 9 1 0 K																																																										
あ		LEDモジュール 昼白色（5000K）	あ’	42	LEDモジュール 昼白色（5000K） LRS20-4-48	あ”	42	LEDモジュール 昼白色（5000K）	い		LEDモジュール 昼白色（5000K）	い’	42	LEDモジュール 昼白色（5000K）																																																								
																																																																						
ランプ光束：5200lm以上 消費電力：31.9W以下 ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 本体：銅板（白色粉体塗装）			ランプ光束：5200lm以上 消費電力：11.6W以下 常時：非常用ライトバー点灯 非常時：非常灯本体組込LED（高出力型）点灯 非常灯評定番号：L A L E - 0 2 7 自己充電モニタ（緑）付、リモコン：F S K 9 0 9 1 0 K			ランプ光束：1200lm以上 消費電力：11.6W以下 壁面（縦向き・横向き）取付専用 カバー：クリアアクリル（乳白） 防湿・防雨型			ランプ光束：5200lm以上 消費電力：31.9W以下 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）			ランプ光束：5200lm以上 常時：非常用ライトバー点灯 非常時：非常灯本体組込LED（一般出力型）点灯 非常用LEDレンズ：ガラス、常用ライトバー：ポリカーボネート（乳白） 非常灯評定番号：L A L E - 0 2 7 自己充電モニタ（緑）付、リモコン：F S K 9 0 9 1 0 K																																																										
う		LEDモジュール 昼白色（5000K）	う’		LEDモジュール 昼白色（5000K）	え		LEDウォールライト 20形 昼白色（5000K）	お		LEDモジュール 昼白色（5000K）	お’		LEDモジュール 昼白色（5000K）																																																								
						 <table><caption>標準取付高さ</caption><tr><th colspan="2"></th><th>1.5m</th><th>2.0m</th><th>2.5m</th><th>3.0m</th><th>4.0m</th><th>5.0m</th></tr><tr><td rowspan="2">間 隔</td><td>2lx X+</td><td>2.7</td><td>3.5</td><td>4.2</td><td>4.8</td><td>4.7</td><td>1.9</td></tr><tr><td>1lx x</td><td>2.7</td><td>3.6</td><td>4.5</td><td>5.3</td><td>4.7</td><td>1.1</td></tr><tr><td rowspan="2">配 電</td><td>2lx X+</td><td>2.7</td><td>3.5</td><td>4.2</td><td>4.7</td><td>4.5</td><td>1.3</td></tr><tr><td>1lx x</td><td>2.7</td><td>3.6</td><td>4.4</td><td>5.2</td><td>6.6</td><td>7.0</td></tr><tr><td rowspan="2">電 圧</td><td>2lx X+</td><td>2.6</td><td>3.4</td><td>4.1</td><td>4.5</td><td>4.3</td><td>1.1</td></tr><tr><td>1lx x</td><td>2.7</td><td>3.6</td><td>4.4</td><td>5.2</td><td>6.5</td><td>6.9</td></tr></table>					1.5m	2.0m	2.5m	3.0m	4.0m	5.0m	間 隔	2lx X+	2.7	3.5	4.2	4.8	4.7	1.9	1lx x	2.7	3.6	4.5	5.3	4.7	1.1	配 電	2lx X+	2.7	3.5	4.2	4.7	4.5	1.3	1lx x	2.7	3.6	4.4	5.2	6.6	7.0	電 圧	2lx X+	2.6	3.4	4.1	4.5	4.3	1.1	1lx x	2.7	3.6	4.4	5.2	6.5	6.9	ランプ光束：2500lm以上 消費電力：16.3W以下 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 非常灯評定番号：L A L E - 0 2 7			ランプ光束：321lm以上 消費電力：4.3W以下 本体：プラスチック（ホワイト） カバー：ガラス（乳白） 防湿型・防雨型、ネジ込み方式、天井・壁直付型 カバーキャッチ付			ランプ光束：5200lm以上 消費電力：32.5W以下 常時：非常用ライトバー点灯 非常時：非常灯本体組込LED（高出力型）点灯 本体：亜鉛銅板（クロムフリー・高反射白色粉体塗装） 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）+アクリルコーティング IP23防湿型		
		1.5m	2.0m	2.5m	3.0m	4.0m	5.0m																																																															
間 隔	2lx X+	2.7	3.5	4.2	4.8	4.7	1.9																																																															
	1lx x	2.7	3.6	4.5	5.3	4.7	1.1																																																															
配 電	2lx X+	2.7	3.5	4.2	4.7	4.5	1.3																																																															
	1lx x	2.7	3.6	4.4	5.2	6.6	7.0																																																															
電 圧	2lx X+	2.6	3.4	4.1	4.5	4.3	1.1																																																															
	1lx x	2.7	3.6	4.4	5.2	6.5	6.9																																																															
か		LEDモジュール 昼白色（5000K）	か’		LEDモジュール 昼白色（5000K）	き		LED階段通路誘導灯	く	1	ポーチライト 40形電球1灯器具相当 電球色（2700K）	け		LEDモジュール 昼白色（5000K）																																																								
																																																																						
ランプ光束：5200lm以上 消費電力：11.6W以下 常時：非常用ライトバー点灯 非常時：非常灯本体組込LED（高出力型）点灯 非常灯評定番号：L A L E - 0 2 0、非常用LEDレンズ：ガラス 自己充電モニタ（緑）付、リモコン：F S K 9 0 9 1 0 K 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）+アクリルコーティング			殺菌線導光方式 消費電力：28.9W以下 本体：亜鉛銅板 カバー：銅板（ホワイトつや消し仕上）			ランプ光束：480lm以上 消費電力：6.0W以下 反射板：アルミ（銀色仕上） 枠：（ホワイトつや消し） 埋込穴φ85			ランプ光束：495lm以上 消費電力：4.5W以下 枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し） 拡散タイプ、高気密S形 埋込穴φ150			ランプ光束：980lm以上 消費電力：12.0W以下 カバー：プラスチック（乳白） 亜鉛銅板（クロムフリー・高反射白色粉体塗装） 拡散タイプ、コンセント付 プルスイッチ付、両面化粧タイプ																																																										
け’		LEDモジュール 昼白色（5000K）	こ		殺菌灯	さ		LEDモジュール 昼白色（5000K）	し		LEDモジュール 昼白色（5000K）	す		LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当 昼白色（5000K）																																																								
												注記 1. 特記なき限り市販品とし、特注品は明記のこと。 2. 形状および寸法は参考とする。 3. リニューアル用器具を基本とする。 4. リモコンは2台納入すること。																																																										
ランプ光束：705lm以上 消費電力：7.5W以下 カバー：ガラス（乳白） プラスチック（ホワイト） 防湿型・防雨型、ネジ込み方式			ランプ：含む 消費電力：5.0W以下 本体・枠：銅板 パネル表示：使用中			ランプ光束：365lm以上 消費電力：4.3W以下 カバー：ガラス（乳白） プラスチック（ホワイト） 防湿型・防雨型、ネジ込み方式、天井・壁直付型 天井直付型・壁直付型、保護等級：IP23			ランプ光束：990lm以上 消費電力：10.0W以下 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 防湿型・防雨型、ネジ込み方式、天井・壁直付型 天井直付型・壁直付型、保護等級：IP23																																																													
せ		LEDシーリングライト 20形丸形蛍光灯1灯器具相当 昼白色（5000K）	そ	1	LEDベースライト 表示灯（直付型片面灯） 昼白色（5000K）	た	1	ポーチライト 40形電球1灯器具相当 電球色（2700K）	な	1	LEDウォールライト 20形 昼白色（5000K）	LBF3MP/RP-2-06																																																										
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社				構造設計一般建築士 第 号			担当 - 作図	設計年月 令和7年 3月 変更年月	福山市建設局建築部設備課			工事名称 福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事	区 分 電気(E)																																																						
			〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 FAX 084-922-3214 第293830号 甲斐 宣行				設備設計一般建築士 第 号					電灯設備 参考姿図（改修後）			縮 尺 No. Scale	図面番号 E-05																																																						

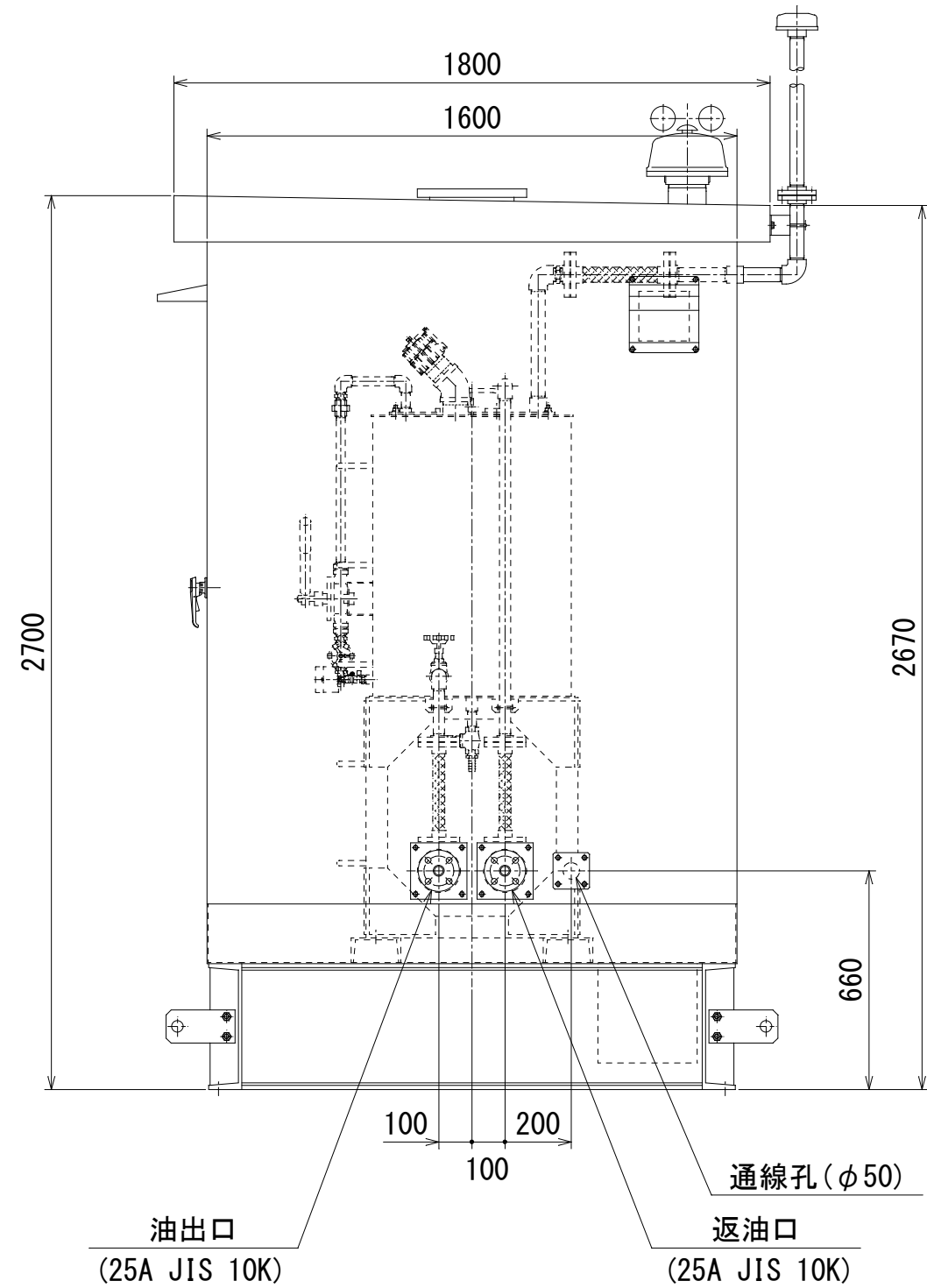
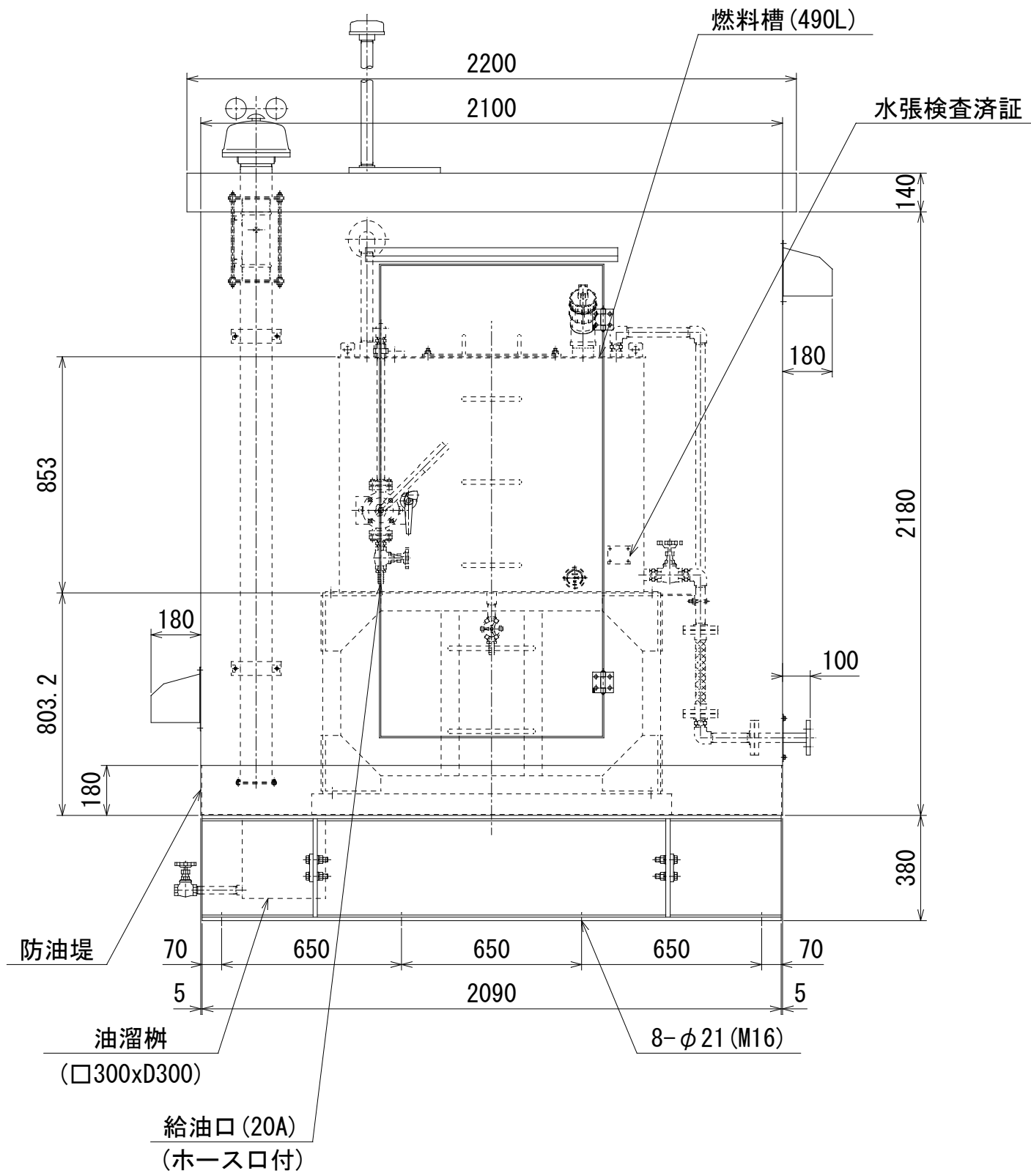
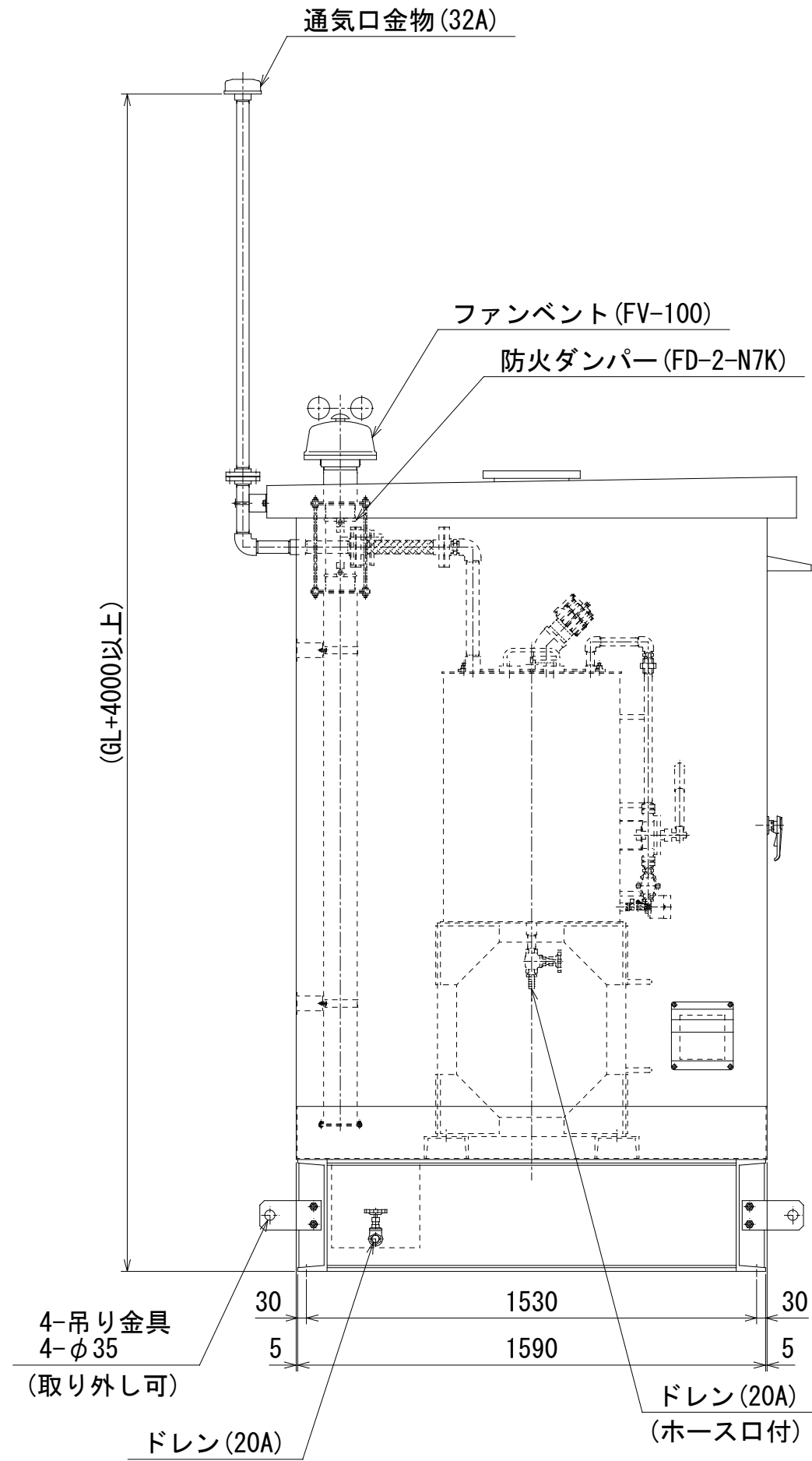
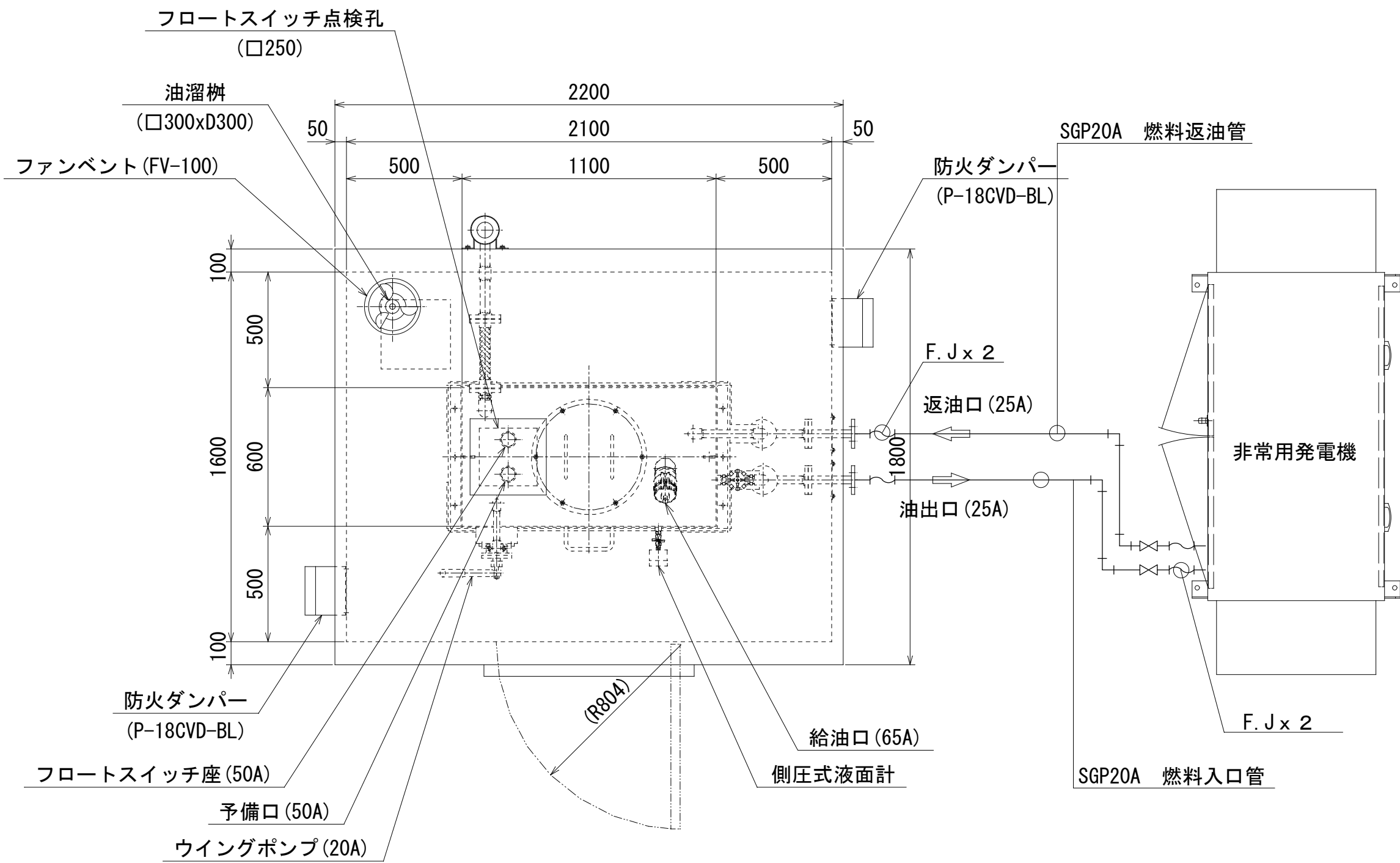


										縮尺率		A-1: 100%	A-2: 71%	A-3: 50%
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社			構造設計一級建築士 第 号		担当	設計年月	福山市建設局建築部設備課	工事名称 福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事			区 分
			〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214			一級建築士事務所所長島根知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行		-	令和 7 年 3 月		図面名称		縮 尺	図面番号
								作図	変更年月		電灯設備 平面図(改修後)		1 : 100	E-06





アンカーピッチ（ベース）図



燃料タンク容量計算書

全容量
 $(1100-9) \times (600-9) \times (853-9) \times 10^{-6}$
 $= 1091 \times 591 \times 844 \times 10^{-6} = 544.2 \text{ L}$
空間容量
 $544.2 - 490 = 54.2 \text{ L}$
空間容量比
 $54.2 \div 544.2 \times 100(\%) = 9.96 \%$
結論
規定(5%以上、10%以下)を満足する故、本容量にて可とする。

防油堤容量計算書

計算
 $(2100-6.4) \times (1600-6.4) \times (180-3.2) \times 10^{-6}$
 $= 2093.6 \times 1593.6 \times 176.8 \times 10^{-6} = 589.9 \text{ L}$
結論
タンク容量の110%(490x1.1=539 L)以上故、本容量にて充分である。

材料一覧表

タンク本体		
底板	SS400 (t4.5)	JIS G 3101 一般構造用圧延鋼板
側板	SS400 (t4.5)	JIS G 3101 一般構造用圧延鋼板
天板	SS400 (t4.5)	JIS G 3101 一般構造用圧延鋼板

タンク用架台		
架台	SS400	JIS G 3192 熱間圧延形鋼

油庫		
本体	SPHC-P (t2.3)	JIS G 3131 熱間圧延鋼板
防油堤	SPHC-P (t3.2)	JIS G 3131 熱間圧延鋼板
ベース	SS400	JIS G 3192 熱間圧延形鋼

配管		
パイプ	SGP	JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管

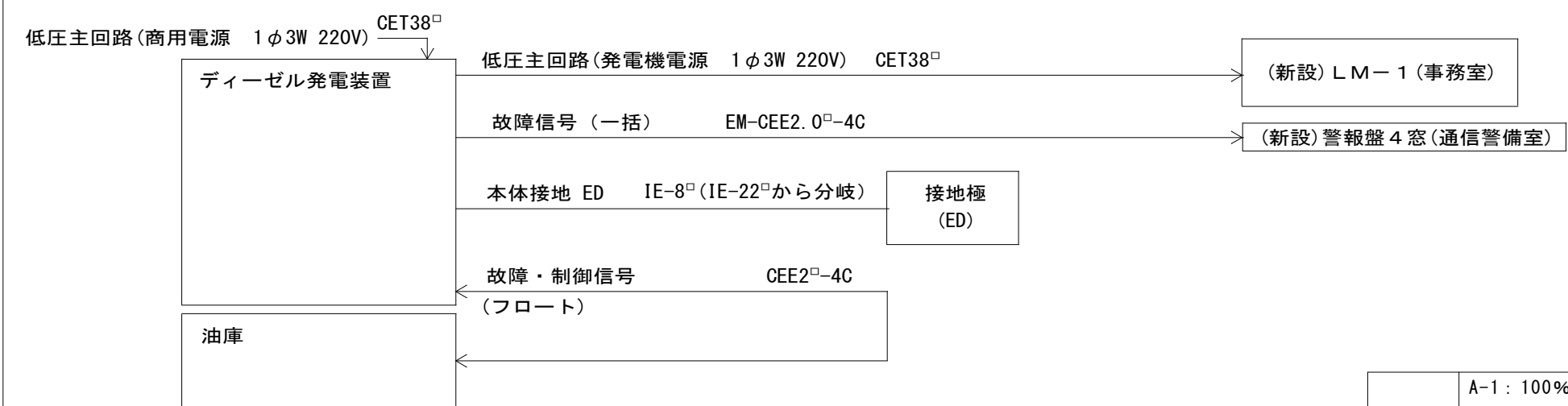
塗 装（標準塗装）

素地調整
サンドペーパー等にて目荒し後、充分に脱脂をする。
下塗り
カンベ焼付ブラサFTUNEホワイト。（膜厚20μ以上）
中塗り
アミラック3000メラミン焼付。（膜厚20μ以上）
上塗り
ウレタン樹脂系塗料。（膜厚20μ以上）
塗装色
マンセル、5Y7／1（半ツヤ）とする。

その他

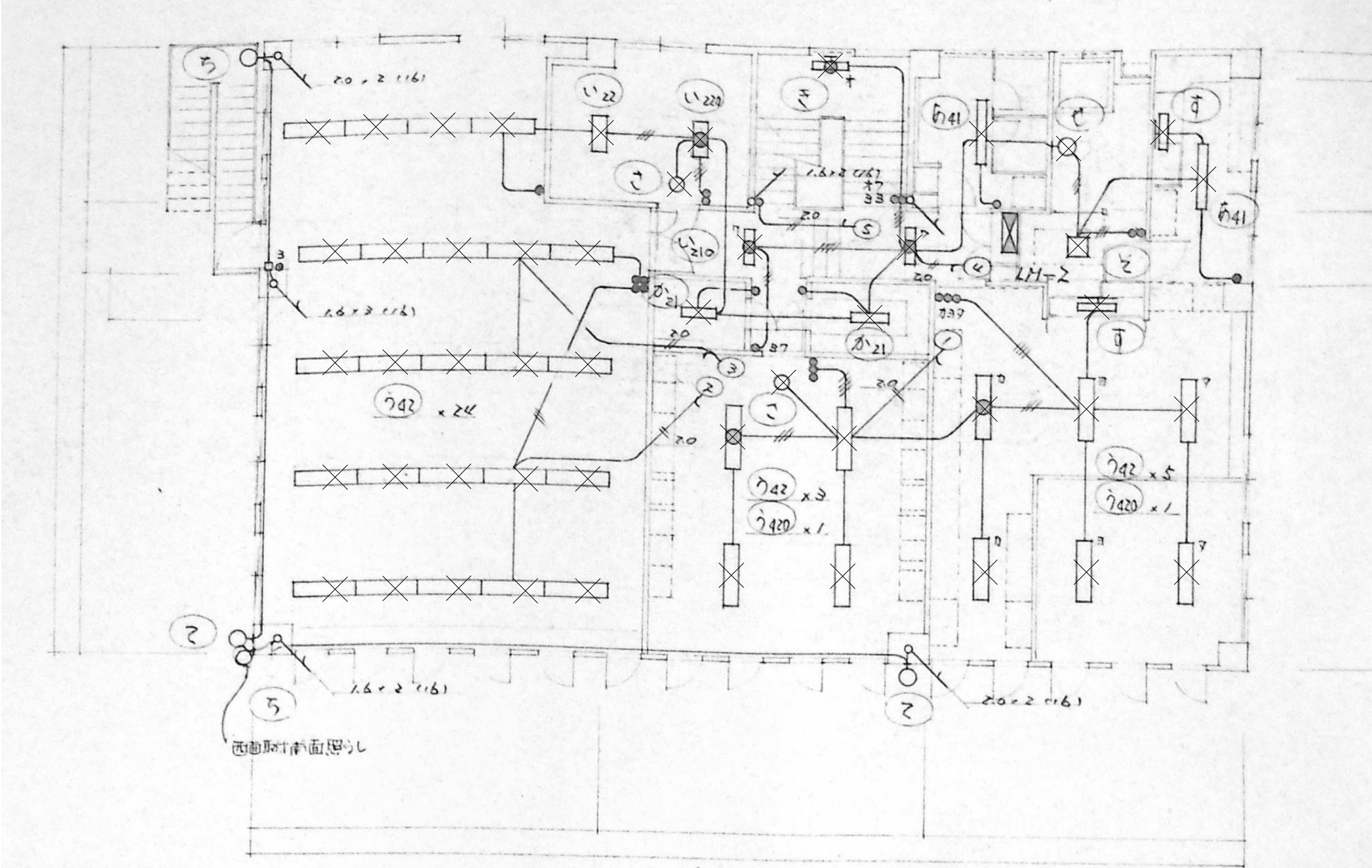
燃料
燃料タンクの設置の際に、燃料（軽油）を満杯に補充すること。

配線系統図

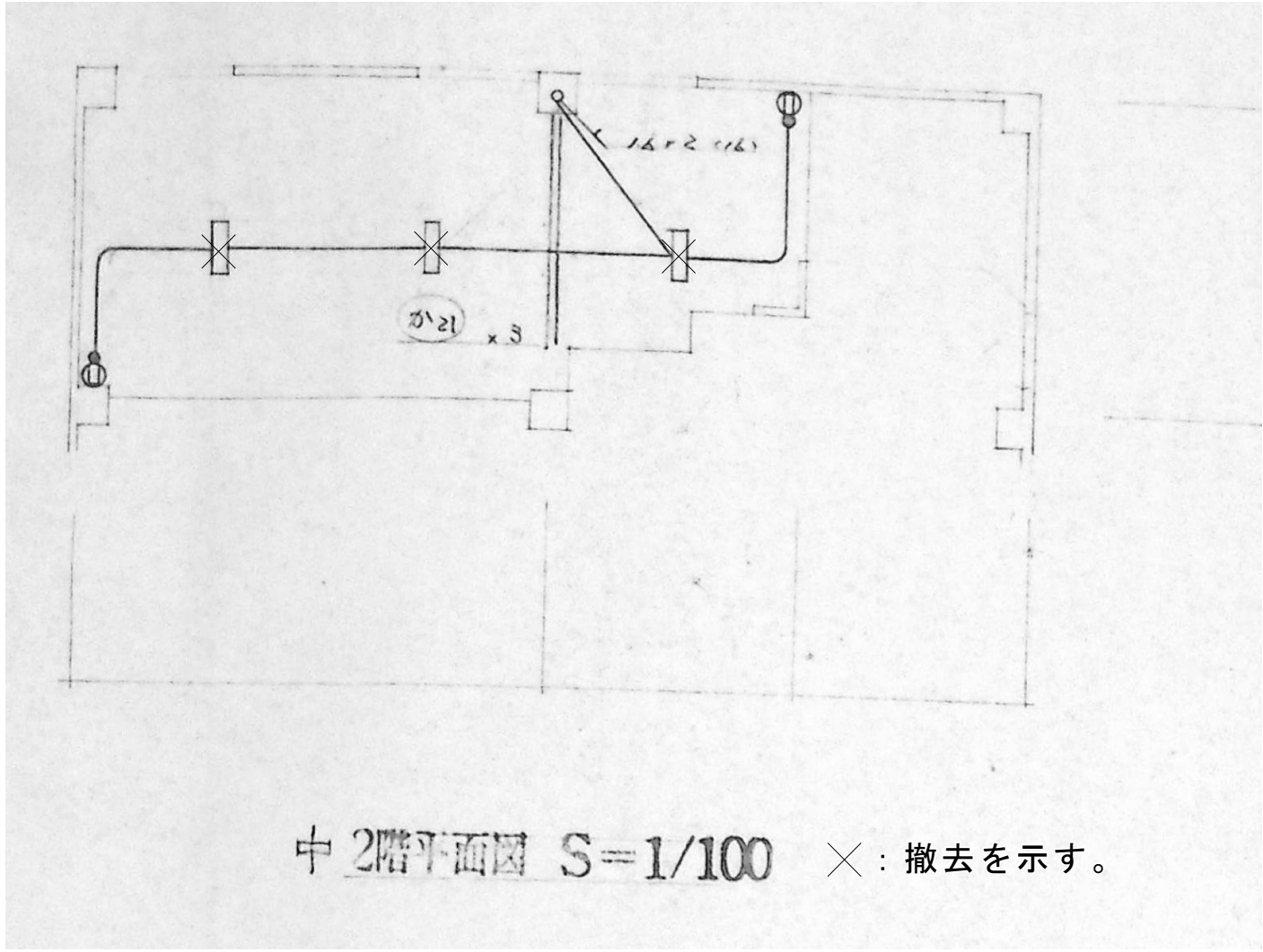


縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

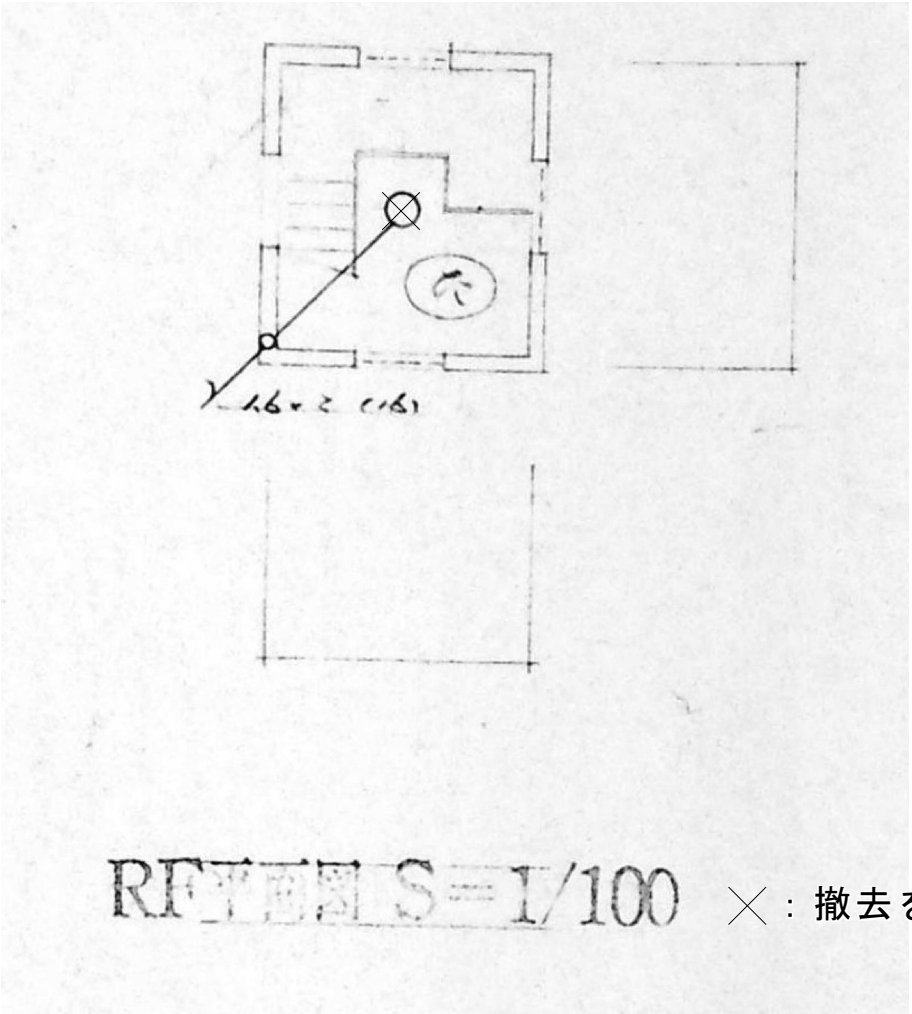
訂正	月 日		 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和7年 3月	福山市建設局建築部設備課	工事名称 福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事	区 分 電気(E)
				設備設計一級建築士 第 号	作図 変更年月	図面名称 発電機設備 油庫（改修後）	縮 尺 1:30		図面番号 E-09	



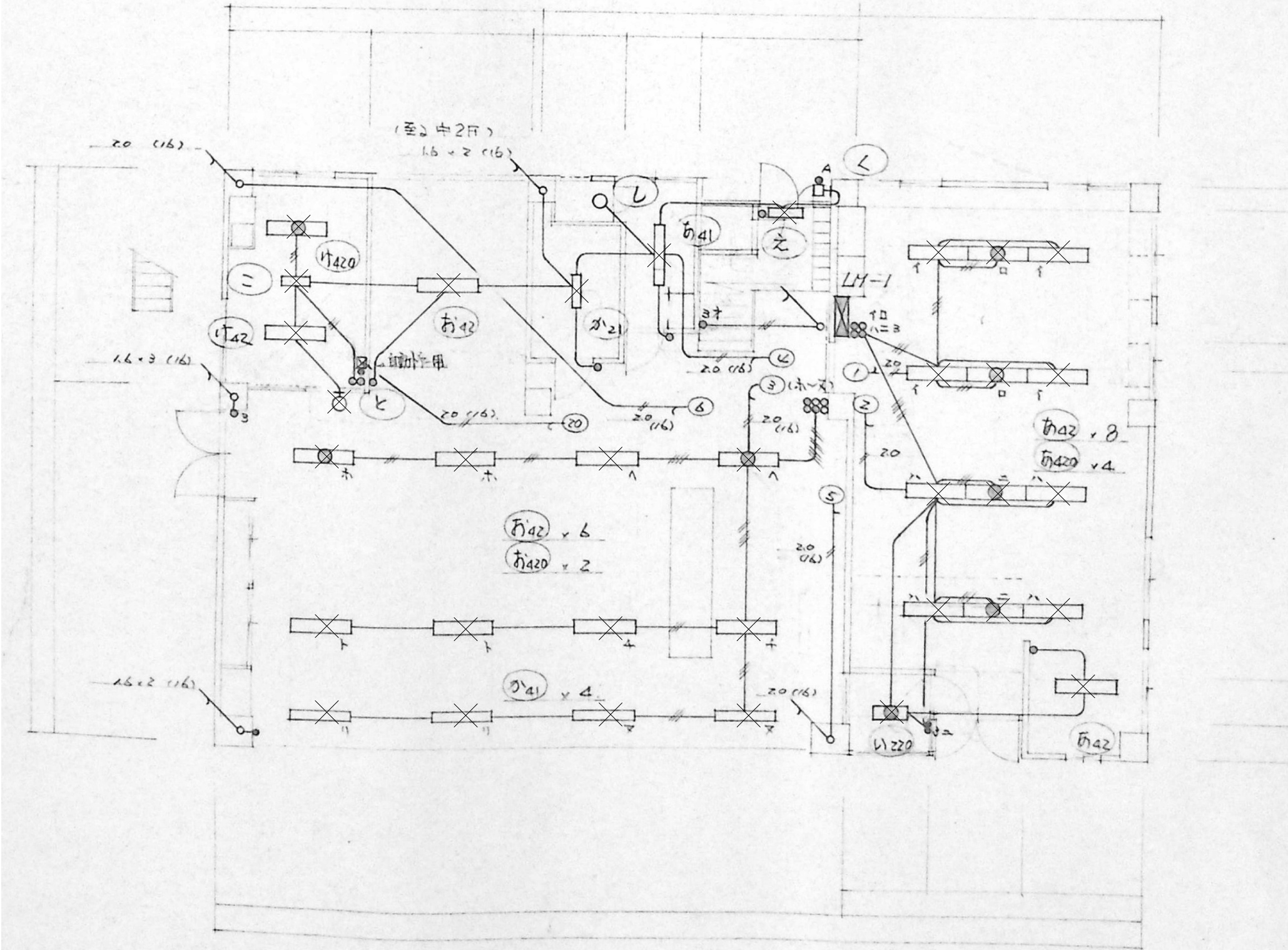
2階平面図 S=1/100



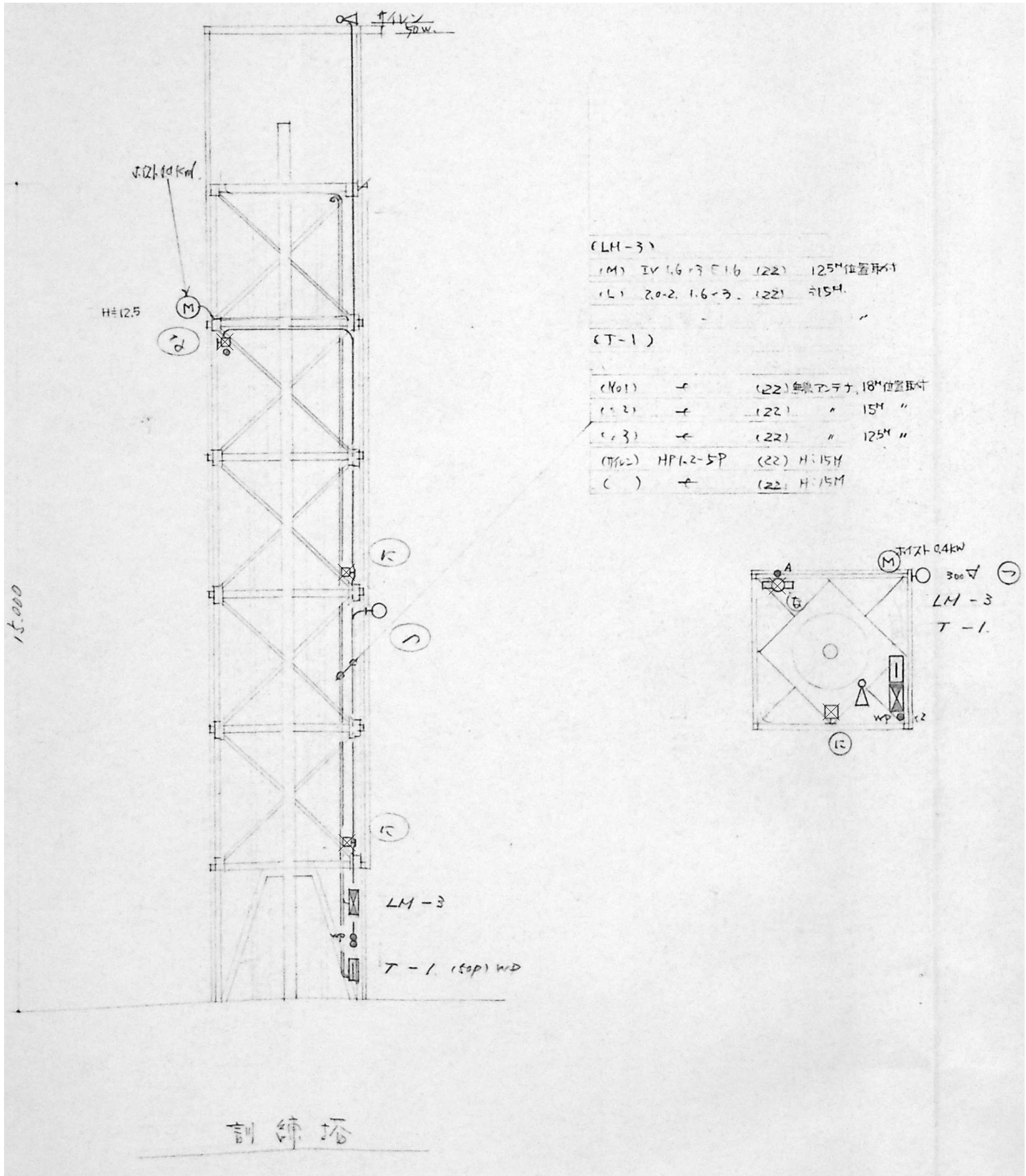
中 2階平面図 S=1/100 ×: 撤去を示す。



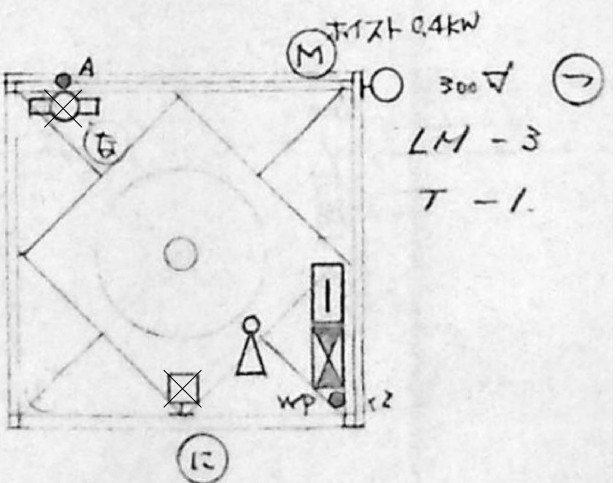
1階平面図 S=1/100 ×: 撤去を示す。



1階平面図 S=1/100 ×: 撤去を示す。



- (LH-3)
- | | | | |
|-----|-----------------|------|------------|
| (M) | IV 1.6 x 3 (16) | (22) | 125mm 位置取付 |
| (L) | 20 x 2 1.6 x 3 | (21) | φ15M |
- (T-1)
- | | | | |
|-------|-----------|------|------------------|
| (V01) | - | (22) | 無線アンテナ, 18m 位置取付 |
| (V2) | - | (22) | " 15m " |
| (V3) | - | (22) | " 125m " |
| (M2) | HP 1.2-5P | (22) | H: 15M |
| (C) | - | (22) | H: 15M |



訂正	月 日	



原 設 計 株 式 有 限 公 司

〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214

一般建築士事務所立島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士
第 293830 号 甲斐 宣行

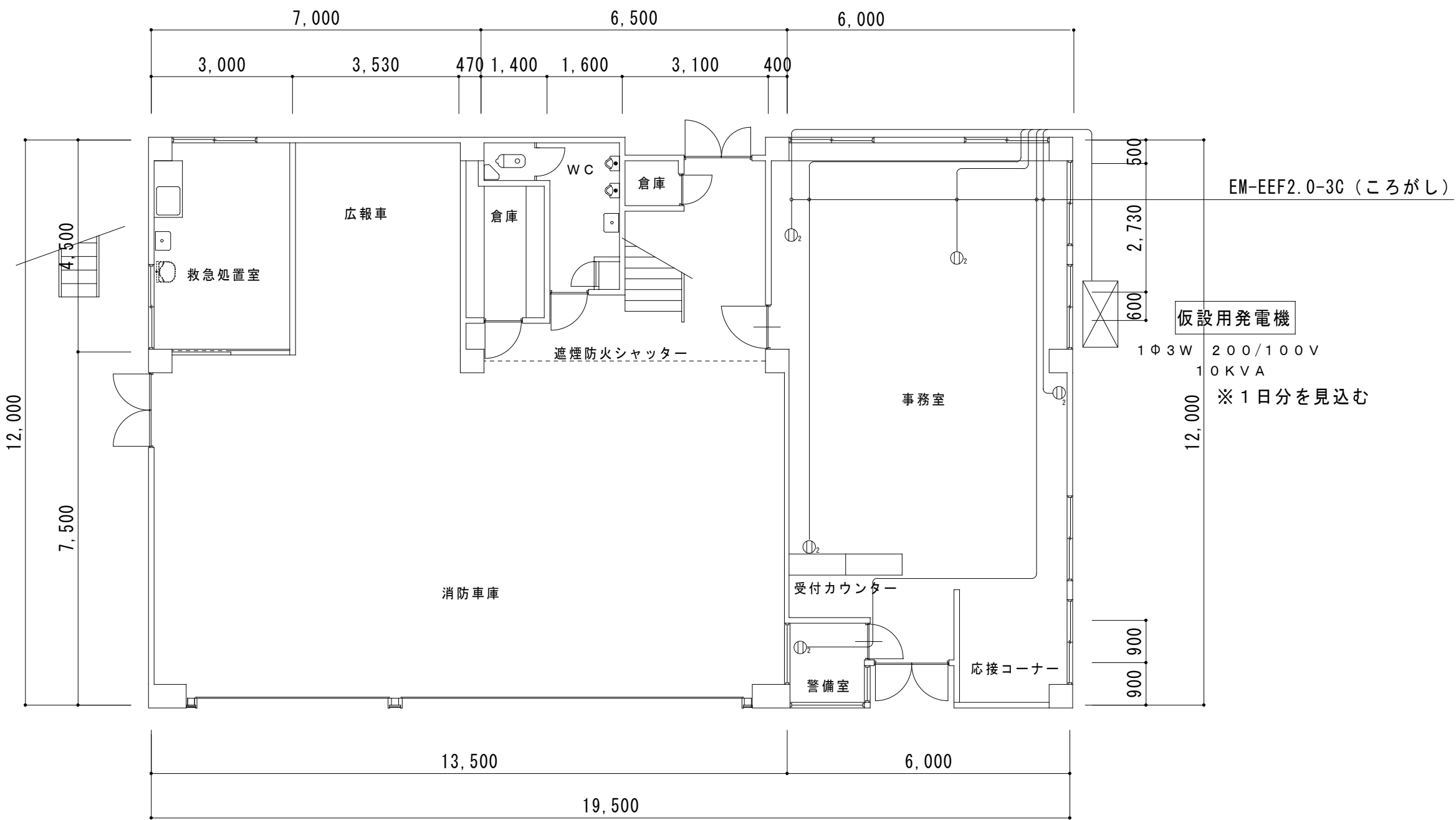
構造設計一級建築士 第 号	
設備設計一級建築士 第 号	

担当	-
作図	

設計年月	令和 7 年 3 月
変更年月	
福山市建設局建築部設備課	

工事名称	福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事	区 分	電気 (E)
図面名称	電灯設備図 (改修前)	縮 尺	1:100
		図面番号	E-11

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



1 階平面図 S=1:100

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行 第 293830号	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7 年 3 月	福山市建設局建築部設備課	工事名称 福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事		区 分 電気 (E)
				設備設計一級建築士 第 号		作図 変更年月	図面名称 仮設配線図		縮 尺 1/50	図面番号 E-13	

縮尺率	A-1 : 100%
	A-2 : 71%
	A-3 : 50%

福山市建築工事特記仕様書

I 工事概要

1. 工事名称

福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事

2. 工事場所

福山市沼隈町常石1857番地2

3. 用途地域

-

4. 防火地域

・防火地域

・準防火地域

○指定なし

5. 工事種別

・新築

・増築

・改修

6. 敷地面積

2,926.58㎡

7. 建物概要

1) 構造

2) 面積

8. 別途工事

・電気設備工事

・異種機設備工事

・給排水衛生ガス設備工事

・カーテン取付工事

・冷暖房換気設備工事

・植栽工事

・

・

※ 本工事の工期は設備工事の工期と工事検査期間としての14日を含んでいる。

※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出する。

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「建築標準仕様書」という。）による。ただし、アスベスト成形板の処理等は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「建築改修標準仕様書」という。）による。

電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）による。

1) 官公署手続き

受注者は関係官公署への必要な手続きを代行する。（官公署手続きは監督員の承諾後とする。）

2) 地元企業及び地場製品の活用

受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用に努める。

3) 疑義に対する協議等

設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合は現場の納まり、取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。

2. 特記仕様

1) 章、項目は番号に○印のついたものを適用する。

2) 特記事項は○印のついたものを適用する。

○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。

○印と※印のついた場合は共に適用する。

3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、「建築標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4) 材料および製造所等の記載順序は不同である。

3. 引渡し後、次に示す点検を行う。（○印のついたものを適用する。）

・引渡し後点検（第1次点検）引渡しの概ね1年後

・引渡し後点検（第2次点検）引渡しの概ね2年後

章 項

7 化学物質の濃度測定

受注者は、引渡し前に次の対象物質について室内空気中に含まれる濃度を測定し、(1.5.9) 厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告する。

対象物質

・4項目（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン）

・5項目（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン）

・6項目^(注)（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン）

(注) 文部科学省の「学校環境衛生の基準」による。

測定方法

※計画書を提出し、監督員の承諾を受ける。

対象室名

測定箇所数

8 特別な材料の工法

建築標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

9 発生材の処理

・引渡しを要するもの（ ）(1.3.11)

・現場において再利用を図るもの（ ）

※再資源化を図るもの

○アスファルトコンクリート

○コンクリート

・木材

○コンクリート及び鉄からなる建設資材

※上記以外のものはすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という）、「資源の有効な利用の促進に関する法律」（以下、「資源有効利用促進法」という）、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下、「廃棄物処理法」という）その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。

※建設副産物情報交換システム（COBRIS）（財）日本建設情報総合センター

本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。

また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。

	施工計画時	工事完了時
搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書
搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書

※本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物処理税が課税される。

なお、本工事は広島県産業廃棄物処理税相当額を含んでいる。

分類	規格	撮影枚数	提出部数
着手前	L判程度（カラー）	必要に応じた数	1
工事中	L判程度（カラー）	必要に応じた数	1
完成時	L判程度（カラー）	各室4面	1
	2L判程度（カラー）	外景4面	

着手前・工事中写真

※A4判印刷。若しくはA4判写真帳

完成時写真

※アルバム（A4判程度）

写真帳

(検査後14日以内に提出する。)

原稿の提出

※する（※完成時のみ）

・全て

・しない

(電子データ形式等は、監督員の指示による。)

11 完成時の提出図書

速やかに次の図書を提出する。

※竣工図（※完成図・承諾図○施工図）(1.7.1)

○A3判を2つ折りにして製本

完成図

2部

施工図

1部

・部

○竣工図電子データ

一式

(竣工図電子データ作成要領による。)

○CADデータ（媒体（CD-R等）、データ形式等は監督員の指示による。)(1.7.2)

○保全に関する資料

2部

(1.7.3)

12 別契約の関連工事との調整等

施工範囲「工事区分表」による。

関連工事との調整

※別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。

※別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。

13 施工中の安全確保

○労働安全衛生法に基づく指名

(1.3.7)

・本工事は、交通誘導員として人を見込んでいる。

交通誘導員の配置については、実施仮票（原本）および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い監督員に提出する。

14 工事実績情報の登録

※受注者は、次表に従い、工事実績情報を登録する。

(1.1.4)

登録内容について、あらかじめ監督員の承諾を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う（請負代金のみ変更の場合、登録不要）

※登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。

なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。（登録要）

15 アスベスト含有成形板の処理等

処理を行うアスベスト含有成形板の仕様及び部位

(建築改修標準仕様書 9.1.5)

アスベスト含有成形板の仕様	使用部位
・石綿スレート	
・石綿セメントけい酸カルシウム板	
・ビニール床シート（接着剤）	
・その他	

※事前に施工調査等により広く確認を行う。

安全衛生管理

※石綿作業主任者

石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号。以下、「石綿則」という。）に基づき、石綿作業主任者を選定する。なお、石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。

・除去作業者

アスベスト含有建材の除去に従事する作業者（以下「除去作業者」という。）は、石綿則に基づく特別の教育を受けた者とする。

・表示及び掲示

作業現場の見やすい場所に、石綿則第34条に基づく掲示をする。

除去作業者の呼吸用保護具・保護衣

・呼吸用保護具（国家検定合格品）

・R L 2又はR S 2

・

※その他の仕様は建築改修標準仕様書による。

章 項

16 保証書

次の工事について保証書を提出する

工事区分	材料名	保証年限	備考
・防水工事	・アスファルト防水	10年	
	・改質アスファルト防水	10年	
	・合成高分子ルーフィング防水	10年	
	・塗膜防水	10年	
・屋根工事	・長尺金属板葺き	年	漏水の場合等
	・折板葺き	年	漏水の場合等
	・瓦葺き	年	漏水の場合等
・防錆工事		年	
・特殊床工事	・フローリング及び塗装	年	・7k3・ｽﾏﾝ1ｽ・FRP
・プール工事	・プール本体	年	
	・塗装（通常塗装の場合）	年	
・植栽工事	・活着	1年	枯死の場合

17 施工図及び施工計画書

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする(1.7.2)

2 1 工事現場仮囲い

・ナイロンロープ張り

・木製仮囲い

・鋼製仮囲い

・ガードフェンス

2 2 監督員事務所

・設ける（ m程度）

・設けない

(2.3.1)

・備品等（ ）

2 3 受注者事務所等

・敷地内へ建てることのできる

・

(2.3.1)

4 工事用水

構内既存の施設

・有償で利用できる（副メーター設置等）

・無償で利用できる

・利用できない

5 工事用電力

構内既存の施設

・有償で利用できる

・無償で利用できる

・利用できない

6 引渡しまでの光熱水費

・本引込みより引渡しまでの基本料金

※受注者負担

・別途

・本引込みより引渡しまでの使用料金

※受注者負担

・別途

7 安全対策

・

8 足場その他

※「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

(2.2.4)

9 現況確認

・工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

3 1 1 堤岸及び盛土

種別

・A種

※B種

・C種

・D種

(表3.2.1)

3 2 建設発生土の処理

※構外搬出適切処理（再資源化処理施設へ搬入する）

・構内指示の場所に敷きならし

(3.2.5)

・構内指示の場所に堆積

・構外指示の場所に処分

処分先

※搬出先は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等（原本）を監督員に提出する。

4 地業工事

特記仕様書（構造関係）による

5 鉄筋工事

特記仕様書（構造関係）による

6 コンクリート工事

特記仕様書（構造関係）による

7 鉄骨工事

特記仕様書（構造関係）による

章 項

8 1 コンクリートブロック

ブロックの種類及び厚さ

※空胴ブロック16

(8.2.2)(8.3.2)

・空胴ブロック16-W

・空胴ブロック08

適用箇所

各部の配筋

※図示による

(8.3.3)

8 2 A L Cパネル

A L Cパネルの種類等

(8.4.2～7)(表8.4.2～4)

種類	厚さ(mm)	単位荷重(N/㎡)	耐火性能	工法種別		
・外壁用				・A種	・B種	
・間仕切用				・C種	・D種	・E種
・屋根用			30分	・F種		
・床用				・F種		

外壁用、屋根用の建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

※図示による

伸縮目地への耐火目地材の充填

・適用する

・適用しない

3 押出成形セメント板（E C P）

押出成形セメント板の種類等

(8.5.2～5)(表8.5.1～2)

種類	表面形状	厚さ(mm)	耐火性能	取付工法の種別		
・外壁	※フラットパネル			・A種	・B種	
	・デザインパネル(図示)			・C種	・D種	・E種
・間仕切壁	※フラットパネル			・B種	・C種	
	・デザインパネル(図示)					

外壁用の建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

※図示による

製造所

9 1 アスファルト防水

(9.2.2)(表9.2.1～表9.2.10)

種別	施工場所

・屋根保護防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの）

材質及び種類

※押出法^aリフィン^aフォーム断熱材3種bA（ｽﾏﾝ層付き）(JIS A 9521（建築用断熱材））

厚さ

mm

・屋根露出防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの）

材質

※発泡^aｽﾏﾝ^a断熱材（JIS A 9521）

種類

・

厚さ

mm

防水立上り部の保護

種類

・

※乾式保護材

製造所

評価名簿による

屋根露出防水絶縁工法の脱気装置

・設けない

※設ける

種類

・平場部脱気型

・立上り部脱気型

設置数

箇所

2 改質アスファルトシート防水

(9.3.2～3)(表9.3.1～3)

種別	施工場所

3 合成高分子ルーフィングシート防水

(9.4.2～4)(表9.4.1～2)

種別	厚さ	仕上り塗料	施工場所

4 塗膜防水

(9.5.2～4)(表9.5.1)

種別	仕上り塗料	施工場所
X-2		

脱気装置（種別X－1）

・設けない

・設ける

種類

設置数量

主要材料

箇所

製造所の仕様による

5 ケイ酸質系塗布防水

(9.6.1～3)(表9.6.1～2)

種別	施工場所
※C-UI	
・C-UP	

※屋内については水張り試験を行う。

6 漏水試験

記号・略号

(一) 般

B M ……ベンチマーク

G L ……基準地盤面

F L ……基準床面

W ……内法巾

H ……内法高

(塗装関係)

S O P ……合成樹脂調合ペイント

C L ……クリアラッカー

N A D ……アクリル樹脂系非分散形塗料

D P ……耐候性塗料

(構造材料)

R C ……鉄骨鉄筋コンクリート

P C ……プレキャストコンクリート

A L C ……軽量気泡コンクリート

(構築材料)

S R C ……鉄骨鉄筋コンクリート

D N ……下がる

P S ……パイプスペース

D S ……ダクトスペース

E V ……エレベータ

U P ……上がる

D N ……下がる

P S ……パイプスペース

D S ……ダクトスペース

E V ……エレベータ

C B ……コンクリートブロック

S ……鉄（鋼）

W ……木

L G S ……軽量形鋼

(建 具)

A D ……アルミ製ドア

A W ……アルミ製窓

A G ……アルミ製ガラリ

S D ……鋼製ドア

S W ……鋼製窓

S G ……鋼製ガラリ

S S ……鋼製シャッター

S T D ……ステンレス製ドア

S T W ……ステンレス製窓

S T G ……ステンレス製ガラリ

S T S ……ステンレス製シャッター

W D ……木製ドア

V W ……木製窓

W G ……木製ガラリ

F ……ふすま

T D ……強化ガラス製ドア

T W ……強化ガラス製窓

A L ……アルミ製リンググリルシャッター

(左官関係)

S L ……鋼製リンググリルシャッター

S T L ……ステンレス製リンググリルシャッター

S P ……鋼製間仕切

(薄付け仕上塗材)

外装薄塗材E…外装成樹脂エマルション系

内装薄塗材E…内装成樹脂エマルション系

(厚付け仕上塗材)

外装厚塗材E…外装成樹脂エマルション系

図面名称

建築工事特記仕様書 No. 1

縮尺

No scale

図番

A-01

原 設 計 株 式 会 社

〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213

一級建築士事務所広島県登録第 17 [1] 0409号

一級建築士 甲斐 宣行

第293830号

7

シーリング用材料

<

章	項	特記事項	章	項	特記事項	章	項	特記事項	章	項	特記事項																																																																																																				
7	金属成形板張り	(14.6.2~3)	16	防火戸の指定	※ 図示による (16.1.3.)	11	自動ドア開閉装置	製作所 ※監督員の承諾する製作所 スライディングドア用の性能値 片引き ・ S S L D - 1 ・ S S L D - 2 (表16.9.1) 引分け ・ D S L D - 1 ・ D S L D - 2 スイングドア用の性能値 片開き ・ S W D - 1 ・ S W D - 2 (表16.9.2) センサーの種類 (表16.9.3) ・ 光線スイッチ ・ 熱線スイッチ ・ 音波スイッチ ・ ペダルスイッチ ・ 電波スイッチ ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ・ 多機能トイレスイッチ ※ 多機能トイレスイッチには大型（開・閉）押しボタンスイッチ又は非接触スイッチ、使用中表示灯、外部側キースイッチ（緊急時対応）を含む。	4	錆止め塗料塗り	鉄鋼面 (18.3.2~3) (18.7.2) <table><tr><td colspan="2">塗料の種類別</td><td colspan="2">塗料塗りの種類</td></tr><tr><td>(注1) 以外</td><td>※ A 種 JIS K5674 1 種</td><td>屋内、屋外</td><td>見え掛り ※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>(注2)</td><td></td><td></td><td>見え隠れ ・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td>(注1)</td><td>※ B 種 JASS 18 M-111</td><td>屋内</td><td></td></tr><tr><td>(注2)</td><td>※ A 種 JIS K5551 JIS K5552</td><td>屋外</td><td></td></tr></table> 亜鉛めっき鋼面 (18.3.2~3) (18.7.2) <table><tr><td colspan="2">塗料の種類別</td><td colspan="2">塗料塗りの種類</td></tr><tr><td>(注1) 以外</td><td>※ A 種 JPM S 28</td><td>屋外、屋内</td><td>鋼製建具 ※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>(注2)</td><td>・ B 種 JASS 18 M-109</td><td>屋外、屋内</td><td>その他 ・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td>(注1)</td><td>※ C 種 JASS 18 M-111</td><td>屋内</td><td></td></tr><tr><td>(注2)</td><td>※ B 種 JASS 18 M-109</td><td>屋外</td><td></td></tr></table> (注1)：つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（E P - G） (注2)：耐候性塗料塗り（D P）	塗料の種類別		塗料塗りの種類		(注1) 以外	※ A 種 JIS K5674 1 種	屋内、屋外	見え掛り ※ A 種 ・ B 種	(注2)			見え隠れ ・ A 種 ※ B 種	(注1)	※ B 種 JASS 18 M-111	屋内		(注2)	※ A 種 JIS K5551 JIS K5552	屋外		塗料の種類別		塗料塗りの種類		(注1) 以外	※ A 種 JPM S 28	屋外、屋内	鋼製建具 ※ A 種 ・ B 種	(注2)	・ B 種 JASS 18 M-109	屋外、屋内	その他 ・ A 種 ※ B 種	(注1)	※ C 種 JASS 18 M-111	屋内		(注2)	※ B 種 JASS 18 M-109	屋外																																																													
		塗料の種類別		塗料塗りの種類																																																																																																											
		(注1) 以外	※ A 種 JIS K5674 1 種	屋内、屋外	見え掛り ※ A 種 ・ B 種																																																																																																										
		(注2)			見え隠れ ・ A 種 ※ B 種																																																																																																										
		(注1)	※ B 種 JASS 18 M-111	屋内																																																																																																											
		(注2)	※ A 種 JIS K5551 JIS K5552	屋外																																																																																																											
		塗料の種類別		塗料塗りの種類																																																																																																											
		(注1) 以外	※ A 種 JPM S 28	屋外、屋内	鋼製建具 ※ A 種 ・ B 種																																																																																																										
		(注2)	・ B 種 JASS 18 M-109	屋外、屋内	その他 ・ A 種 ※ B 種																																																																																																										
		(注1)	※ C 種 JASS 18 M-111	屋内																																																																																																											
(注2)	※ B 種 JASS 18 M-109	屋外																																																																																																													
8	アルミニウム製笠木	※押出形材 ・ 曲げ材 (14.7.2~3) (表14.7.1) 部材の種類 ・ 250形（呼称肉厚は1.6以上） ・ 300形（呼称肉厚は1.8以上） ・ 350形（呼称肉厚は2.0以上） 表面処理 ※ A - 1 種又は B - 1 種 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔、固定方法等 ※ 図示による	12	自閉式上吊り引戸装置	開閉方式 ※ 手動開き式 (表16.10.1)	5	塗料の種類	合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 ※ 1 種 ・ 2 種 (18.4.2) 塗料の種類 (4 節~14 節) <table><tr><td></td><td>S O P</td><td>D P</td><td>E P - G</td><td>E P</td><td>W P</td></tr><tr><td>木部</td><td>※ B 種 (注1)</td><td>—</td><td>(表18.8.2)</td><td>—</td><td>※ B 種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>※ B 種</td><td>(表18.7.1)</td><td>※ B 種</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>亜鉛めっき面</td><td>(表18.4.3)</td><td>(表18.7.2)</td><td>(表18.8.4)</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>ボード等 (注2)</td><td>—</td><td>—</td><td>※ B 種</td><td>※ B 種</td><td>—</td></tr></table> (注1)：屋外は A 種とする（多孔質広葉樹を除く） (注2)：コンクリート、モルタル、プラスター、せつこうボード、その他ボード面等（8 節）		S O P	D P	E P - G	E P	W P	木部	※ B 種 (注1)	—	(表18.8.2)	—	※ B 種	鉄鋼面	※ B 種	(表18.7.1)	※ B 種	—	—	亜鉛めっき面	(表18.4.3)	(表18.7.2)	(表18.8.4)	—	—	ボード等 (注2)	—	—	※ B 種	※ B 種	—																																																																									
	S O P	D P	E P - G	E P	W P																																																																																																										
木部	※ B 種 (注1)	—	(表18.8.2)	—	※ B 種																																																																																																										
鉄鋼面	※ B 種	(表18.7.1)	※ B 種	—	—																																																																																																										
亜鉛めっき面	(表18.4.3)	(表18.7.2)	(表18.8.4)	—	—																																																																																																										
ボード等 (注2)	—	—	※ B 種	※ B 種	—																																																																																																										
15	1	モルタル塗り	材料 (15.3.2) モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 吸水調整材の品質 ※表15.2.2による 既製目地材 ・ 使用しない ・ 使用する 形状、寸法 () 床目地 ・ 設ける（工法 ※押し目地 ・ ） ・ 設けない (15.3.5) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない	13	重量シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター (16.11.2) ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 防煙シャッターは、自動閉鎖機構及び随時閉鎖機構付とし、運動制御盤及び煙感知器は別途とする。 耐風圧強度 ・ 500Pa ・ 750Pa ・ 1000Pa ・ 1250Pa 開閉機能による種別 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式 (表16.11.1) 保護装置 電動シャッター <table><tr><td>保護装置</td><td>設置箇所</td></tr><tr><td>・ 二重チェーン ・ 急降下制動装置 ・ 急降下停止装置</td><td></td></tr><tr><td>・ 障害物感知装置</td><td></td></tr></table> 屋内用防火シャッター、防煙シャッター <table><tr><td>保護装置</td><td>設置箇所</td></tr><tr><td>・ 標準仕様書16.11.2.4.a,bによる</td><td></td></tr></table> シャッターケース（防火、防煙以外の場合） ・ 設ける ・ 設けない (16.11.2.6)	保護装置	設置箇所	・ 二重チェーン ・ 急降下制動装置 ・ 急降下停止装置		・ 障害物感知装置		保護装置	設置箇所	・ 標準仕様書16.11.2.4.a,bによる		19	1	接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ・ F☆☆☆☆ (19.2.2)																																																																																											
保護装置	設置箇所																																																																																																														
・ 二重チェーン ・ 急降下制動装置 ・ 急降下停止装置																																																																																																															
・ 障害物感知装置																																																																																																															
保護装置	設置箇所																																																																																																														
・ 標準仕様書16.11.2.4.a,bによる																																																																																																															
2	防水モルタル塗り	防水剤 ※実績等の資料を監督員に提出する	14	軽量シャッター	開閉装置による種別 ・ 上部電動式（手動併用） ※ 手動式 (16.12.1) 耐風圧強度 ・ 500Pa (表16.12.1) 保護装置 電動シャッター <table><tr><td>保護装置</td><td>設置箇所</td></tr><tr><td>・ 障害物感知装置</td><td></td></tr></table> シャッターケース ※ 設ける ・ 設けない (16.12.4) スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形	保護装置	設置箇所	・ 障害物感知装置		2	2	ビニル床シート ビニル床タイル	・ ビニル床シート (19.2.2~3) <table><tr><td>種 類</td><td>記 号</td><td>色 柄</td><td>厚さ (mm)</td><td>特殊機能</td><td>工 法</td></tr><tr><td>※ 発泡層のないもの</td><td>※ F S</td><td>※ ブレーン</td><td>※ 2</td><td>・ 帯電防止</td><td>・ 突付け</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ マーブル</td><td>・ 2.5</td><td>・ 耐動荷重</td><td>※ 熱溶接</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 特殊柄</td><td></td><td>・ 防滑性</td><td></td></tr></table> ・ ビニル床タイル (19.2.2) <table><tr><td>記 号</td><td>色柄</td><td>厚さ (mm)</td><td>特殊機能</td><td>寸法</td><td>備考</td></tr><tr><td>・ T T</td><td>※ 標準柄</td><td>※ 2 ・ 3</td><td>・ 帯電防止</td><td>※ 図示による</td><td></td></tr><tr><td>・ F T</td><td>※ 特殊柄</td><td></td><td>・ 防滑性</td><td></td><td></td></tr><tr><td>※ K T</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ F O A</td><td>※ 標準柄</td><td>・ 4以上</td><td>・ 帯電防止</td><td>※ 図示による</td><td></td></tr><tr><td>・ F O B</td><td>※ 特殊柄</td><td>・ 4未満</td><td>・ 防滑性</td><td></td><td></td></tr></table> ・ 特殊機能床材 (19.2.2) <table><tr><td>種 類</td><td>厚さ (mm)</td><td>形状、寸法、性能等</td></tr><tr><td>・ 視覚障害者用床タイル</td><td></td><td></td></tr></table> ・ ビニル幅木 (19.2.2) <table><tr><td>厚さ (mm)</td><td>高 さ (mm)</td><td>種 類</td><td>色 柄</td></tr><tr><td>※ 1.5以上</td><td>・ ※ 60 ・ 75 ・ 100</td><td>※ 軟質 ・ 硬質</td><td>※ 標準柄</td></tr></table>	種 類	記 号	色 柄	厚さ (mm)	特殊機能	工 法	※ 発泡層のないもの	※ F S	※ ブレーン	※ 2	・ 帯電防止	・ 突付け			・ マーブル	・ 2.5	・ 耐動荷重	※ 熱溶接			・ 特殊柄		・ 防滑性		記 号	色柄	厚さ (mm)	特殊機能	寸法	備考	・ T T	※ 標準柄	※ 2 ・ 3	・ 帯電防止	※ 図示による		・ F T	※ 特殊柄		・ 防滑性			※ K T						・ F O A	※ 標準柄	・ 4以上	・ 帯電防止	※ 図示による		・ F O B	※ 特殊柄	・ 4未満	・ 防滑性			種 類	厚さ (mm)	形状、寸法、性能等	・ 視覚障害者用床タイル			厚さ (mm)	高 さ (mm)	種 類	色 柄	※ 1.5以上	・ ※ 60 ・ 75 ・ 100	※ 軟質 ・ 硬質	※ 標準柄																								
保護装置	設置箇所																																																																																																														
・ 障害物感知装置																																																																																																															
種 類	記 号	色 柄	厚さ (mm)	特殊機能	工 法																																																																																																										
※ 発泡層のないもの	※ F S	※ ブレーン	※ 2	・ 帯電防止	・ 突付け																																																																																																										
		・ マーブル	・ 2.5	・ 耐動荷重	※ 熱溶接																																																																																																										
		・ 特殊柄		・ 防滑性																																																																																																											
記 号	色柄	厚さ (mm)	特殊機能	寸法	備考																																																																																																										
・ T T	※ 標準柄	※ 2 ・ 3	・ 帯電防止	※ 図示による																																																																																																											
・ F T	※ 特殊柄		・ 防滑性																																																																																																												
※ K T																																																																																																															
・ F O A	※ 標準柄	・ 4以上	・ 帯電防止	※ 図示による																																																																																																											
・ F O B	※ 特殊柄	・ 4未満	・ 防滑性																																																																																																												
種 類	厚さ (mm)	形状、寸法、性能等																																																																																																													
・ 視覚障害者用床タイル																																																																																																															
厚さ (mm)	高 さ (mm)	種 類	色 柄																																																																																																												
※ 1.5以上	・ ※ 60 ・ 75 ・ 100	※ 軟質 ・ 硬質	※ 標準柄																																																																																																												
3	セルフレベリング材塗り	<table><tr><td>種 類</td><td>厚さ (mm)</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>・ セメント系</td><td>※ 10</td><td></td></tr><tr><td>・ 石こう系</td><td>※ 10</td><td></td></tr></table>	種 類	厚さ (mm)	施工箇所	・ セメント系	※ 10		・ 石こう系	※ 10		15	5	ガラス	板ガラスの品質及び厚さ等 (16.14.2) ※ 図示による ガラス留め材 (16.14.2) (表16.14.1) (表9.7.1) <table><tr><td>建具の種類</td><td>材 種</td></tr><tr><td>鋼製</td><td>・ シーリング材 ・</td></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>・ ガスケット (注) ・ シーリング材 ・</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>・ シーリング材 ・</td></tr><tr><td>木製</td><td>・ シーリング材 ・</td></tr></table> 防火戸のガラス留め材は認定を受けた条件による。 (注) 外部に面する複層ガラス、合わせガラス、網入り板ガラス、網入り板ガラスを除く ガラス清の大きさ (表16.14.1) ※ 強化ガラス、倍強度ガラス、熱線反射ガラス（映像調整を行う場合）は(a)に2mmを加算する。	建具の種類	材 種	鋼製	・ シーリング材 ・	アルミニウム製	・ ガスケット (注) ・ シーリング材 ・	ステンレス製	・ シーリング材 ・	木製	・ シーリング材 ・	3	カーペット敷き	・ タイルカーペット (19.3.1~3) (表19.3.2) <table><tr><td>種 別</td><td>バイル形状</td><td>寸法 (mm)</td><td>総厚さ (mm)</td><td>色 柄</td><td>敷き込み</td></tr><tr><td>※ 一種</td><td>※ ルーフバイル</td><td>※ 500×500</td><td>※ 6、5</td><td>・ 無地</td><td>※ 全面接着工法</td></tr><tr><td>・</td><td>・ カットバイル</td><td>・</td><td>・</td><td>・ 柄物</td><td>・</td></tr></table> 製造所及び製品名	種 別	バイル形状	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	色 柄	敷き込み	※ 一種	※ ルーフバイル	※ 500×500	※ 6、5	・ 無地	※ 全面接着工法	・	・ カットバイル	・	・	・ 柄物	・																																																																	
種 類	厚さ (mm)	施工箇所																																																																																																													
・ セメント系	※ 10																																																																																																														
・ 石こう系	※ 10																																																																																																														
建具の種類	材 種																																																																																																														
鋼製	・ シーリング材 ・																																																																																																														
アルミニウム製	・ ガスケット (注) ・ シーリング材 ・																																																																																																														
ステンレス製	・ シーリング材 ・																																																																																																														
木製	・ シーリング材 ・																																																																																																														
種 別	バイル形状	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	色 柄	敷き込み																																																																																																										
※ 一種	※ ルーフバイル	※ 500×500	※ 6、5	・ 無地	※ 全面接着工法																																																																																																										
・	・ カットバイル	・	・	・ 柄物	・																																																																																																										
4	仕上塗材仕上げ	材料 (15.6.2.1) 内装仕上けに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 防火材料：屋内の壁及び天井の仕上け材は、防火材料又は建築基準法に基づく、基材同等の認定表示のあるものとする。 (15.6.2.1) ・ 薄付け仕上塗材 (15.6.2) (表15.6.1) <table><tr><td>種 類</td><td>仕上けの形状</td><td>工 法</td><td>吸放湿性</td></tr><tr><td>・ 外装薄塗材 E</td><td>・ 砂壁状</td><td>・ 吹付け</td><td></td></tr><tr><td>・ 内装薄塗材 E</td><td>・ 砂壁状じゅらく</td><td>・ 吹付け</td><td>・ 適用する</td></tr><tr><td>・ 可とう形外装薄塗材 E</td><td>・ 砂壁状</td><td>・ 吹付け</td><td>・ 適用しない</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table> ・ 厚付け仕上塗材 (15.6.2) (表15.6.1) <table><tr><td>種 類</td><td>仕上けの形状</td><td>工 法</td><td>吸放湿性</td><td>上塗材</td></tr><tr><td>・ 外装厚塗材 E</td><td>・ 吹放し</td><td>・ 吹付け</td><td>・ 行う</td><td>・ 行わない</td></tr><tr><td>・ 内装厚塗材 E</td><td>・ 凸部処理</td><td>・ 吹付け</td><td>・ 適用する</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・ 凸部処理</td><td>・</td><td>・ 適用しない</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> ・ 複層仕上塗材 (15.6.2) (表15.6.1) <table><tr><td>種 類</td><td>仕上けの形状</td><td>工法</td><td>上塗材</td></tr><tr><td>・ 複層塗材 E</td><td>・ 凹凸状</td><td>※吹付け</td><td>※7μm系</td><td>※つやあり</td></tr><tr><td>・ 複層塗材 C E</td><td>・ 凸部処理</td><td>・ ローター</td><td>・ 溶剤系</td><td>・ つやなし</td></tr><tr><td>・ 可とう形複層塗材 C E</td><td>・ ゆず肌状</td><td>・</td><td>・ 7μmシリコン系</td><td>・ メリツク</td></tr><tr><td>・ 複層塗材 S</td><td>・</td><td>・</td><td>・ ふっ素系</td><td></td></tr><tr><td>・ 複層塗材 R E</td><td>・</td><td>・</td><td>・ シリカ系</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 複層仕上塗材の耐候性 ※耐候形3 種	種 類	仕上けの形状	工 法	吸放湿性	・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状	・ 吹付け		・ 内装薄塗材 E	・ 砂壁状じゅらく	・ 吹付け	・ 適用する	・ 可とう形外装薄塗材 E	・ 砂壁状	・ 吹付け	・ 適用しない	・	・	・		種 類	仕上けの形状	工 法	吸放湿性	上塗材	・ 外装厚塗材 E	・ 吹放し	・ 吹付け	・ 行う	・ 行わない	・ 内装厚塗材 E	・ 凸部処理	・ 吹付け	・ 適用する		・	・ 凸部処理	・	・ 適用しない		・	・	・			種 類	仕上けの形状	工法	上塗材	・ 複層塗材 E	・ 凹凸状	※吹付け	※7μm系	※つやあり	・ 複層塗材 C E	・ 凸部処理	・ ローター	・ 溶剤系	・ つやなし	・ 可とう形複層塗材 C E	・ ゆず肌状	・	・ 7μmシリコン系	・ メリツク	・ 複層塗材 S	・	・	・ ふっ素系		・ 複層塗材 R E	・	・	・ シリカ系		・	・	・	・	・																														
種 類	仕上けの形状	工 法	吸放湿性																																																																																																												
・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状	・ 吹付け																																																																																																													
・ 内装薄塗材 E	・ 砂壁状じゅらく	・ 吹付け	・ 適用する																																																																																																												
・ 可とう形外装薄塗材 E	・ 砂壁状	・ 吹付け	・ 適用しない																																																																																																												
・	・	・																																																																																																													
種 類	仕上けの形状	工 法	吸放湿性	上塗材																																																																																																											
・ 外装厚塗材 E	・ 吹放し	・ 吹付け	・ 行う	・ 行わない																																																																																																											
・ 内装厚塗材 E	・ 凸部処理	・ 吹付け	・ 適用する																																																																																																												
・	・ 凸部処理	・	・ 適用しない																																																																																																												
・	・	・																																																																																																													
種 類	仕上けの形状	工法	上塗材																																																																																																												
・ 複層塗材 E	・ 凹凸状	※吹付け	※7μm系	※つやあり																																																																																																											
・ 複層塗材 C E	・ 凸部処理	・ ローター	・ 溶剤系	・ つやなし																																																																																																											
・ 可とう形複層塗材 C E	・ ゆず肌状	・	・ 7μmシリコン系	・ メリツク																																																																																																											
・ 複層塗材 S	・	・	・ ふっ素系																																																																																																												
・ 複層塗材 R E	・	・	・ シリカ系																																																																																																												
・	・	・	・	・																																																																																																											
5	モルタル塗り	材料 (15.3.2) モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 吸水調整材の品質 ※表15.2.2による 既製目地材 ・ 使用しない ・ 使用する 形状、寸法 () 床目地 ・ 設ける（工法 ※押し目地 ・ ） ・ 設けない (15.3.5) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない	6	鋼製建具	・ 簡易気密型ドアセット 気密性、水密性の等級 ・ 適用する (表16.4.1) (16.4.2) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S - 4 ・ S - 5 ・ S - 6 (表16.2.1) ・ 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ※ 図示による ・ ・ 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ※ 図示による ・ ・ 耐震ドアセット、面内変形追従性の等級 ※ 図示による ・	4	4	合成樹脂塗床	・ 厚膜型塗床材 (19.4.2~3) <table><tr><td>塗床の種類</td><td>仕上けの種類</td></tr><tr><td>・ 弾性ウレタン樹脂系塗床</td><td>※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ</td></tr><tr><td>・ エポキシ樹脂系塗床</td><td>・ つや消し仕上げ</td></tr><tr><td></td><td>・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 平滑仕上げ</td></tr><tr><td></td><td>・ 樹脂モルタル仕上げ ・ 防滑仕上げ</td></tr></table> ・ 薄膜型塗床材 (19.4.2~3) <table><tr><td>塗床の種類</td><td>仕上けの種類</td></tr><tr><td>※ エポキシ樹脂系塗床</td><td>※ 平滑仕上げ</td></tr></table> ※ 塗床に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	塗床の種類	仕上けの種類	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ	・ エポキシ樹脂系塗床	・ つや消し仕上げ		・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 平滑仕上げ		・ 樹脂モルタル仕上げ ・ 防滑仕上げ	塗床の種類	仕上けの種類	※ エポキシ樹脂系塗床	※ 平滑仕上げ																																																																																								
塗床の種類	仕上けの種類																																																																																																														
・ 弾性ウレタン樹脂系塗床	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ																																																																																																														
・ エポキシ樹脂系塗床	・ つや消し仕上げ																																																																																																														
	・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 平滑仕上げ																																																																																																														
	・ 樹脂モルタル仕上げ ・ 防滑仕上げ																																																																																																														
塗床の種類	仕上けの種類																																																																																																														
※ エポキシ樹脂系塗床	※ 平滑仕上げ																																																																																																														
6	防水モルタル塗り	防水剤 ※実績等の資料を監督員に提出する	7	鋼製軽量建具	鋼板類の厚さ (W) 以下の場合 ※表16.4.2による ・ (16.4.4) (W) を超える場合 ※ 図示による ・ (W) 1 枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さが2,400mm ・ 簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ 適用する（気密性 A - 3） (16.5.2) ・ 適用しない ・ 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ※ 図示による ・ ・ 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ※ 図示による ・ ・ 耐震ドアセット、面内変形追従性の等級 ※ 図示による ・ 戸の鋼板 ・ 鋼板 (16.5.3.1.7) ・ ビニル皮膜鋼板 ・ カラー鋼板 (16.5.3) 召合せ、縦小口包み板、押縁 ※/鋼板 (16.5.3.1.7) ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム押出形材 鋼板類の厚さ (W) 以下の場合 ※表16.5.1による ・ (16.5.4) (W) を超える場合 ※ 図示による ・ (W) 1 枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さが2,400mm	17	1	カーテンウォール	(17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6) <table><tr><td>耐風圧性</td><td>※ 建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全を確認したもの。 ・ 正圧 N / m 以上、負圧 N / m 以上に対して安全なもの</td></tr><tr><td>耐震性</td><td>水平方向に対する地震力係数 ※ 1.0 鉛直方向に対する地震力係数 ※ 0.5</td></tr><tr><td>変位追従性</td><td>S 造 ※ 1/200以上 R C、S R C 造 ※ 1/300以上</td></tr><tr><td>・ 水密性</td><td>・ W - 4 ・ W - 5 ・</td></tr><tr><td>・ 気密性</td><td>・ A - 3 ・ A - 4 ・</td></tr><tr><td>・ 耐火性</td><td></td></tr><tr><td>・ 耐温度差性</td><td></td></tr><tr><td>・ 遮音性</td><td>・ T - 1 ・ T - 2 ・ T - 3 ・ T - 4</td></tr><tr><td>・ 断熱性</td><td></td></tr></table> その他の性能 種類 ・ 図示による ・ メタルカーテンウォール ・ 金属材料その他の材料 ※ 図示による ・ P Cカーテンウォール 製作所	耐風圧性	※ 建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全を確認したもの。 ・ 正圧 N / m 以上、負圧 N / m 以上に対して安全なもの	耐震性	水平方向に対する地震力係数 ※ 1.0 鉛直方向に対する地震力係数 ※ 0.5	変位追従性	S 造 ※ 1/200以上 R C、S R C 造 ※ 1/300以上	・ 水密性	・ W - 4 ・ W - 5 ・	・ 気密性	・ A - 3 ・ A - 4 ・	・ 耐火性		・ 耐温度差性		・ 遮音性	・ T - 1 ・ T - 2 ・ T - 3 ・ T - 4	・ 断熱性		18	1	材料	防火材料 (18.1.3) 屋内の壁及び天井の塗装仕上げは建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする。 材料 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆																																																																																
耐風圧性	※ 建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全を確認したもの。 ・ 正圧 N / m 以上、負圧 N / m 以上に対して安全なもの																																																																																																														
耐震性	水平方向に対する地震力係数 ※ 1.0 鉛直方向に対する地震力係数 ※ 0.5																																																																																																														
変位追従性	S 造 ※ 1/200以上 R C、S R C 造 ※ 1/300以上																																																																																																														
・ 水密性	・ W - 4 ・ W - 5 ・																																																																																																														
・ 気密性	・ A - 3 ・ A - 4 ・																																																																																																														
・ 耐火性																																																																																																															
・ 耐温度差性																																																																																																															
・ 遮音性	・ T - 1 ・ T - 2 ・ T - 3 ・ T - 4																																																																																																														
・ 断熱性																																																																																																															
7	マステック塗材塗り	種別 ・ A 種 ・ B 種 (15.7.2)	8	ステンレス製建具	・ 簡易気密型ドアセット 気密性、水密性の等級 ・ 適用する (表16.4.1) (16.6.2) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S - 4 ・ S - 5 ・ S - 6 (表16.2.1) (16.6.2) ・ 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ※ 図示による ・ ・ 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ※ 図示による ・ ・ 耐震ドアセット、面内変形追従性の等級 ※ 図示による ・ ステンレス鋼板 ・ S U S 3 0 4 ・ (16.6.3) 表面の仕上げ ※ H L ・ (16.6.4)	2	2	塗装面の確認等	工事現場塗装 ※ 使用量から単位面積当たり塗付け量を推定 (18.1.7) 工場塗装 ※ 適切な測定器具により膜厚を確認 (18.2.2~4) <table><tr><td>木部</td><td>不透明塗料塗り</td><td>※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td></td><td>透明塗料塗り</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td></td><td>・ A 種 (注) ・ B 種 (注) ※ C 種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき面</td><td>鋼製建具</td><td>・ A 種 (注) ※ B 種</td></tr><tr><td></td><td>鋼製建具以外</td><td>※ A 種 (注) ・ B 種</td></tr></table> (注)：製作工場で行う。	木部	不透明塗料塗り	※ A 種 ・ B 種		透明塗料塗り	・ A 種 ※ B 種	鉄鋼面		・ A 種 (注) ・ B 種 (注) ※ C 種	亜鉛めっき面	鋼製建具	・ A 種 (注) ※ B 種		鋼製建具以外	※ A 種 (注) ・ B 種																																																																																							
木部	不透明塗料塗り	※ A 種 ・ B 種																																																																																																													
	透明塗料塗り	・ A 種 ※ B 種																																																																																																													
鉄鋼面		・ A 種 (注) ・ B 種 (注) ※ C 種																																																																																																													
亜鉛めっき面	鋼製建具	・ A 種 (注) ※ B 種																																																																																																													
	鋼製建具以外	※ A 種 (注) ・ B 種																																																																																																													
8	しっくい塗り	※ 図示による (15.10.2)	9	木製建具	建具材の含水率 ・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 (16.7.2) (表16.7.1) フラッシュ戸の心材 ・ 中骨式 ・ ベーパーコア式 ・ (表16.7.8) ふすまの材料種別 ※ I 型 ・ II 型 ・ 新島の子 (16.7.10) 上張り紙 ・ ビニル紙 押入れ等の裏紙 ※ 雲花紙 縁 ※ 図示による ・	3	3	素地ごしらえ	<table><tr><td>木部</td><td>不透明塗料塗り</td><td>※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td></td><td>透明塗料塗り</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td></td><td>・ A 種 (注) ・ B 種 (注) ※ C 種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき面</td><td>鋼製建具</td><td>・ A 種 (注) ※ B 種</td></tr><tr><td></td><td>鋼製建具以外</td><td>※ A 種 (注) ・ B 種</td></tr></table> (注)：製作工場で行う。	木部	不透明塗料塗り	※ A 種 ・ B 種		透明塗料塗り	・ A 種 ※ B 種	鉄鋼面		・ A 種 (注) ・ B 種 (注) ※ C 種	亜鉛めっき面	鋼製建具	・ A 種 (注) ※ B 種		鋼製建具以外	※ A 種 (注) ・ B 種																																																																																							
木部	不透明塗料塗り	※ A 種 ・ B 種																																																																																																													
	透明塗料塗り	・ A 種 ※ B 種																																																																																																													
鉄鋼面		・ A 種 (注) ・ B 種 (注) ※ C 種																																																																																																													
亜鉛めっき面	鋼製建具	・ A 種 (注) ※ B 種																																																																																																													
	鋼製建具以外	※ A 種 (注) ・ B 種																																																																																																													
9	こまい塗り	※ 図示による (15.11.2)	10	建具用金物	建具表による (16.8.1~4) (表16.8.1~4) 見本提出のうえ監督員の承諾を受ける。 鍵箱 ・ 設ける（ 個用） ・ 設けない ・ 鍵札 マスターキー ・ 製作する（ 組） ・ 製作しない ・ 既存マスター合わせ 煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。 ※ 扉にラッチ受座用切込開口補強 ・ 枠に解錠機構用切込開口補強	19	内装工事	2	2	ビニル床シート ビニル床タイル	・ ビニル床シート (19.2.2~3) <table><tr><td>種 類</td><td>記 号</td><td>色 柄</td><td>厚さ (mm)</td><td>特殊機能</td><td>工 法</td></tr><tr><td>※ 発泡層のないもの</td><td>※ F S</td><td>※ ブレーン</td><td>※ 2</td><td>・ 帯電防止</td><td>・ 突付け</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ マーブル</td><td>・ 2.5</td><td>・ 耐動荷重</td><td>※ 熱溶接</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 特殊柄</td><td></td><td>・ 防滑性</td><td></td></tr></table> ・ ビニル床タイル (19.2.2) <table><tr><td>記 号</td><td>色柄</td><td>厚さ (mm)</td><td>特殊機能</td><td>寸法</td><td>備考</td></tr><tr><td>・ T T</td><td>※ 標準柄</td><td>※ 2 ・ 3</td><td>・ 帯電防止</td><td>※ 図示による</td><td></td></tr><tr><td>・ F T</td><td>※ 特殊柄</td><td></td><td>・ 防滑性</td><td></td><td></td></tr><tr><td>※ K T</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ F O A</td><td>※ 標準柄</td><td>・ 4以上</td><td>・ 帯電防止</td><td>※ 図示による</td><td></td></tr><tr><td>・ F O B</td><td>※ 特殊柄</td><td>・ 4未満</td><td>・ 防滑性</td><td></td><td></td></tr></table> ・ 特殊機能床材 (19.2.2) <table><tr><td>種 類</td><td>厚さ (mm)</td><td>形状、寸法、性能等</td></tr><tr><td>・ 視覚障害者用床タイル</td><td></td><td></td></tr></table> ・ ビニル幅木 (19.2.2) <table><tr><td>厚さ (mm)</td><td>高 さ (mm)</td><td>種 類</td><td>色 柄</td></tr><tr><td>※ 1.5以上</td><td>・ ※ 60 ・ 75 ・ 100</td><td>※ 軟質 ・ 硬質</td><td>※ 標準柄</td></tr></table>	種 類	記 号	色 柄	厚さ (mm)	特殊機能	工 法	※ 発泡層のないもの	※ F S	※ ブレーン	※ 2	・ 帯電防止	・ 突付け			・ マーブル	・ 2.5	・ 耐動荷重	※ 熱溶接			・ 特殊柄		・ 防滑性		記 号	色柄	厚さ (mm)	特殊機能	寸法	備考	・ T T	※ 標準柄	※ 2 ・ 3	・ 帯電防止	※ 図示による		・ F T	※ 特殊柄		・ 防滑性			※ K T						・ F O A	※ 標準柄	・ 4以上	・ 帯電防止	※ 図示による		・ F O B	※ 特殊柄	・ 4未満	・ 防滑性			種 類	厚さ (mm)	形状、寸法、性能等	・ 視覚障害者用床タイル			厚さ (mm)	高 さ (mm)	種 類	色 柄	※ 1.5以上	・ ※ 60 ・ 75 ・ 100	※ 軟質 ・ 硬質	※ 標準柄																										
種 類	記 号	色 柄	厚さ (mm)	特殊機能	工 法																																																																																																										
※ 発泡層のないもの	※ F S	※ ブレーン	※ 2	・ 帯電防止	・ 突付け																																																																																																										
		・ マーブル	・ 2.5	・ 耐動荷重	※ 熱溶接																																																																																																										
		・ 特殊柄		・ 防滑性																																																																																																											
記 号	色柄	厚さ (mm)	特殊機能	寸法	備考																																																																																																										
・ T T	※ 標準柄	※ 2 ・ 3	・ 帯電防止	※ 図示による																																																																																																											
・ F T	※ 特殊柄		・ 防滑性																																																																																																												
※ K T																																																																																																															
・ F O A	※ 標準柄	・ 4以上	・ 帯電防止	※ 図示による																																																																																																											
・ F O B	※ 特殊柄	・ 4未満	・ 防滑性																																																																																																												
種 類	厚さ (mm)	形状、寸法、性能等																																																																																																													
・ 視覚障害者用床タイル																																																																																																															
厚さ (mm)	高 さ (mm)	種 類	色 柄																																																																																																												
※ 1.5以上	・ ※ 60 ・ 75 ・ 100	※ 軟質 ・ 硬質	※ 標準柄																																																																																																												
10	ロックウール吹付け	ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 吹付け厚さ ・ 図示による ・ 25mm	16	防火戸の指定	※ 図示による (16.1.3.)	11	自動ドア開閉装置	製作所 ※監督員の承諾する製作所 スライディングドア用の性能値 片引き ・ S S L D - 1 ・ S S L D - 2 (表16.9.1) 引分け ・ D S L D - 1 ・ D S L D - 2 スイングドア用の性能値 片開き ・ S W D - 1 ・ S W D - 2 (表16.9.2) センサーの種類 (表16.9.3) ・ 光線スイッチ ・ 熱線スイッチ ・ 音波スイッチ ・ ペダルスイッチ ・ 電波スイッチ ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ・ 多機能トイレスイッチ ※ 多機能トイレスイッチには大型（開・閉）押しボタンスイッチ又は非接触スイッチ、使用中表示灯、外部側キースイッチ（緊急時対応）を含む。	4	錆止め塗料塗り	鉄鋼面 (18.3.2~3) (18.7.2) <table><tr><td colspan="2">塗料の種類別</td><td colspan="2">塗料塗りの種類</td></tr><tr><td>(注1) 以外</td><td>※ A 種 JIS K5674 1 種</td><td>屋内、屋外</td><td>見え掛り ※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>(注2)</td><td></td><td></td><td>見え隠れ ・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td>(注1)</td><td>※ B 種 JASS 18 M-111</td><td>屋内</td><td></td></tr><tr><td>(注2)</td><td>※ A 種 JIS K5551 JIS K5552</td><td>屋外</td><td></td></tr></table> 亜鉛めっき鋼面 (18.3.2~3) (18.7.2) <table><tr><td colspan="2">塗料の種類別</td><td colspan="2">塗料塗りの種類</td></tr><tr><td>(注1) 以外</td><td>※ A 種 JPM S 28</td><td>屋外、屋内</td><td>鋼製建具 ※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>(注2)</td><td>・ B 種 JASS 18 M-109</td><td>屋外、屋内</td><td>その他 ・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td>(注1)</td><td>※ C 種 JASS 18 M-111</td><td>屋内</td><td></td></tr><tr><td>(注2)</td><td>※ B 種 JASS 18 M-109</td><td>屋外</td><td></td></tr></table> (注1)：つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（E P - G） (注2)：耐候性塗料塗り（D P）	塗料の種類別		塗料塗りの種類		(注1) 以外	※ A 種 JIS K5674 1 種	屋内、屋外	見え掛り ※ A 種 ・ B 種	(注2)			見え隠れ ・ A 種 ※ B 種	(注1)	※ B 種 JASS 18 M-111	屋内		(注2)	※ A 種 JIS K5551 JIS K5552	屋外		塗料の種類別		塗料塗りの種類		(注1) 以外	※ A 種 JPM S 28	屋外、屋内	鋼製建具 ※ A 種 ・ B 種	(注2)	・ B 種 JASS 18 M-109	屋外、屋内	その他 ・ A 種 ※ B 種	(注1)	※ C 種 JASS 18 M-111	屋内		(注2)	※ B 種 JASS 18 M-109	屋外																																																													
塗料の種類別		塗料塗りの種類																																																																																																													
(注1) 以外	※ A 種 JIS K5674 1 種	屋内、屋外	見え掛り ※ A 種 ・ B 種																																																																																																												
(注2)			見え隠れ ・ A 種 ※ B 種																																																																																																												
(注1)	※ B 種 JASS 18 M-111	屋内																																																																																																													
(注2)	※ A 種 JIS K5551 JIS K5552	屋外																																																																																																													
塗料の種類別		塗料塗りの種類																																																																																																													
(注1) 以外	※ A 種 JPM S 28	屋外、屋内	鋼製建具 ※ A 種 ・ B 種																																																																																																												
(注2)	・ B 種 JASS 18 M-109	屋外、屋内	その他 ・ A 種 ※ B 種																																																																																																												
(注1)	※ C 種 JASS 18 M-111	屋内																																																																																																													
(注2)	※ B 種 JASS 18 M-109	屋外																																																																																																													
15	1	モルタル塗り	材料 (15.3.2) モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 吸水調整材の品質 ※表15.2.2による 既製目地材 ・ 使用しない ・ 使用する 形状、寸法 () 床目地 ・ 設ける（工法 ※押し目地 ・ ） ・ 設けない (15.3.5) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない	16	防火戸の指定	※ 図示による (16.1.3.)	17	カーテンウォール	(17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6) <table><tr><td>耐風圧性</td><td>※ 建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全を確認したもの。 ・ 正圧 N / m 以上、負圧 N / m 以上に対して安全なもの</td></tr><tr><td>耐震性</td><td>水平方向に対する地震力係数 ※ 1.0 鉛直方向に対する地震力係数 ※ 0.5</td></tr><tr><td>変位追従性</td><td>S 造 ※ 1/200以上 R C、S R C 造 ※ 1/300以上</td></tr><tr><td>・ 水密性</td><td>・ W - 4 ・ W - 5 ・</td></tr><tr><td>・ 気密性</td><td>・ A - 3 ・ A - 4 ・</td></tr><tr><td>・ 耐火性</td><td></td></tr><tr><td>・ 耐温度差性</td><td></td></tr><tr><td>・ 遮音性</td><td>・ T - 1 ・ T - 2 ・ T - 3 ・ T - 4</td></tr><tr><td>・ 断熱性</td><td></td></tr></table> その他の性能 種類 ・ 図示による ・ メタルカーテンウォール ・ 金属材料その他の材料 ※ 図示による ・ P Cカーテンウォール 製作所	耐風圧性	※ 建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全を確認したもの。 ・ 正圧 N / m 以上、負圧 N / m 以上に対して安全なもの	耐震性	水平方向に対する地震力係数 ※ 1.0 鉛直方向に対する地震力係数 ※ 0.5	変位追従性	S 造 ※ 1/200以上 R C、S R C 造 ※ 1/300以上	・ 水密性	・ W - 4 ・ W - 5 ・	・ 気密性	・ A - 3 ・ A - 4 ・	・ 耐火性		・ 耐温度差性		・ 遮音性	・ T - 1 ・ T - 2 ・ T - 3 ・ T - 4	・ 断熱性		18	1	材料	防火材料 (18.1.3) 屋内の壁及び天井の塗装仕上げは建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする。 材料 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	19	内装工事	2	2	ビニル床シート ビニル床タイル	・ ビニル床シート (19.2.2~3) <table><tr><td>種 類</td><td>記 号</td><td>色 柄</td><td>厚さ (mm)</td><td>特殊機能</td><td>工 法</td></tr><tr><td>※ 発泡層のないもの</td><td>※ F S</td><td>※ ブレーン</td><td>※ 2</td><td>・ 帯電防止</td><td>・ 突付け</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ マーブル</td><td>・ 2.5</td><td>・ 耐動荷重</td><td>※ 熱溶接</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 特殊柄</td><td></td><td>・ 防滑性</td><td></td></tr></table> ・ ビニル床タイル (19.2.2) <table><tr><td>記 号</td><td>色柄</td><td>厚さ (mm)</td><td>特殊機能</td><td>寸法</td><td>備考</td></tr><tr><td>・ T T</td><td>※ 標準柄</td><td>※ 2 ・ 3</td><td>・ 帯電防止</td><td>※ 図示による</td><td></td></tr><tr><td>・ F T</td><td>※ 特殊柄</td><td></td><td>・ 防滑性</td><td></td><td></td></tr><tr><td>※ K T</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ F O A</td><td>※ 標準柄</td><td>・ 4以上</td><td>・ 帯電防止</td><td>※ 図示による</td><td></td></tr><tr><td>・ F O B</td><td>※ 特殊柄</td><td>・ 4未満</td><td>・ 防滑性</td><td></td><td></td></tr></table> ・ 特殊機能床材 (19.2.2) <table><tr><td>種 類</td><td>厚さ (mm)</td><td>形状、寸法、性能等</td></tr><tr><td>・ 視覚障害者用床タイル</td><td></td><td></td></tr></table> ・ ビニル幅木 (19.2.2) <table><tr><td>厚さ (mm)</td><td>高 さ (mm)</td><td>種 類</td><td>色 柄</td></tr><tr><td>※ 1.5以上</td><td>・ ※ 60 ・ 75 ・ 100</td><td>※ 軟質 ・ 硬質</td><td>※ 標準柄</td></tr></table>	種 類	記 号	色 柄	厚さ (mm)	特殊機能	工 法	※ 発泡層のないもの	※ F S	※ ブレーン	※ 2	・ 帯電防止	・ 突付け			・ マーブル	・ 2.5	・ 耐動荷重	※ 熱溶接			・ 特殊柄		・ 防滑性		記 号	色柄	厚さ (mm)	特殊機能	寸法	備考	・ T T	※ 標準柄	※ 2 ・ 3	・ 帯電防止	※ 図示による		・ F T	※ 特殊柄		・ 防滑性			※ K T						・ F O A	※ 標準柄	・ 4以上	・ 帯電防止	※ 図示による		・ F O B	※ 特殊柄	・ 4未満	・ 防滑性			種 類	厚さ (mm)	形状、寸法、性能等	・ 視覚障害者用床タイル			厚さ (mm)	高 さ (mm)	種 類	色 柄	※ 1.5以上	・ ※ 60 ・ 75 ・ 100	※ 軟質 ・ 硬質	※ 標準柄
耐風圧性	※ 建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全を確認したもの。 ・ 正圧 N / m 以上、負圧 N / m 以上に対して安全なもの																																																																																																														
耐震性	水平方向に対する地震力係数 ※ 1.0 鉛直方向に対する地震力係数 ※ 0.5																																																																																																														
変位追従性	S 造 ※ 1/200以上 R C、S R C 造 ※ 1/300以上																																																																																																														
・ 水密性	・ W - 4 ・ W - 5 ・																																																																																																														
・ 気密性	・ A - 3 ・ A - 4 ・																																																																																																														
・ 耐火性																																																																																																															
・ 耐温度差性																																																																																																															
・ 遮音性	・ T - 1 ・ T - 2 ・ T - 3 ・ T - 4																																																																																																														
・ 断熱性																																																																																																															
種 類	記 号	色 柄	厚さ (mm)	特殊機能	工 法																																																																																																										
※ 発泡層のないもの	※ F S	※ ブレーン	※ 2	・ 帯電防止	・ 突付け																																																																																																										
		・ マーブル	・ 2.5	・ 耐動荷重	※ 熱溶接																																																																																																										
		・ 特殊柄		・ 防滑性																																																																																																											
記 号	色柄	厚さ (mm)	特殊機能	寸法	備考																																																																																																										
・ T T	※ 標準柄	※ 2 ・ 3	・ 帯電防止	※ 図示による																																																																																																											
・ F T	※ 特殊柄		・ 防滑性																																																																																																												
※ K T																																																																																																															
・ F O A	※ 標準柄	・ 4以上	・ 帯電防止	※ 図示による																																																																																																											
・ F O B	※ 特殊柄	・ 4未満	・ 防滑性																																																																																																												
種 類	厚さ (mm)	形状、寸法、性能等																																																																																																													
・ 視覚障害者用床タイル																																																																																																															
厚さ (mm)	高 さ (mm)	種 類	色 柄																																																																																																												
※ 1.5以上	・ ※ 60 ・ 75 ・ 100	※ 軟質 ・ 硬質	※ 標準柄																																																																																																												

鉄筋工事仕様書 No. 1

この仕様書は、国土交通省大臣官庁官庁庁舎修繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年版）5章鉄筋工事により作成する。この仕様書及び図面に明示なき場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）5章鉄筋工事による。

鉄筋の折曲げ基準

鉄筋の折曲げ形状及び寸法

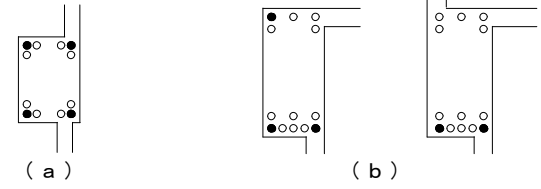
折曲げ角度	折 曲 げ 図	折曲げ内法直径（D）		
		SD295A、SD295B、SD345 D16以下	D19～D38	SD390 D19～D38
180°				
135°				
90°		3d以上	4d以上	5d以上
135°及び90°				
折曲げ角度	折 曲 げ 図	折曲げ内法直径（D）		
		SD295A、SD295B、SD345、SD390 D16以下	D19～D25	D25～D38
90°以下		4d以上	6d以上	8d以上

（注）1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。

異形鉄筋のフック

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部には、フックを付ける。

- 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合。（図面（a）の●印で示す鉄筋）
- 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合。（基礎梁を除く）（図面（b）の●印で示す鉄筋）
- 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む。）
- 杭基礎のベース筋
- 帯筋、あばら筋及び幅止め筋



鉄筋の継手及び定着

1. 鉄筋の継手

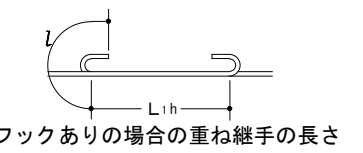
鉄筋の重ね継手は、次による。

- 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。耐力壁の鉄筋の重ね継手の場合、特記がなければ、40d（軽量コンクリートの場合は50d）と下表の重ね継手長さのうち大きい値とする。
- 1) 以外の鉄筋の重ね継手の長さは、下表による。

鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L_1 (フックなし)	L_2 (フックあり)
SD295A SD295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24, 27	40d	30d
SD390	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24, 27	40d	30d

（注）1. L_1 、 L_2 ：重ね継手の長さ。フックあり重ね継手の長さ
2. フックあり重ね継手及び定着の場合は、図面に示すようにフック部分1を含む。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



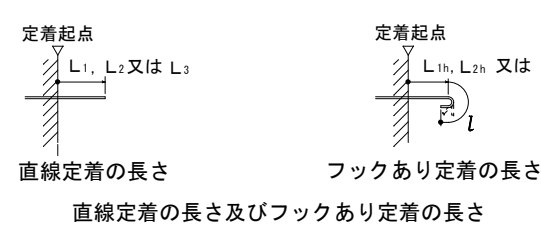
2. 鉄筋の定着

- 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着の長さは、下表により、適用は特記による。
- 1) 以外の鉄筋の定着長さは、下表による。

鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	直線定着の長さ L_1	直線定着の長さ L_2	フックあり定着の長さ L_3	フックあり定着の長さ L_4
SD295A SD295B	18	45d	40d	35d	30d
	21	40d	35d	30d	25d
	24, 27	35d	30d	25d	20d
SD345	18	50d	40d	35d	30d
	21	45d	35d	30d	25d
	24, 27	40d	35d	30d	25d
SD390	18	50d	40d	35d	30d
	21	45d	35d	30d	25d
	24, 27	40d	35d	30d	25d

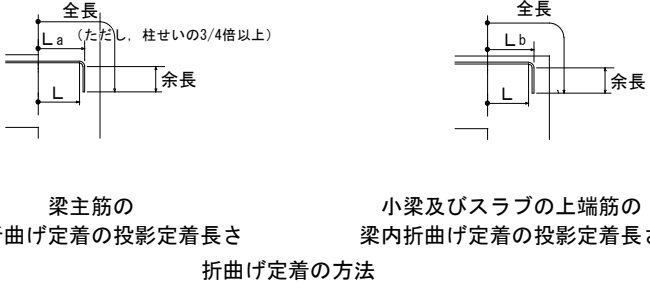
（注）1. L_1 、 L_2 ：2. 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
2. L_3 、 L_4 ：割製破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
3. L_3 ：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ（基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。なお、片持ち小梁及び片持ちスラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。
4. L_4 ：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
また、中間部での折曲げは行わない。
6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



3) 定着の方法

仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さ L_1 が、フックあり定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法は、下図により下記の条件を全て満足するものとする。

- 1) 全長は、2) 1) の直線定着長さ以上とする。
- 2) 余長は、8d以上とする。
- 3) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さ L_1 及び L_2 は、下図に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4以上とする。



3. 鉄筋の投影定着長さ

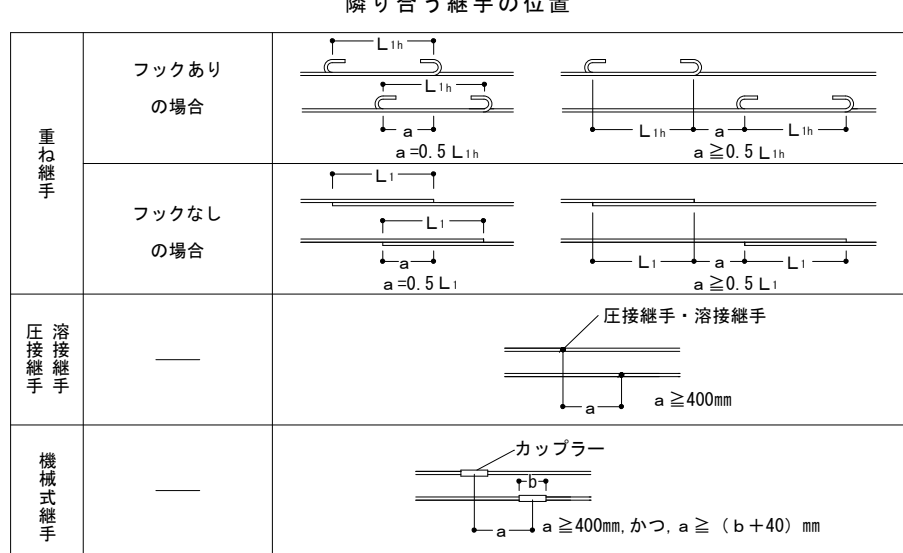
投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L_1	L_2
SD295A SD295B	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	15d
SD390	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	20d

（注）1. L_1 ：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。）
2. L_2 ：小梁及びスラブ上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

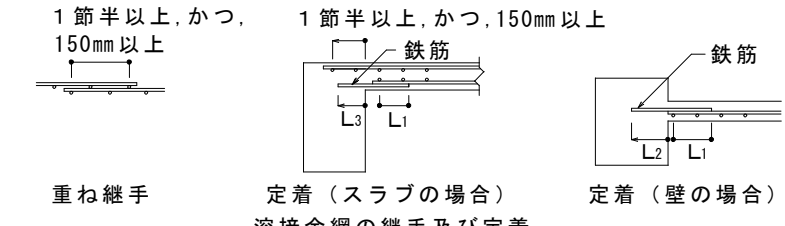
4. 隣り合う継手の位置

隣り合う継手の位置は、図面による。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。なお、先組工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所にする場合は、特記による。

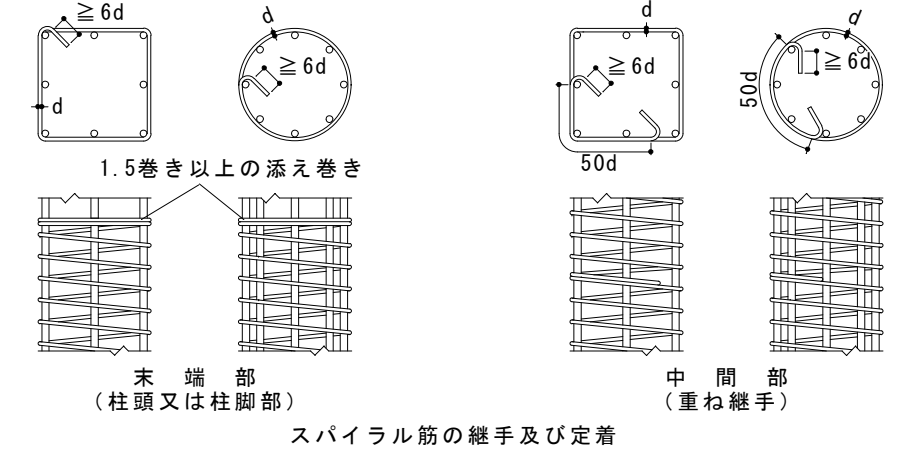


5. 溶接金網の継手及び定着

L_1 は1. 2) 、 L_2 及び L_3 は2. 2) による。



6. スパイラル筋の継手及び定着



鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

- 鉄筋（溶接金網含む）の最小かぶり厚さ（mm）
柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ（単位：mm）

構造部分の種類	最小かぶり厚さ（mm）	最小かぶり厚さ（mm）
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり 20 仕上げなし 30
	柱、梁、耐力壁	屋 内 仕上げあり 30 仕上げなし 30 屋 外 仕上げあり 30 仕上げなし 40
	擁壁、耐圧スラブ	40
	土に接する部分	基礎、擁壁、耐圧スラブ *60 煙突等高温を受ける部分 60

（注）1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含めない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。
5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

2. 鉄筋相互のあき

- 次の値のうち最大のもの以上とする。
 - (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
 - (2) 25mm
 - (3) 隣り合う鉄筋の平均径の1.5倍
- 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきも、同様とする。
- 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

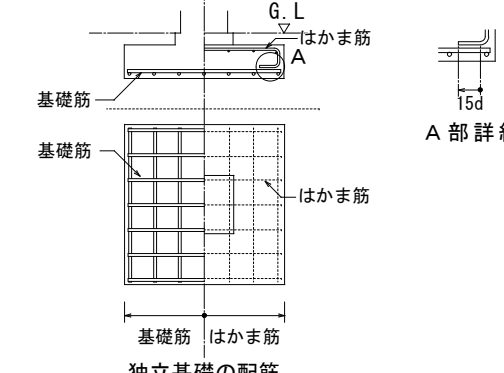
3. 鉄筋の表示記号

丸 鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D28	D32
記 号	●	×	○	●	○	○	○	◎

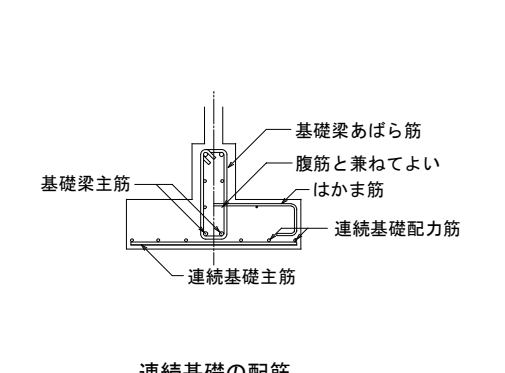
基礎の配筋

1. 直接基礎の配筋

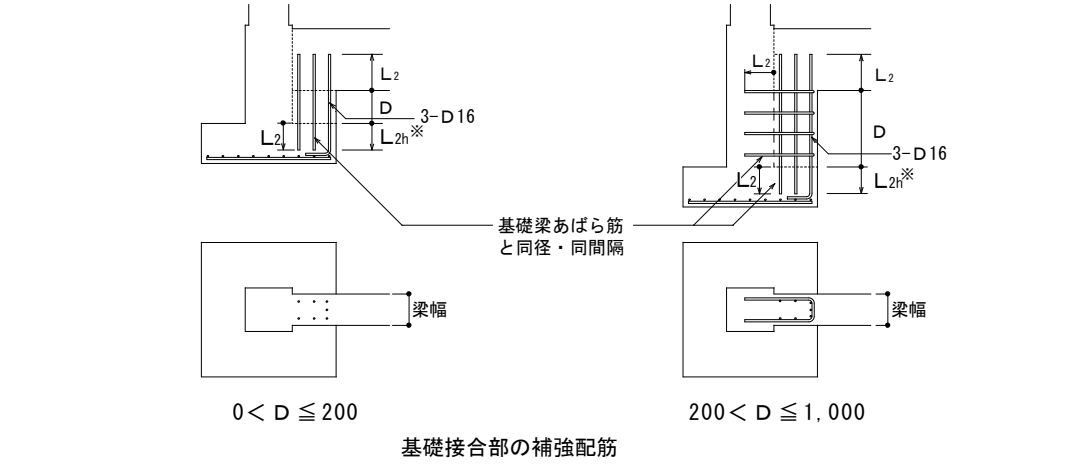
(a) 独立基礎



(b) 連続基礎



2. 基礎接合部の補強配筋



※ L_2 を確保できない場合は、鉄筋の継手及び定着の項によることができる。

基礎梁の配筋

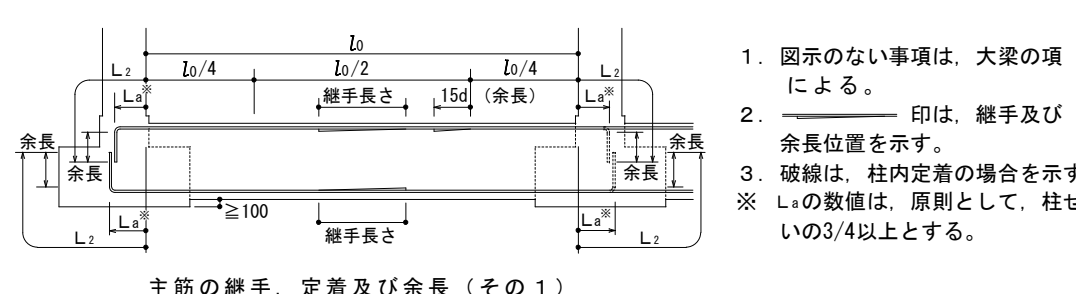
1. 基礎梁主筋の継手、定着及び余長

1) 一般事項

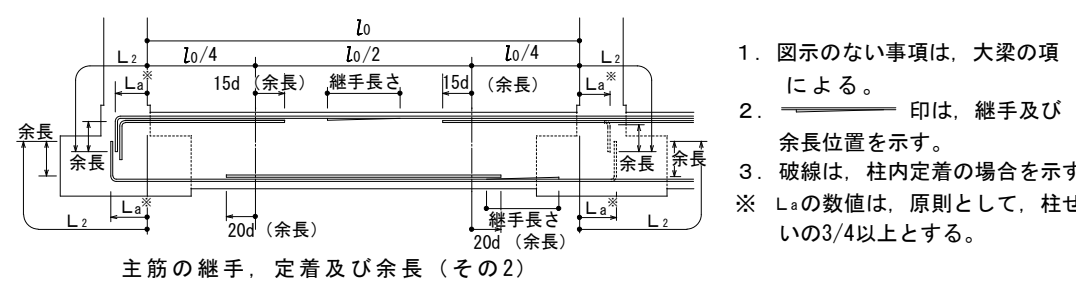
- (1) 梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。
- (2) 梁筋を柱内に定着する場合は、梁の配筋1. 1) (2) による。



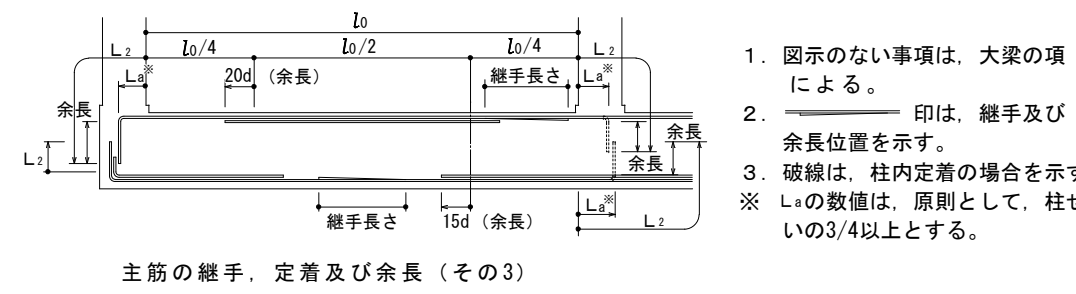
2) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長



3) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長

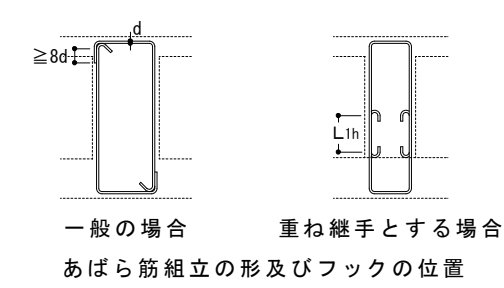


4) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長



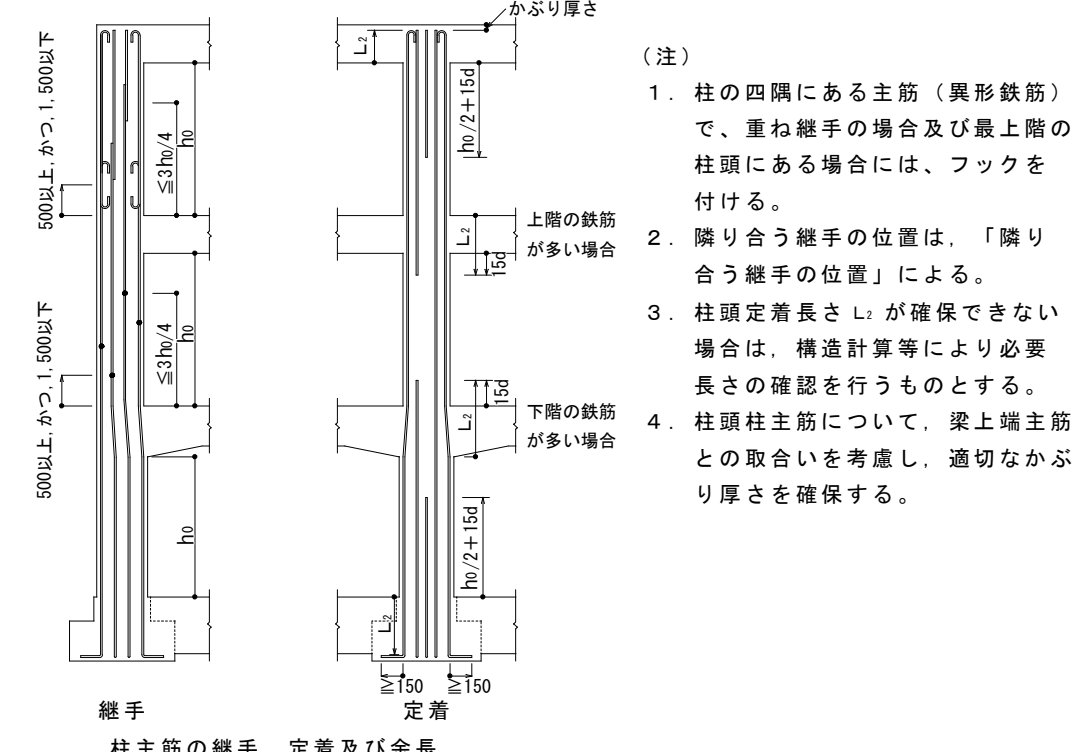
2. 基礎梁のあばら筋

- あばら筋組立の形及びフックの位置は、梁の配筋2. 1) による。ただし、梁の上下端にスラブがつく場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合、下図によることができる。



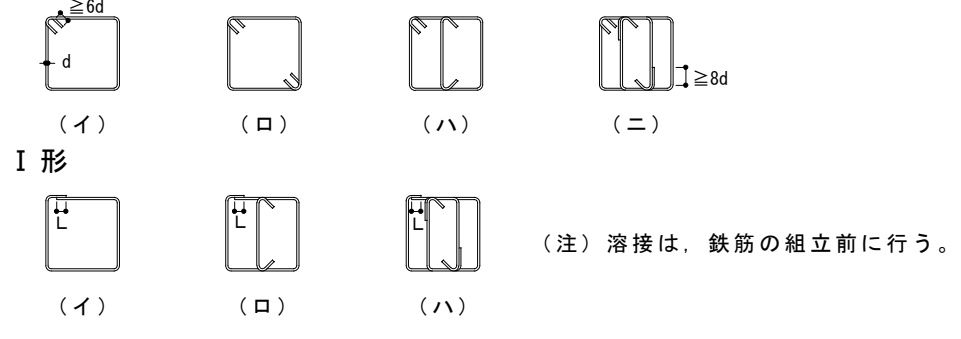
柱の配筋

1. 柱主筋の継手、定着及び余長

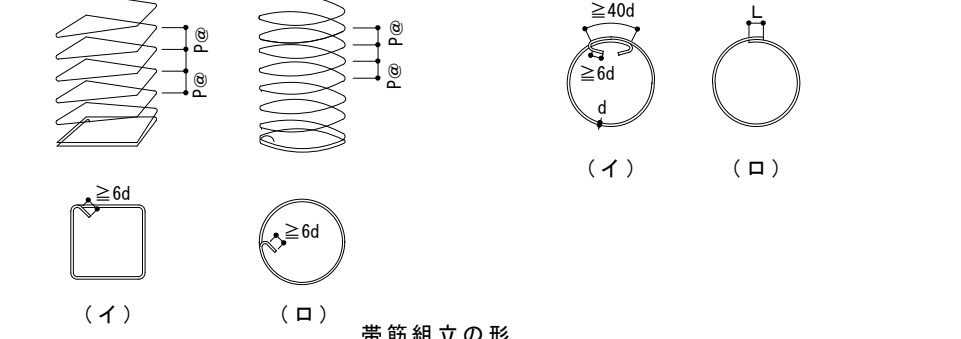


2. 帯筋組立の形及び割付け

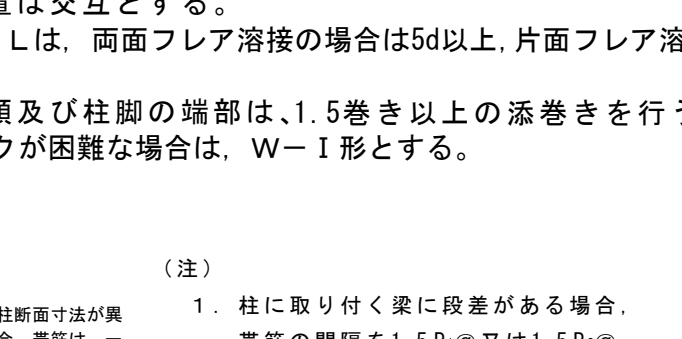
① H形



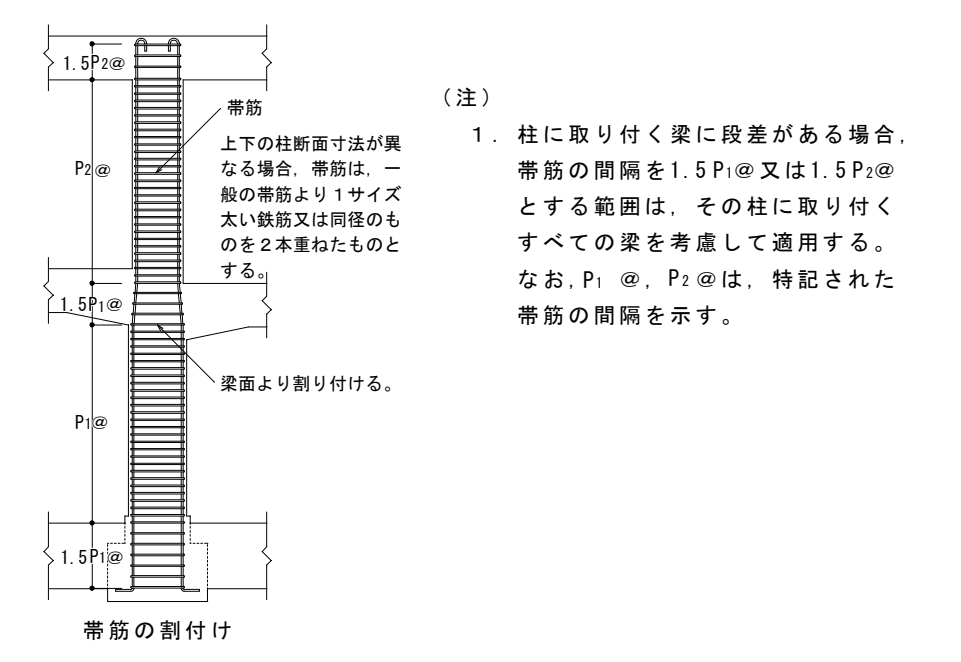
② W-I形



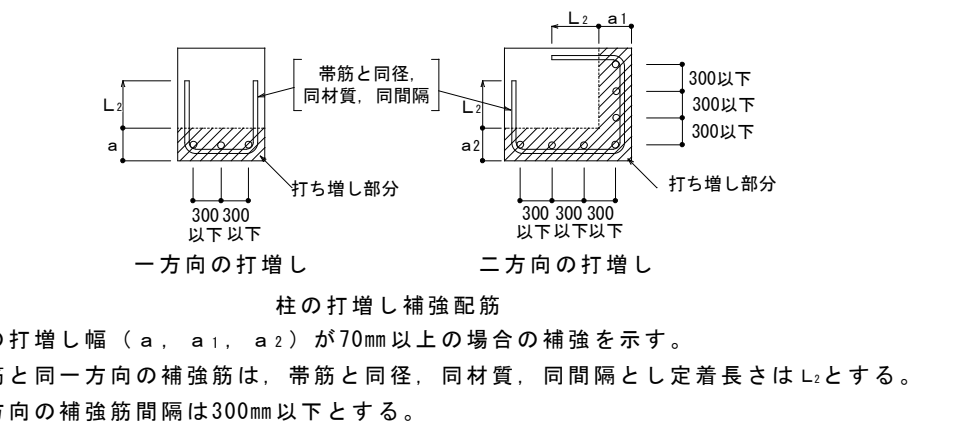
③ S P形（スパイラル筋）



- (1) H形を標準とする。
- (2) フック及び継手の位置は交互とする。
- (3) 溶接する場合の溶接長さ L_1 は、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。
- (4) S P形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻き以上の添巻きを行う。
- (5) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。



4. 柱の打ち増し補強



梁の配筋

1. 大梁主筋の継手、定着及び余長

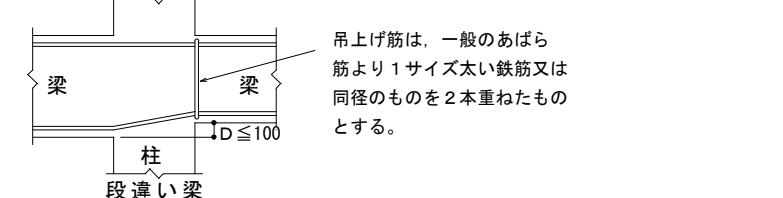
1) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

- (1) 梁主筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。

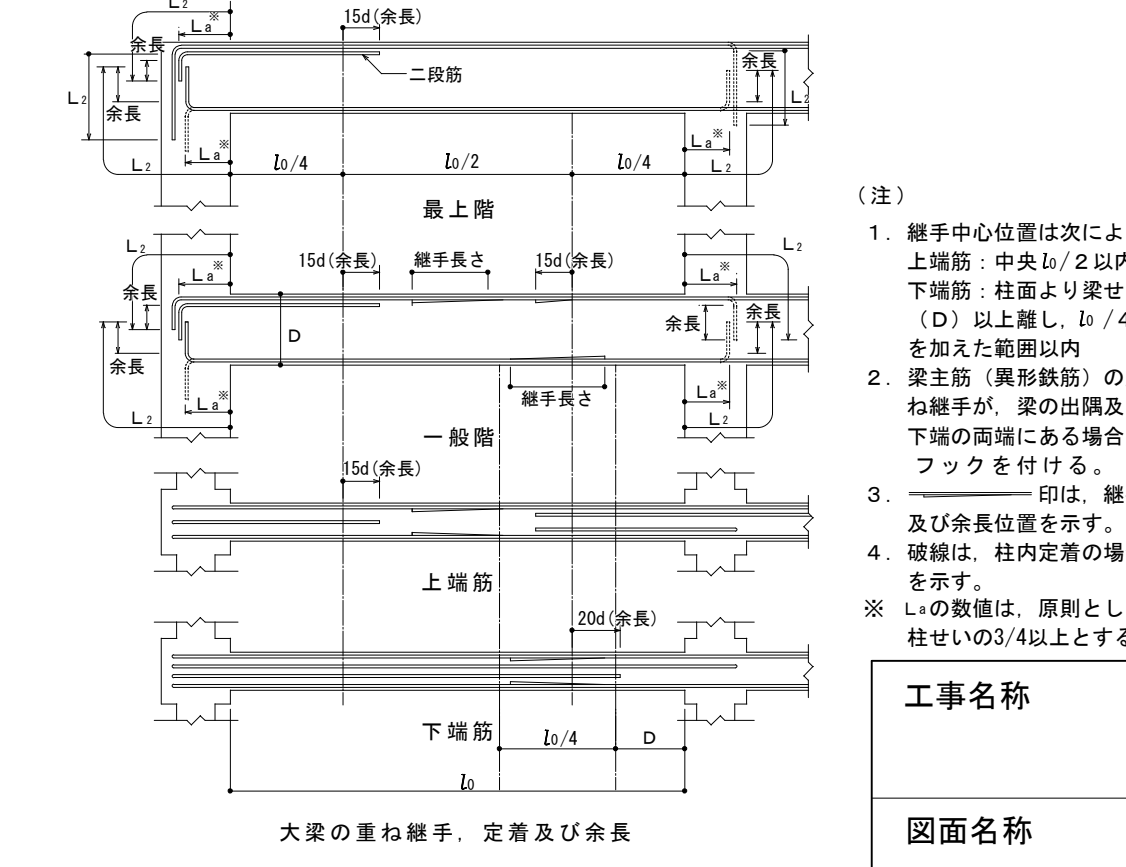


(2) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は、次による。

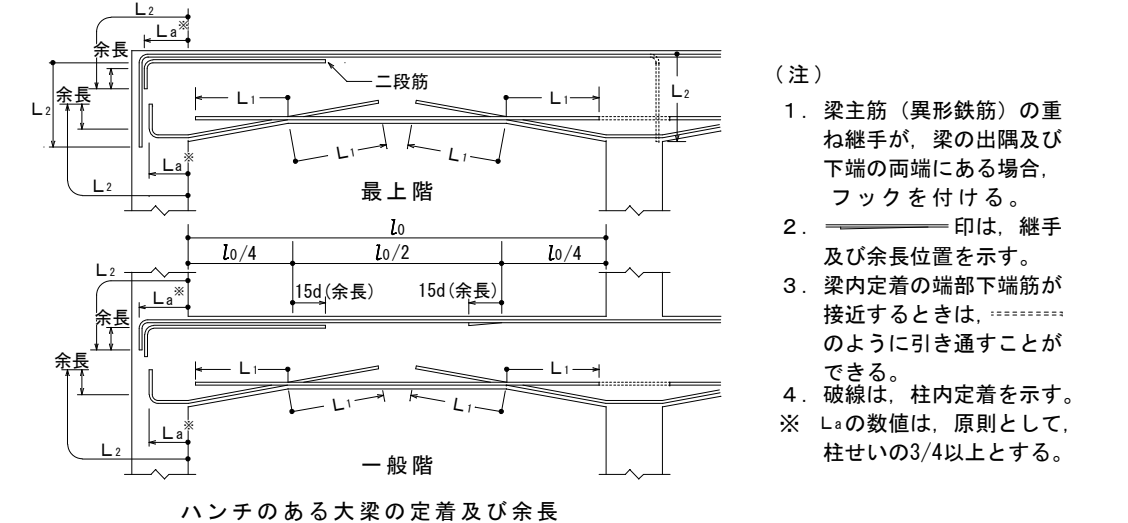
- なお、定着の方法は継手及び定着の項による。
- 上端筋：曲げ降ろす。
- 下端筋：原則として曲げ上げる。
- 段違い梁は、下図による。



2) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長

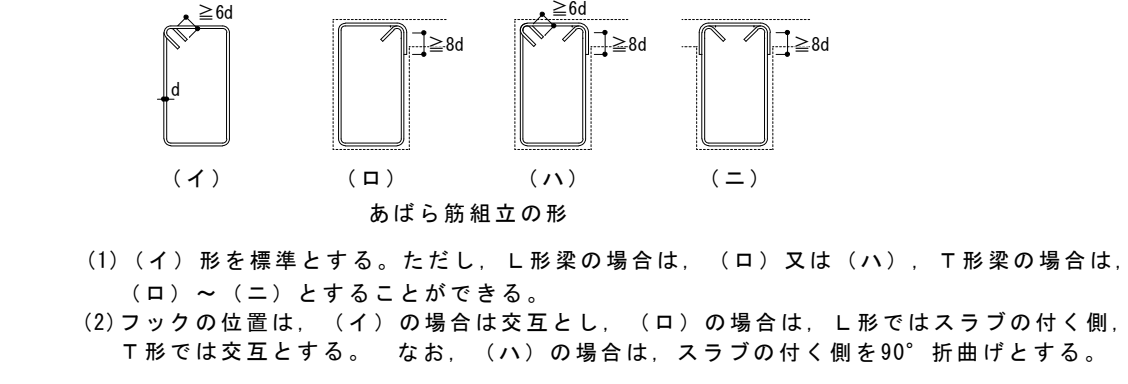


3) ハンチのある場合の定着及び余長



2. あばら筋（小梁、片持ち梁、基礎梁含む）の組立の形及び割付け

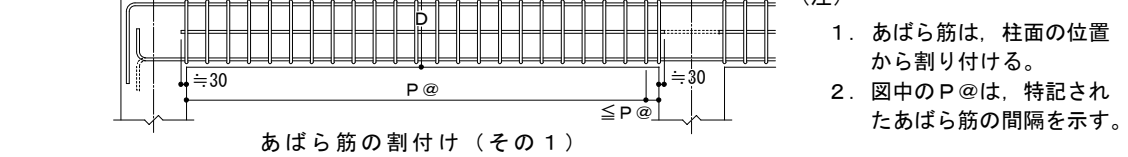
1) あばら筋組立の形及びフックの位置



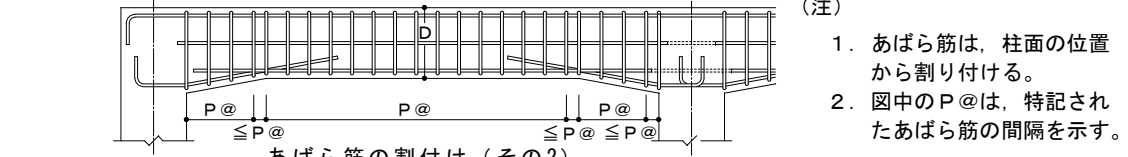
- (1) (イ) 形を標準とする。ただし、L形梁の場合は、(ロ) 又は (ハ) 、T形梁の場合は、(ロ) ～(ニ) とすることができる。
- (2) フックの位置は、(イ) の場合は交互とし、(ロ) の場合は、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。なお、(ハ) の場合は、スラブの付く側を90°折曲げとする。

2) あばら筋の割付け

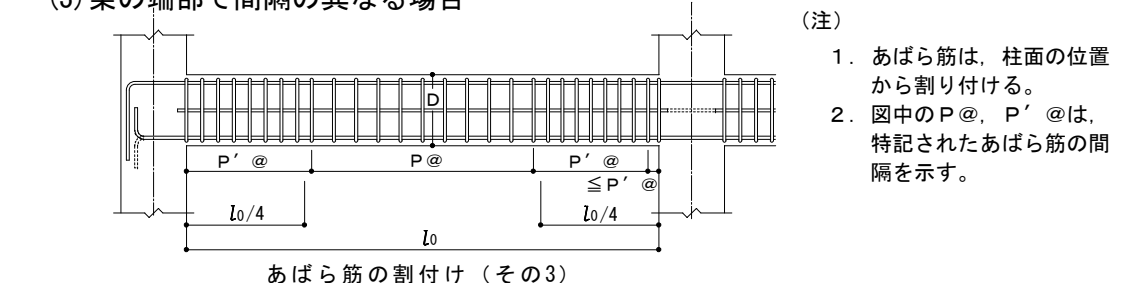
(1) 間隔が一樣で、ハンチのない場合



(2) 間隔が一樣で、ハンチのある場合

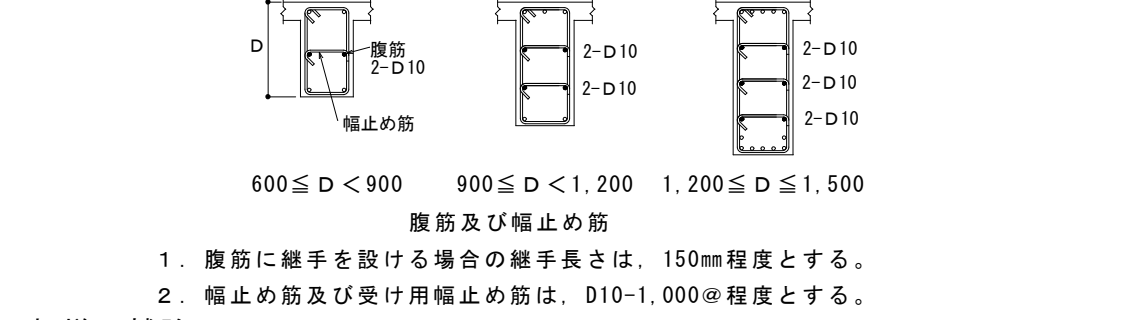


(3) 梁の端部で間隔の異なる場合

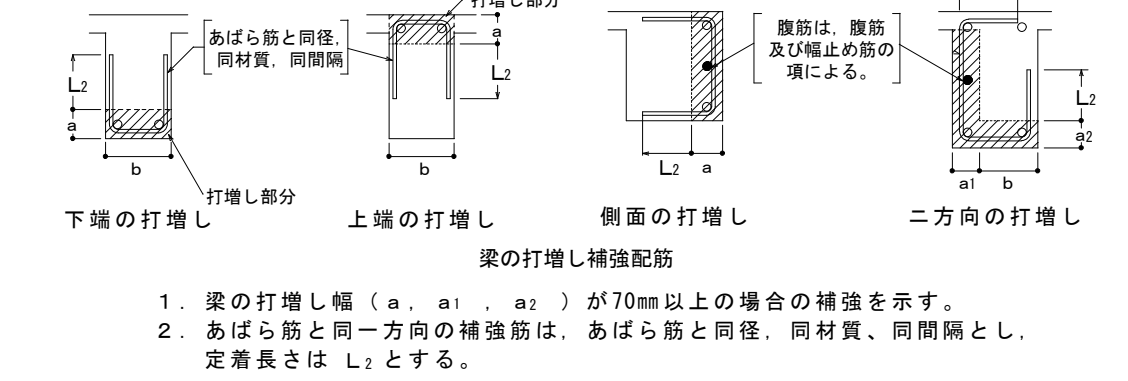


3) 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁



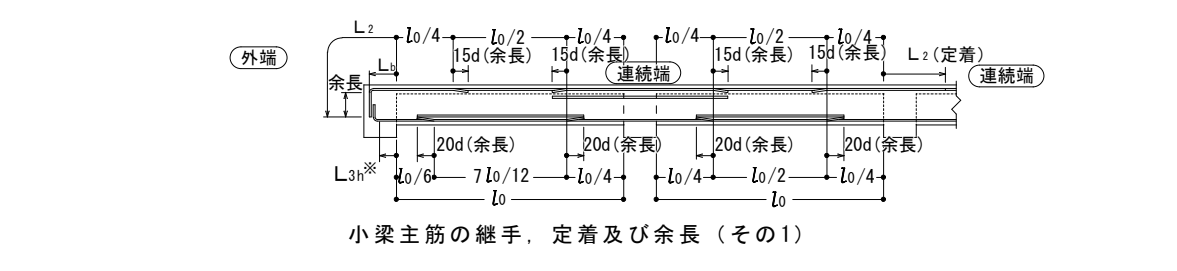
2. 打ち増し補強



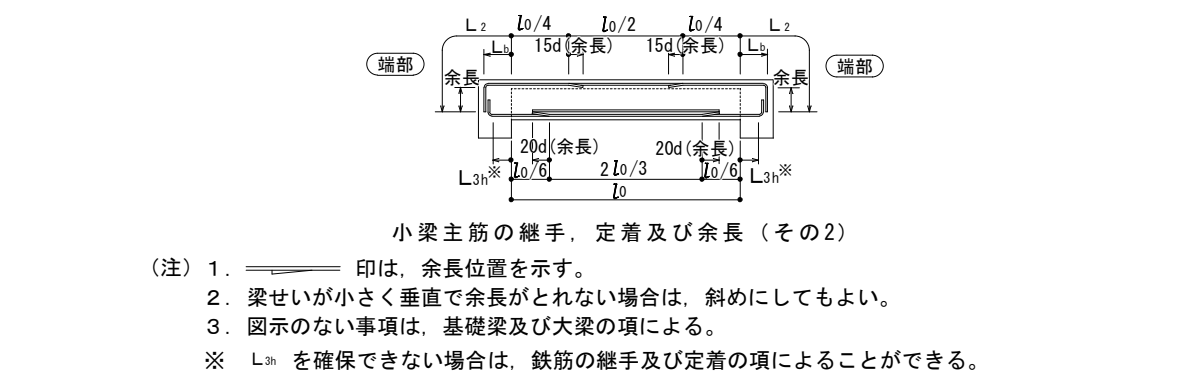
小梁及び片持ち梁

1. 小梁主筋の継手、定着及び余長

1) 連続小梁の場合



2) 単独小梁の場合



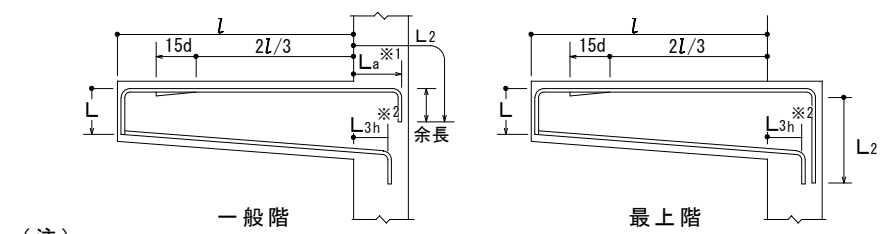
1. 継手中心位置は次による。
上端筋：中央 $l_0/2$ 以内
下端筋：柱面より梁せいの(D)以上とし、 $l_0/4$ を加えた範囲以内
2. 梁主筋（異形鉄筋）の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合、フックを付ける。
※ L_2 を確保できない場合は、鉄筋の継手及び定着の項によることができる。
3. 1. 印は、継手及び余長位置を示す。
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L_1 の数値は、原則として、柱せいの3/4以上とする。

工事名称	福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事		
図面名称	鉄筋工事仕様書 No. 1	縮尺	No scale
図番	A-04	原 設 計 株 式 会 社	一級建築士事務所広島県知事登録第 17 (1) 0409号 一級建築士 甲斐 宣行

鉄筋工事仕様書 No. 2

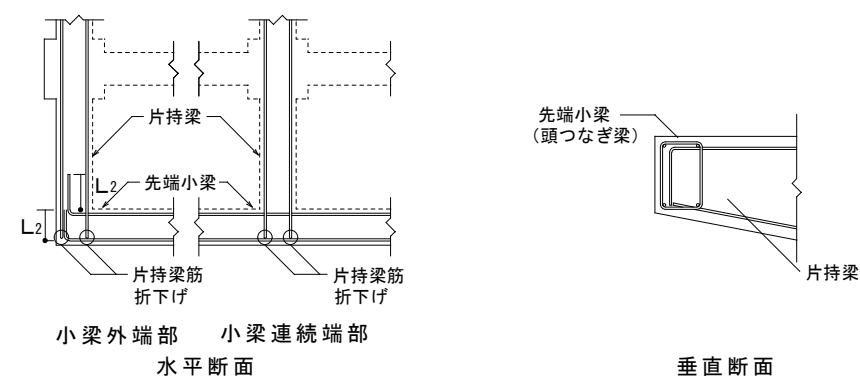
2. 片持梁主筋の定着及び余長

1) 先端に小梁のない場合



- (注)
1. 印は、余長位置を示す。
 2. 先端の折曲げ長さは、梁せいから十分に厚さを除いた長さとする。
 3. 図示のない事項は、大梁の項による。
- ※1. L₁の数値は、原則として、柱せい×3/4倍以上とする。
- ※2. L₂を確保できない場合は、鉄筋の継手及び定着の項によることができる。

2) 先端に小梁がある場合



- (注)
1. 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
 2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
 3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

壁及びその他の配筋

1. 壁の基準配筋

1) 壁の基準配筋は下図による。

種 別	縦筋及び横筋	断 面 図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

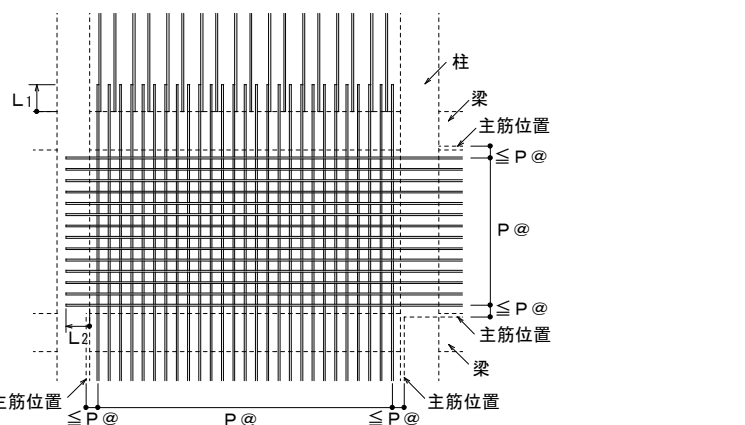
2) 片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋は下図による。

片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋

種 別	縦筋及び横筋	断 面 図 (mm)	階段の配筋種別
KW1	縦筋 D13-200@ダブル 横筋 D10-300@ダブル	180	KA1
KW2	縦筋 D13-150@ダブル 横筋 D10-200@ダブル	200	KA2

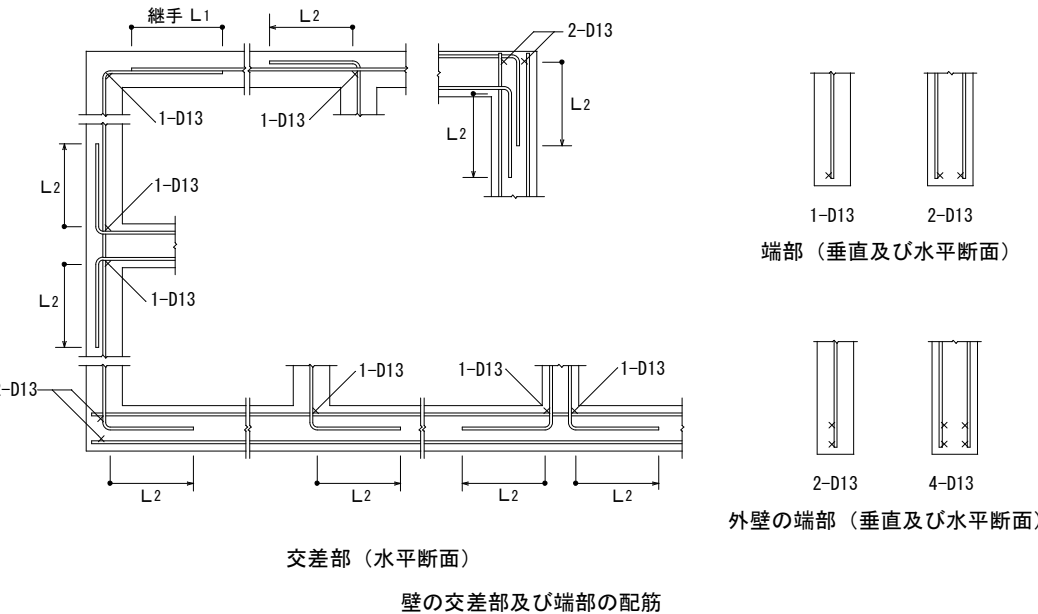
(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

2. 壁の継手及び定着



- (注)
1. 図中のP@は、特記された壁筋の隔間を示す。
 2. 壁配筋の重ね継手は、L₁、定着長さは、L₂とする。
 3. 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
 4. 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはけない。

3. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。

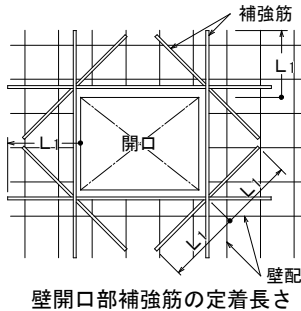


4. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

壁開口部補強筋 (A形)			壁開口部補強筋 (B形)		
壁の種別	補強筋	斜め	壁の種別	補強筋	斜め
W12, W15	1-D13	1-D13	W12, W15	2-D13	1-D13
W18, W20	2-D13	2-D13	W18, W20	4-D13	2-D13

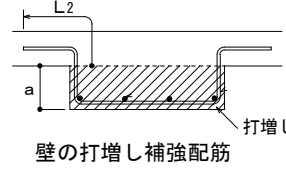
2) 壁開口部補強の定着長さは、下図による。



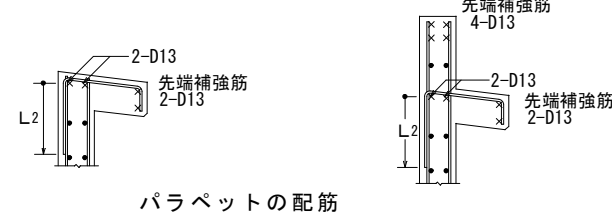
3) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

5. 壁の打増し補強配筋

壁の打増し厚さ (a) が50mm以上の場合の補強を示す



6. パラベットの配筋



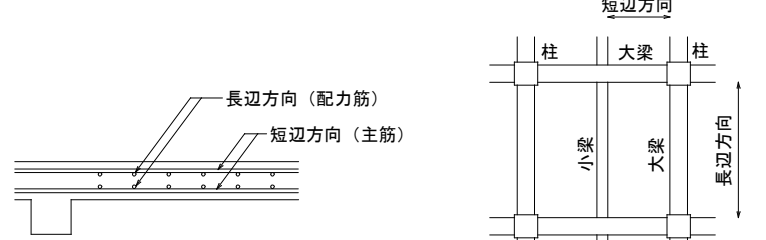
スラブの配筋

1. スラブの基準配筋

1) スラブの基準配筋

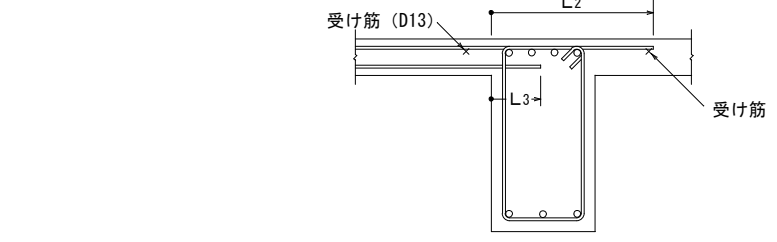
スラブの基準配筋					
配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配筋) 全域	配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配筋) 全域
S 1	D13-100@	D13-100@	S 8	D10, D13-150@	D10-150@
S 2	同上	D13-150@	S 9	同上	D10-200@
S 3	同上	D10, D13-150@	S 10	D10, D13-200@	D10, D13-200@
S 4	D13-150@	D13-150@	S 11	同上	D10-200@
S 5	同上	D10, D13-150@	S 12	同上	D10-250@
S 6	同上	D10-150@	S 13	D10-200@	D10-200@
S 7	D10, D13-150@	D10, D13-150@	S 14	同上	D10-250@

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

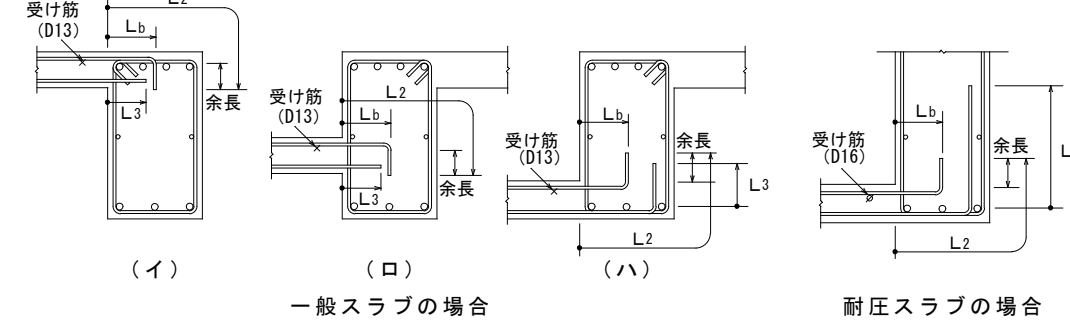


1. 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
2. 鉄筋の重ね継手長さは、L₁とする。

2. スラブ筋の定着及び受け筋



スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1)



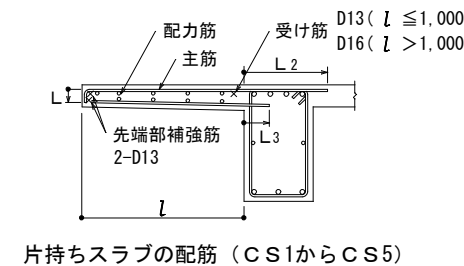
スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その2)

片持ちスラブの基準配筋

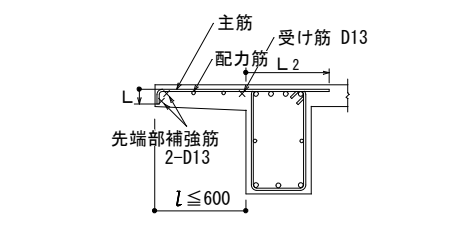
片持ちスラブの基準配筋

片持ちスラブの基準配筋

配筋種別		主筋	配筋種別		主筋
CS 1	上	D13-100@	CS 5	上	D10-200@
	下	D13-200@		下	D10-400@
CS 2	上	D13-150@	CS 6	上	D10, D13-200@
	下	D13-300@		下	—
CS 3	上	D10, D13-150@	CS 7	上	D10-200@
	下	D10, D13-300@		下	—
CS 4	上	D10, D13-200@			
	下	D10-200@			



片持ちスラブの配筋 (CS1からCS5)

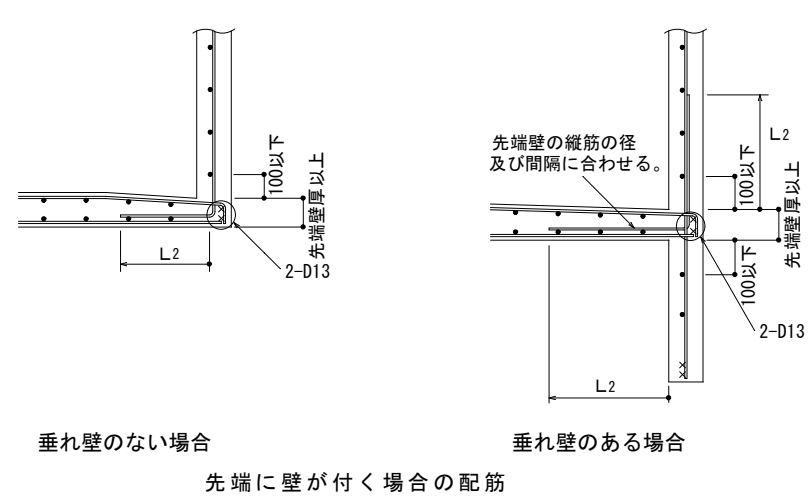


片持ちスラブの配筋 (CS6及びCS7)

- (注)
1. 先端の折曲げ長さは、スラブ厚さより十分に厚さを除いた長さとする。
 2. スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

- (注)
1. 先端の折曲げ長さは、スラブ厚さより十分に厚さを除いた長さとする。
 2. スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

4. 先端に壁が付く場合の配筋は、下図による。

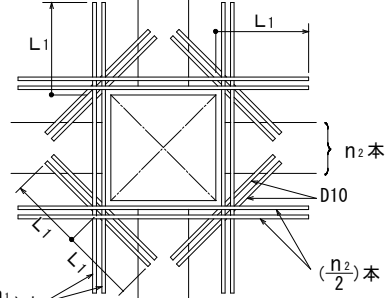


垂れ壁のない場合

垂れ壁のある場合

5. スラブ開口部の補強 (スラブ開口の最大径が700mm以下の場合に限る。)

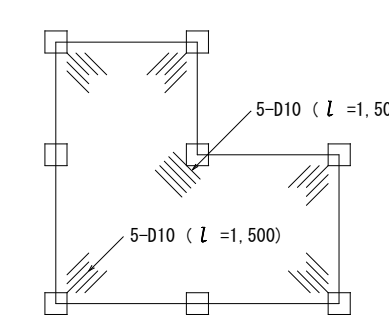
- 1) スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (L≧2L₁) シングルを上下筋の内側に配筋する。
- 2) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。



スラブ開口部の補強配筋

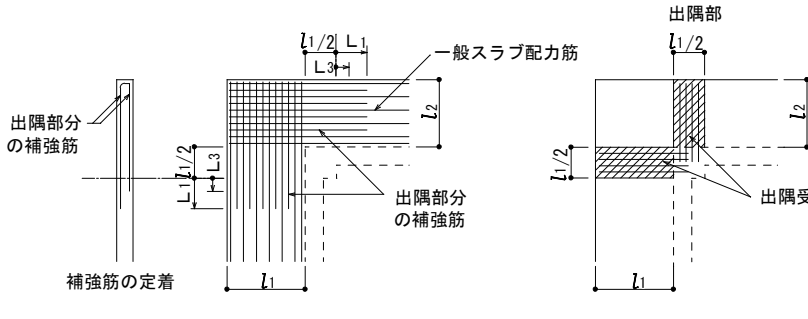
6. 屋根スラブの補強

屋根スラブの出隅部及び入隅部



補強筋を上端筋の下側に配置する。

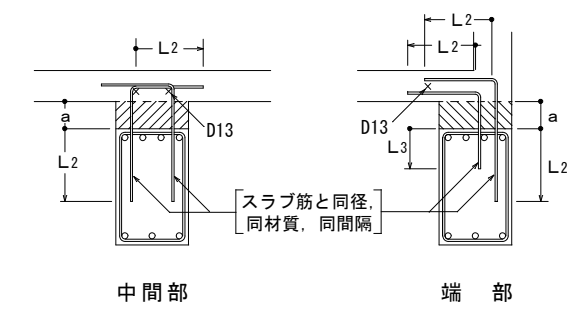
出隅及び入隅部の補強配筋



- (注) 1. L₁≧L₂とする。
- (注) 1. L₁≧L₂とする。
2. 出隅受け部配筋は柱又は梁にL₁定着する。

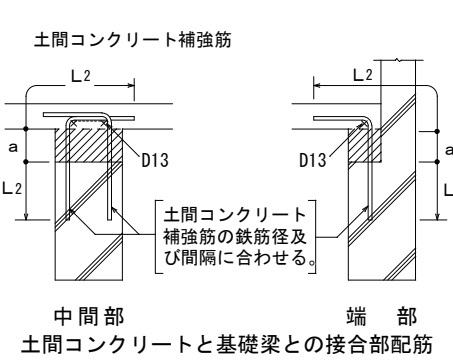
7. スラブの打継ぎ補強等

1) 土間スラブの打継ぎ補強



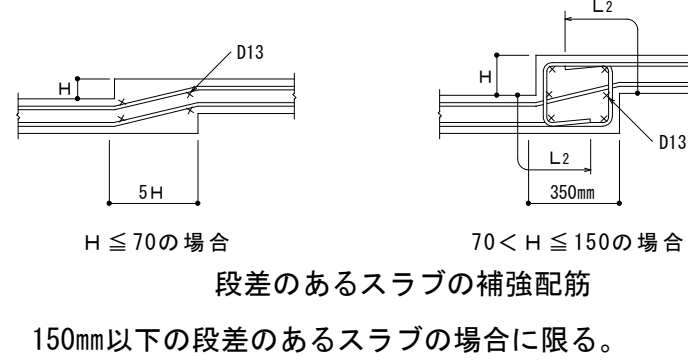
(注) 基礎梁と土間スラブを一体打ちしないで、打継ぎを設ける場合の補強を示す。

2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋



- (注) 1. 土間コンクリートとは、土に接するスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをいい、それ以外は土間スラブとして、梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。
2. a が300mm以下の場合に限る。

8. 段差のあるスラブの補強



段差のあるスラブの補強配筋

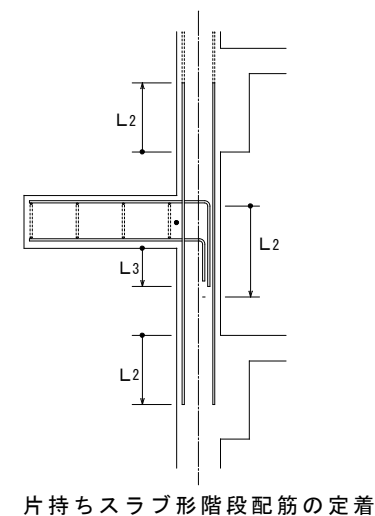
150mm以下の段差のあるスラブの場合に限る。

階段の配筋

1. 片持ちスラブ形階段

片持ちスラブ形階段の基準配筋は、下表及び下図により、寸法及び配筋種別は、特記による。

配筋種別	KA 1	KA 2
配筋図		
配筋種別	KA 3	KA 4
配筋図		

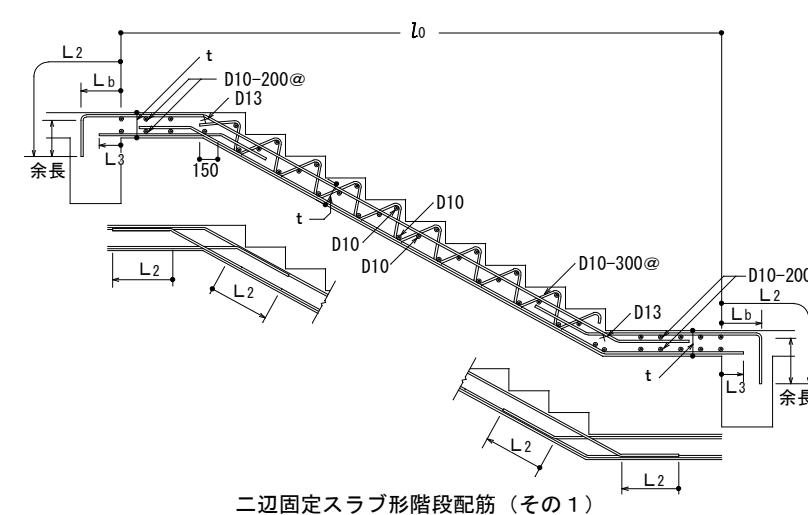


片持ちスラブ形階段配筋の定着

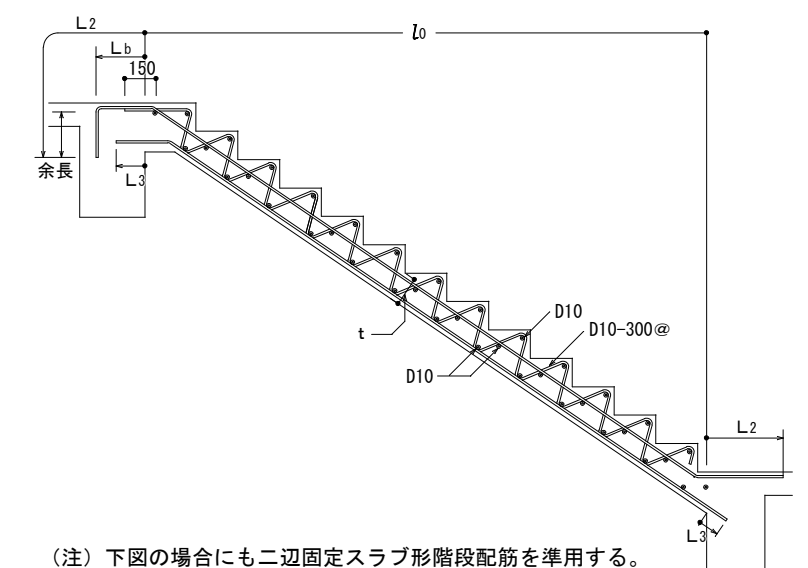
2. 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の基準配筋

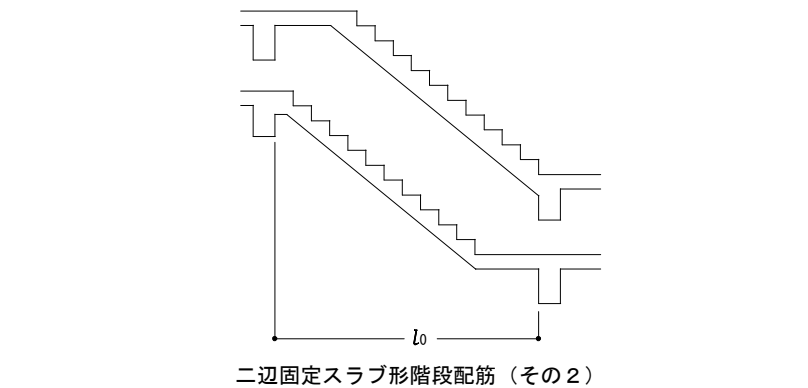
配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)	配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)
KB 1	D13-200@	KB 5	D16-150@
KB 2	D13-150@	KB 6	D16-125@
KB 3	D13-100@	KB 7	D16-100@
KB 4	D13, D16-150@		



二辺固定スラブ形階段配筋 (その1)



(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

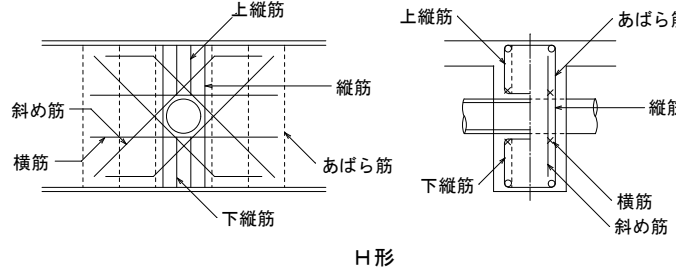


二辺固定スラブ形階段配筋 (その2)

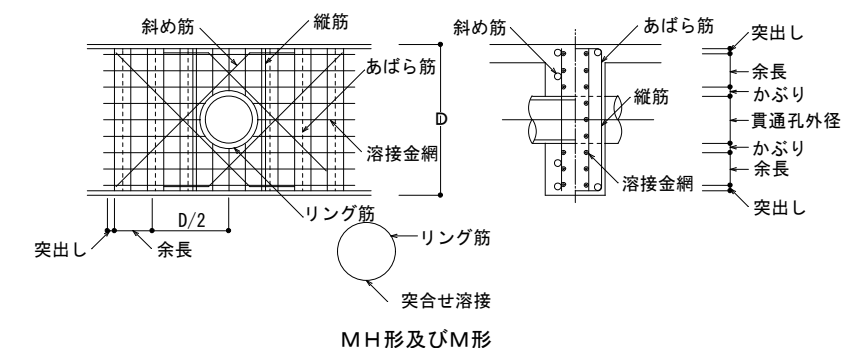
梁貫通孔及びその他の配筋

1. 梁貫通孔の配筋

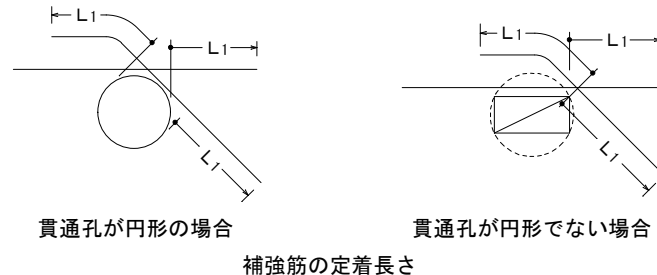
- 1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。
- 2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこの外接円とする。
- 3) 孔の上下方向の位置は、梁せいの中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。
- 4) 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
- 5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 7) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図による。
- 8) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
- 9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
- 10) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 11) 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



H 形



MH形及びM形



貫通孔が円形の場合

補強筋の定着長さ

貫通孔が円形でない場合

2. 梁貫通孔の補強形式

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下筋	配筋図
H 1	なし	なし	なし	なし	
H 2	2-2-D13	なし	なし	なし	
H 3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 4	4-2-D16				
H 5	4-2-D16				
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22				

(注) は、一般部分のあばら筋を示す。

M形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
M 1	2-2-D13	なし	なし	
M 2	4-2-D13	なし	なし	
M 3	4-2-D13	2-6φ-100@	なし	
M 4	6-2-D13	2-6φ-100@	なし	

(注) は、一般部分のあばら筋を示す。

MH形配筋

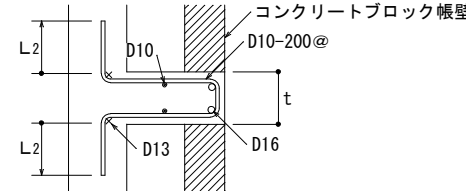
配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH 1	なし	なし	なし	
MH 2	2-2-D13	2-2-D13	なし	
MH 3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100@	
MH 4	4-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100@	
MH 5	4-2-D16			
MH 6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100@	
MH 7	4-2-D19			

(注) は、一般部分のあばら筋を示す。

- (注)
1. 大匠認定による既製品を使用する場合は、適用条件はすべて認定内容による。

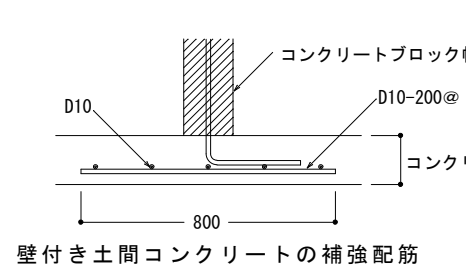
3. コンクリートブロック帳壁との取合い

1) 帳壁の配筋



帳壁の配筋 (水平、垂直とも)

2) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強



壁付き土間コンクリートの補強配筋

工事名称

福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事

図面名称

鉄筋工事仕様書 No. 2

縮尺

No scale

図番

A-05

原 設 計 株 式 会 社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213

一級建築士事務所広島県知事登録第 17 (1) 0409号
一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

鉄骨工事仕様書 No. 2

9. 溶接部の形状・寸法

項 目	図	限界値
① ダイヤフラムとフランジのずれ		$t_1 \geq t_2$ $e \leq t_1/5$ かつ $e \leq 4\text{mm}$ $t_1 < t_2$ $e \leq t_1/4$ かつ $e \leq 5\text{mm}$
② 突合せ継手の食違い		$t \leq 15\text{mm}$ $e \leq 1.5\text{mm}$ $e \leq t/10$ $t > 15\text{mm}$ かつ $e \leq 3\text{mm}$ この場合において、通しダイヤフラムと梁フランジの溶接部は、梁フランジは通しダイヤフラムの厚み内で溶接しなければならない。
③ アンダーカット		$e \leq 0.3\text{mm}$ ただし、上記の数値を超え1mm以下の場合、アンダーカット部分の長さの総和が溶接長の1/10以下であり断面が鋭角的でないものは許容できる。

10. 工作及び組立

名 称	図	管理許容差	限界許容差	測定器具
(1) T継手のすき間(隅肉溶接) e		$e \leq 2\text{mm}$	$e \leq 3\text{mm}$	テーパーゲージ 金属製直尺
(2) 重ね継手のすき間 e		$e \leq 2\text{mm}$	$e \leq 3\text{mm}$	テーパーゲージ 金属製直尺
(3) 突合せ継手の食違い e		$t \leq 15\text{mm}$ $e \leq 1\text{mm}$ $t > 15\text{mm}$ $e \leq t/15$ かつ $e \leq 2\text{mm}$	$t \leq 15\text{mm}$ $e \leq 1.5\text{mm}$ $t > 15\text{mm}$ $e \leq t/10$ かつ $e \leq 3\text{mm}$	テーパーゲージ 金属製直尺 金属製角度直尺 金属製直尺 テーパーゲージ 溶接ゲージ
(4) ルート間隔(裏はつり) e		被覆アーク溶接 $0 \leq e \leq 2.5\text{mm}$ サブマージアーク溶接 $0 \leq e \leq 1\text{mm}$ ガスシールドアーク溶接 $0 \leq e \leq 2\text{mm}$ セルフシールドアーク溶接 $0 \leq e \leq 2\text{mm}$	被覆アーク溶接 $0 \leq e \leq 4\text{mm}$ サブマージアーク溶接 $0 \leq e \leq 2\text{mm}$ ガスシールドアーク溶接 $0 \leq e \leq 3\text{mm}$ セルフシールドアーク溶接 $0 \leq e \leq 3\text{mm}$	テーパーゲージ
(5) ルート間隔(裏当て金付き) e		被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接、セルフシールドアーク溶接 $\Delta a \leq -2\text{mm}$ サブマージアーク溶接 $-2\text{mm} \leq \Delta a \leq +2\text{mm}$	被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接、セルフシールドアーク溶接 $\Delta a \leq -3\text{mm}$ サブマージアーク溶接 $-3\text{mm} \leq \Delta a \leq +3\text{mm}$	限界ゲージ テーパーゲージ
(6) ルート面 Δa		被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接、セルフシールドアーク溶接 裏当て金なし $\Delta a \leq 2\text{mm}$ 裏当て金あり $\Delta a \leq 1\text{mm}$ サブマージアーク溶接 $\Delta a \leq 3\text{mm}$	被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接、セルフシールドアーク溶接 裏当て金なし $\Delta a \leq 3\text{mm}$ 裏当て金あり $\Delta a \leq 2\text{mm}$ サブマージアーク溶接 $\Delta a \leq 3\text{mm}$	コンベックス ルール 金属製直尺
(7) ベル角度 $\Delta \alpha$		$\Delta \alpha \geq -2.5^\circ$	$\Delta \alpha \geq -5^\circ$	溶接ゲージ
(8) 開先角度 $\Delta \alpha$		$\Delta \alpha_1 \geq -5^\circ$ $\Delta \alpha_2 \geq -2.5^\circ$	$\Delta \alpha_1 \geq -10^\circ$ $\Delta \alpha_2 \geq -5^\circ$	限界ゲージ
(9) 切断面のあさき		開 先 内 100 μmRz 以下 自由縁端 100 μmRz 以下	開 先 内 100 μmRz 以下 自由縁端 100 μmRz 以下	対比試験片
(10) 切断面のノッチ深さ d		開 先 内 $d \leq 0.5\text{mm}$ 自由縁端 $d \leq 0.5\text{mm}$	開 先 内 $d \leq 1\text{mm}$ 自由縁端 $d \leq 1\text{mm}$	溶接ゲージ
(11) 切断線の直角度 e		$t \leq 40\text{mm}$ $e \leq 1\text{mm}$ $t > 40\text{mm}$ $e \leq t/40$ かつ $e \leq 1.5\text{mm}$	$t \leq 40\text{mm}$ $e \leq 1.5\text{mm}$ $t > 40\text{mm}$ $e \leq t/40$ かつ $e \leq 2\text{mm}$	金属製角度直尺 テーパーゲージ 溶接ゲージ 直角定規 コンベックス ルール テーパーゲージ 測定治具 金属製直尺
(12) 仕口のずれ e		$t \geq t_1$ $e \leq 2t_1/15$ かつ $e \leq 3\text{mm}$ $t < t_1$ $e \leq t_1/6$ かつ $e \leq 4\text{mm}$	$t \geq t_1$ $e \leq t_1/5$ かつ $e \leq 4\text{mm}$ $t < t_1$ $e \leq t_1/4$ かつ $e \leq 5\text{mm}$	コンベックス ルール テーパーゲージ 測定治具 金属製直尺
(13) 溶接部と部材端部の不ぞろい e		$e \leq 2\text{mm}$	$e \leq 3\text{mm}$	金属製角度直尺 直角定規 コンベックス ルール 金属製直尺

11. 高力ボルト

名 称	図	管理許容差	限界許容差	測定器具
(1) 孔の心ずれ e		$e \leq 1\text{mm}$	$e \leq 1.5\text{mm}$	コンベックス ルール 金属製直尺 検定用型板
(2) 孔相互の間隔 ΔP		$-1\text{mm} \leq \Delta P \leq +1\text{mm}$	$-1.5\text{mm} \leq \Delta P \leq +1.5\text{mm}$	コンベックス ルール 金属製直尺
(3) 孔の食違い e		$e \leq 1\text{mm}$	$e \leq 1.5\text{mm}$	コンベックス ルール 直角定規 貫通ゲージ
(4) 高力ボルト接合部の肌ずき e		$e \leq 1\text{mm}$	$e \leq 1\text{mm}$	テーパーゲージ
(5) 孔のはしあき・へりあき Δa		$\Delta a_1 \geq -2\text{mm}$ $\Delta a_2 \geq -2\text{mm}$ かつ「鋼構造設計規程」高力ボルト接合設計施工ガイドブック」の最小縁端距離を満足すること。	$\Delta a_1 \geq -3\text{mm}$ $\Delta a_2 \geq -3\text{mm}$ かつ「鋼構造設計規程」高力ボルト接合設計施工ガイドブック」の最小縁端距離を満足すること。	コンベックス ルール 金属製直尺

12. 溶接

名 称	図	管理許容差	限界許容差	測定器具
(1) 隅肉溶接のサイズ ΔS		$0 \leq \Delta S \leq 0.5S$ かつ $\Delta S \leq 5\text{mm}$	$0 \leq \Delta S \leq 0.8S$ かつ $\Delta S \leq 8\text{mm}$	溶接ゲージ 限界ゲージ

(2) 隅肉溶接の余盛の高さ Δa	図	$0 \leq \Delta a \leq 0.4S$ かつ $\Delta a \leq 4\text{mm}$	$0 \leq \Delta a \leq 0.6S$ かつ $\Delta a \leq 6\text{mm}$	溶接ゲージ
(3) 完全溶込み溶接突合せ継手の余盛の高さ Δh		$B < 15\text{mm}$ $0 < h + \Delta h \leq 3\text{mm}$ $15\text{mm} \leq B < 25\text{mm}$ $0 < h + \Delta h \leq 4\text{mm}$ $25\text{mm} \leq B$ $0 < h + \Delta h \leq 4B/25\text{mm}$	$B < 15\text{mm}$ $0 < h + \Delta h \leq 5\text{mm}$ $15\text{mm} \leq B < 25\text{mm}$ $0 < h + \Delta h \leq 6\text{mm}$ $25\text{mm} \leq B$ $0 < h + \Delta h \leq 6B/25\text{mm}$	溶接ゲージ 限界ゲージ
(4) 完全溶込み溶接角継手の余盛の高さ Δh		$B < 15\text{mm}$ $0 < h + \Delta h \leq 3\text{mm}$ $15\text{mm} \leq B < 25\text{mm}$ $0 < h + \Delta h \leq 4\text{mm}$ $25\text{mm} \leq B$ $0 < h + \Delta h \leq 4B/25\text{mm}$	$B < 15\text{mm}$ $0 < h + \Delta h \leq 5\text{mm}$ $15\text{mm} \leq B < 25\text{mm}$ $0 < h + \Delta h \leq 6\text{mm}$ $25\text{mm} \leq B$ $0 < h + \Delta h \leq 6B/25\text{mm}$	溶接ゲージ 限界ゲージ
(5) 完全溶込み溶接T継手(裏当て金あり)の余盛の高さ Δh		$t \leq 40\text{mm}$ $(h+t)/4\text{mm}$ $0 \leq \Delta h \leq 7\text{mm}$ $t > 40\text{mm}$ $(h=10\text{mm})$ $0 \leq \Delta h \leq t/4 \cdot 3\text{mm}$	$t \leq 40\text{mm}$ $(h+t)/4\text{mm}$ $0 \leq \Delta h \leq 10\text{mm}$ $t > 40\text{mm}$ $(h=10\text{mm})$ $0 \leq \Delta h \leq t/4\text{mm}$	溶接ゲージ 限界ゲージ
(6) 完全溶込み溶接T継手(裏はつり)の余盛の高さ Δh		$t \leq 40\text{mm}$ $(h+t)/8\text{mm}$ $0 \leq \Delta h \leq 7\text{mm}$ $t > 40\text{mm}$ $(h=5\text{mm})$ $0 \leq \Delta h \leq t/4 \cdot 3\text{mm}$	$t \leq 40\text{mm}$ $(h+t)/8\text{mm}$ $0 \leq \Delta h \leq 10\text{mm}$ $t > 40\text{mm}$ $(h=5\text{mm})$ $0 \leq \Delta h \leq t/4\text{mm}$	溶接ゲージ 限界ゲージ
(7) アンダーカット e		完全溶込み溶接 $e \leq 0.3\text{mm}$ 前面隅肉溶接 $e \leq 0.3\text{mm}$ 側面隅肉溶接 $e \leq 0.5\text{mm}$ ただし、上記の数値を超え0.7mm以下の場合、溶接長300mm当り総長さが3mm以下かつ1箇所の長さが5mm以下。	完全溶込み溶接 $e \leq 0.5\text{mm}$ 前面隅肉溶接 $e \leq 0.5\text{mm}$ 側面隅肉溶接 $e \leq 0.5\text{mm}$ ただし、上記の数値を超え1mm以下の場合、溶接長300mm当り総長さが30mm以下かつ1箇所の長さが5mm以下。	アンダーカット ゲージ 対比試験片
(8) 突合せ継手の食違い e		$t \leq 15\text{mm}$ $e \leq 1\text{mm}$ $t > 15\text{mm}$ $e \leq t/15$ かつ $e \leq 2\text{mm}$	$t \leq 15\text{mm}$ $e \leq 1.5\text{mm}$ $t > 15\text{mm}$ $e \leq t/10$ かつ $e \leq 3\text{mm}$	金属製角度直尺 金属製直尺 テーパーゲージ 溶接ゲージ 測定治具 コンベックス ルール テーパーゲージ 測定治具 金属製直尺
(9) 仕口のずれ e		$t \geq t_1$ $e \leq 2t_1/15$ かつ $e \leq 3\text{mm}$ $t < t_1$ $e \leq t_1/6$ かつ $e \leq 4\text{mm}$	$t \geq t_1$ $e \leq t_1/5$ かつ $e \leq 4\text{mm}$ $t < t_1$ $e \leq t_1/4$ かつ $e \leq 5\text{mm}$	コンベックス ルール テーパーゲージ 測定治具 金属製直尺
(10) ビード表面の不整 e		ビード表面の凹凸の高低差 e_1 (ビード長さ方向)、 e_2 (ビード幅方向)は溶接の長さ、またはビード幅25mmの範囲で2.5mm以下。ビード幅の不整 e_3 は溶接の長さ150mmの範囲で5mm以下。	ビード表面の凹凸の高低差 e_1 (ビード長さ方向)、 e_2 (ビード幅方向)は溶接の長さ、またはビード幅25mmの範囲で2.5mm以下。ビード幅の不整 e_3 は溶接の長さ150mmの範囲で7mm以下。	溶接ゲージ 金属製直尺 コンベックス ルール テーパーゲージ
(11) ビット		溶接長300mm当り1個以下。ただし、ビットの大きさが1mm以下のものは3個を1個として計算する。	溶接長300mm当り2個以下。ただし、ビットの大きさが1mm以下のものは3個を1個として計算する。	ルーペ
(12) 割れ		-	あつてはならない。	-
(13) オーバーラップ		-	著しいものは認めない。	-
(14) スタッド溶接後の仕上がり高さ と傾き ΔL 、 θ		$-1.5\text{mm} \leq \Delta L \leq +1.5\text{mm}$ $\theta \leq 3^\circ$	$-2\text{mm} \leq \Delta L \leq +2\text{mm}$ $\theta \leq 5^\circ$	金属製直尺 溶接ゲージ コンベックス ルール

13. 溶接継手の種類別開先形状

1. 突合せ溶接

(1) 突合せ継手(B)の開先形状

H (アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフガスシールドアーク半自動溶接)	A (サブマージアーク溶接)
1 (片面溶接) 2 (両面溶接)	1 (片面溶接) 2 (両面溶接)
$t \leq 6$	$t \leq 12$
$6 < t \leq 19$	$12 < t \leq 22$
$19 < t \leq 32$	$22 < t \leq 32$
$D1 = 2(t-6)/3$ $D2 = (t-2)/3$	$D1 = (t-6)/2$ $D2 = (t-6)/2$

(2) T形継手(T)の開先基準

H (アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフガスシールドアーク半自動溶接)	A (サブマージアーク溶接)
1 (片面溶接) 2 (両面溶接)	1 (片面溶接) 2 (両面溶接)
$t \leq 6$	$t \leq 12$
$6 < t \leq 19$	$12 < t \leq 22$
$19 < t \leq 32$	$22 < t \leq 32$
$D1 = 2(t-2)/3$ $D2 = (t-2)/3$	$D1 = (t-6)/2$ $D2 = (t-6)/2$

(3) かど継手(L)の開先基準

H (アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフガスシールドアーク半自動溶接)	A (サブマージアーク溶接)
1 (片面溶接) 2 (両面溶接)	1 (片面溶接) 2 (両面溶接)
$t \leq 6$	$t \leq 12$
$6 < t \leq 19$	$12 < t \leq 19$
$19 < t \leq 32$	$19 < t \leq 32$
$D1 = 2(t-2)/3$ $D2 = (t-2)/3$	$D1 = (t-6)/2$ $D2 = (t-6)/2$

2. 隅肉溶接

(1) 隅肉溶接(F)の開先基準

H (アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフガスシールドアーク半自動溶接)	A (サブマージアーク溶接)
1 (片面溶接) 2 (両面溶接)	1 (片面溶接) 2 (両面溶接)
$t \leq 16$	$t \leq 16$
$16 < t \leq 40$	$16 < t \leq 40$

(2) 隅肉溶接のサイズ

(単位: mm)
t 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 28 30 32
S 3 4 4 5 5 6 7 8 8 9 10 11 12 10 11 11 12 13 13 14 14 15 16 17 18 19

14. 鉄骨工事精度

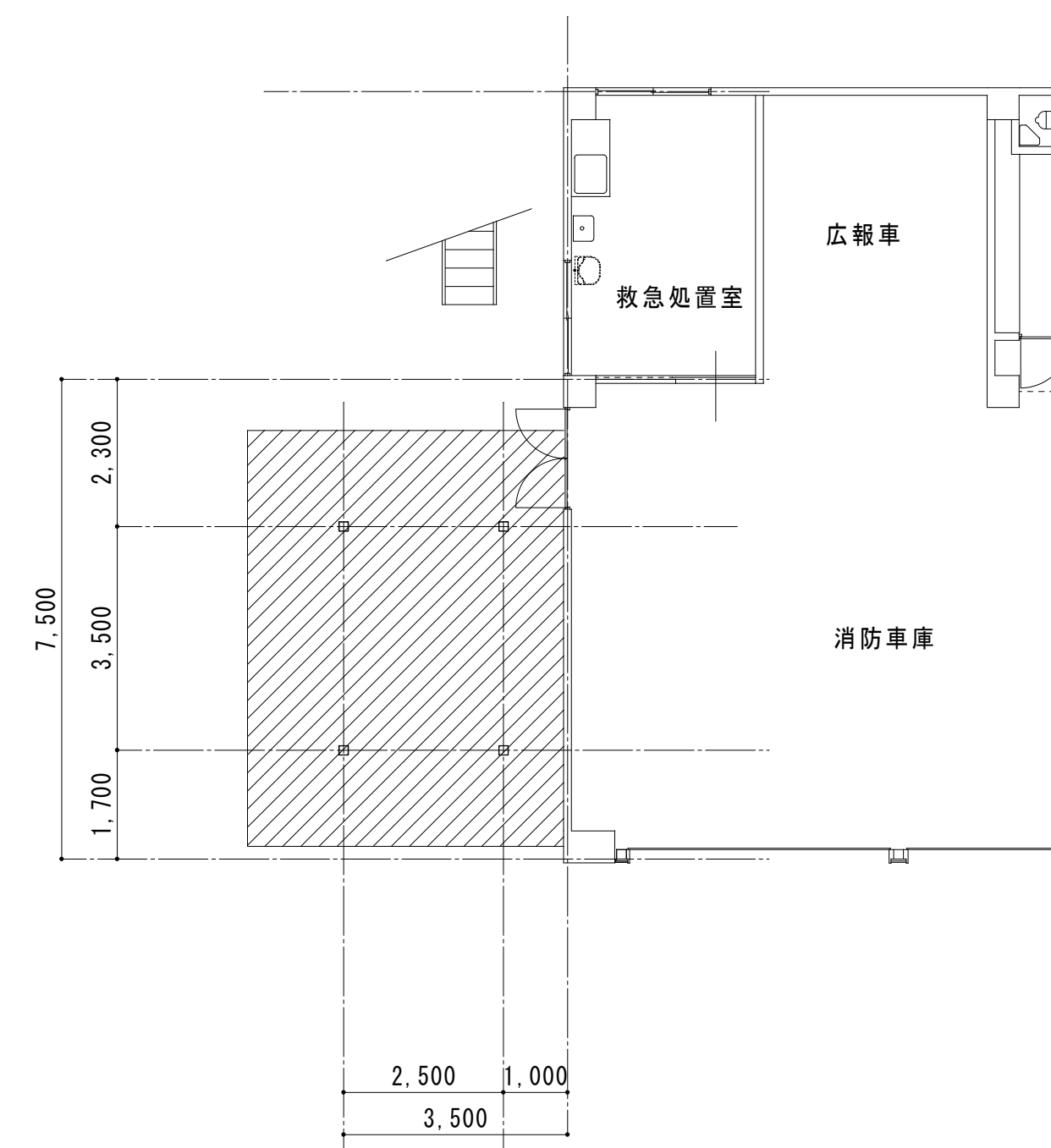
1. 製品

名 称	図	製作管理許容差	限界許容差	備 考
(1) はりの長さ ΔL		$-3\text{mm} \leq \Delta L \leq +3\text{mm}$	$-5\text{mm} \leq \Delta L \leq +5\text{mm}$	
(2) 柱の長さ ΔL		$L < 10\text{m}$ $-3\text{mm} \leq \Delta L \leq +3\text{mm}$ $L \geq 10\text{m}$ $-4\text{mm} \leq \Delta L \leq +4\text{mm}$	$L < 10\text{m}$ $-5\text{mm} \leq \Delta L \leq +5\text{mm}$ $L \geq 10\text{m}$ $-6\text{mm} \leq \Delta L \leq +6\text{mm}$	
(3) 間 隔 ΔL		$-3\text{mm} \leq \Delta L \leq +3\text{mm}$	$-5\text{mm} \leq \Delta L \leq +5\text{mm}$	

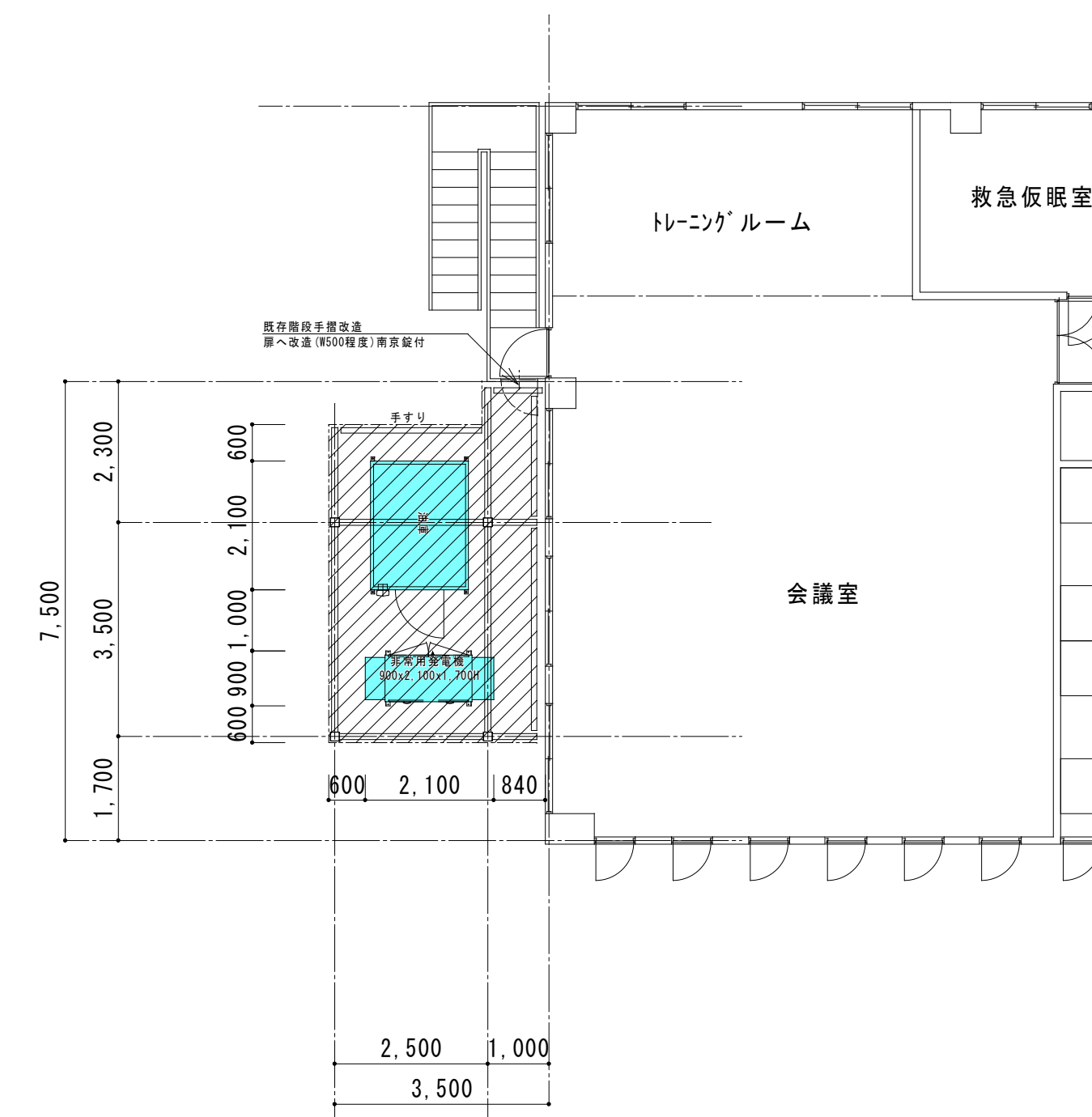
名 称	図	製作管理許容差	限界許容差	備 考
(4) はりの曲り e		$e \leq \frac{L}{1000}$ かつ $e \leq 10\text{mm}$	$e \leq \frac{1.5L}{1000}$ かつ $e \leq 15\text{mm}$	
(5) 柱の曲り e		$e \leq \frac{L}{1500}$ かつ $e \leq 5\text{mm}$	$e \leq \frac{L}{1000}$ かつ $e \leq 8\text{mm}$	
(6) せ い ΔH		$H < 800\text{mm}$ $-2\text{mm} \leq \Delta H \leq +2\text{mm}$ $H \geq 800\text{mm}$ $-3\text{mm} \leq \Delta H \leq +3\text{mm}$	$H < 800\text{mm}$ $-3\text{mm} \leq \Delta H \leq +3\text{mm}$ $H \geq 800\text{mm}$ $-4\text{mm} \leq \Delta H \leq +4\text{mm}$	
(7) 幅 ΔB		$-2\text{mm} \leq \Delta B \leq +2\text{mm}$	$-3\text{mm} \leq \Delta B \leq +3\text{mm}$	
(8) 箱形断面の直角度 e		接合部 $e \leq H/100$ かつ $e \leq 2\text{mm}$ 一般部 $e \leq 2H/100$ かつ $e \leq 4\text{mm}$	接合部 $e \leq 3H/200$ かつ $e \leq 3\text{mm}$ 一般部 $e \leq 3H/100$ かつ $e \leq 6\text{mm}$	
(9) H形断面の直角 e		接合部 $e \leq b/100$ かつ $e \leq 1.0\text{mm}$ 一般部 $e \leq 2b/100$ かつ $e \leq 2\text{mm}$	接合部 $e \leq 3b/200$ かつ $e \leq 1.5\text{mm}$ 一般部 $e \leq 3b/100$ かつ $e \leq 3\text{mm}$	
(10) ウェブの心ずれ e		$e \leq 2\text{mm}$	$e \leq 3\text{mm}$	
(11) ウェブの曲り e		$e_1 \leq H/150$ かつ $e_2 \leq 4\text{mm}$ $e_3 \leq B/150$ かつ $e_4 \leq 4\text{mm}$ ただし、 $t \leq 8$ には適用しない	$e_1 \leq H/100$ かつ $e_2 \leq 6\text{mm}$ $e_3 \leq B/100$ かつ $e_4 \leq 6\text{mm}$ ただし、 $t \leq 8$ には適用しない	
(12) 仕口部の角度 e		$e_1, e_2 \leq L/300$ かつ $e_3, e_4 \leq 3\text{mm}$ $e_5 \leq 4\text{mm}$	$e_1, e_2 \leq L/200$ かつ $e_3, e_4 \leq 5\text{mm}$ $e_5 \leq 6\text{mm}$	
(13) 仕口部の長さ ΔL		$-3\text{mm} \leq \Delta L \leq +3\text{mm}$	$-5\text{mm} \leq \Delta L \leq +5\text{mm}$	
(14) 柱のねじれ δ		$\delta \leq \frac{6H}{1000}$ かつ $\delta \leq 5\text{mm}$	$\delta \leq \frac{9H}{1000}$ かつ $\delta \leq 8\text{mm}$	
(15) メタルタッチ e		$e \leq \frac{1.5H}{1000}$	$e \leq \frac{2.5H}{1000}$	
(16) ベースプレートのおれ及び凹凸 e		$e \leq 2\text{mm}$	$e \leq 3\text{mm}$	

2. 工事現場

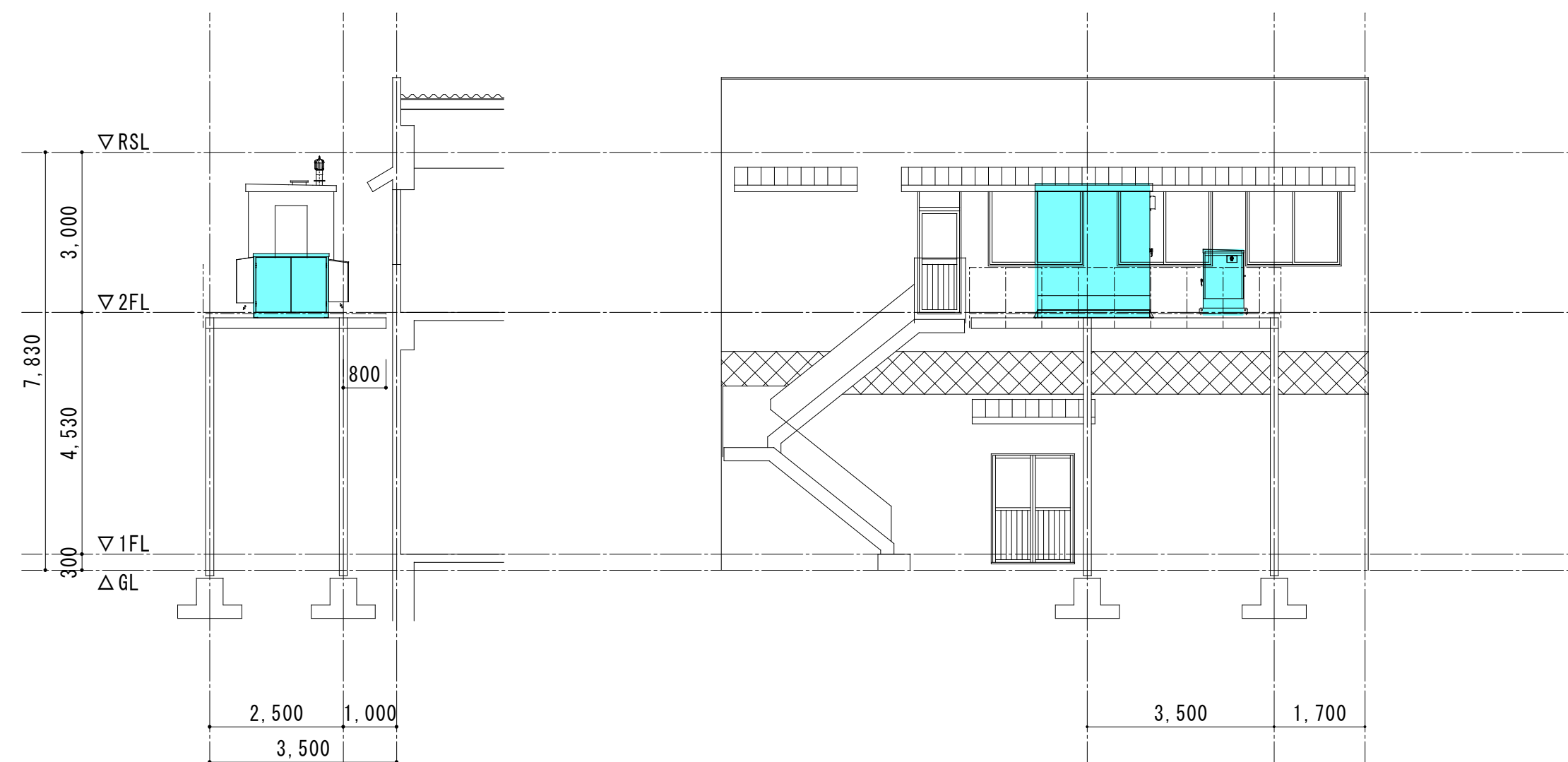
名 称	図	製作管理許容差	限界許容差	備 考
(1) 建物の割れ e		$e \leq H/4000 + 7\text{mm}$ かつ $e \leq 30\text{mm}$	$e \leq H/2500 + 10\text{mm}$ かつ $e \leq 50\text{mm}$	
(2) 建物のわん曲 e		$e \leq L/4000$ かつ $e \leq 20\text{mm}$	$e \leq L/2500$ かつ $e \leq 25\text{mm}$	
(3) 通り心とアンカボルトの位置のずれ e		$-3\text{mm} \leq e \leq +3\text{mm}$	$-5\text{mm} \leq e \leq +5\text{mm}$	構造用 アンカーボルト
		$-5\text{mm} \leq e \leq +5\text{mm}$	$-8\text{mm} \leq e \leq +8\text{mm}$	建方用 アンカーボルト
(4) 柱すえ付け面の高さ ΔH		$-3\text{mm} \leq \Delta H \leq +3\text{mm}$	$-5\text{mm} \leq \Delta H \leq +5\text{mm}$	
(5) 工事場継手間の階高 ΔH		$-5\text{mm} \leq \Delta H \leq +5\text{mm}$	$-8\text{mm} \leq \Delta H \leq +8\text{mm}$	
(6) はりの水平度 e		$e \leq L/1000 + 3\text{mm}$ かつ $e \leq 10\text{mm}$	$e \leq L/700 + 5\text{mm}$ かつ $e \leq 15\text{mm}$	
(7) 柱の倒れ e		$e \leq \frac{H}{1000}$ かつ $e \leq 10\text{mm}$	$e \leq \frac{H}{700}$ かつ $e \leq 15\text{mm}$	



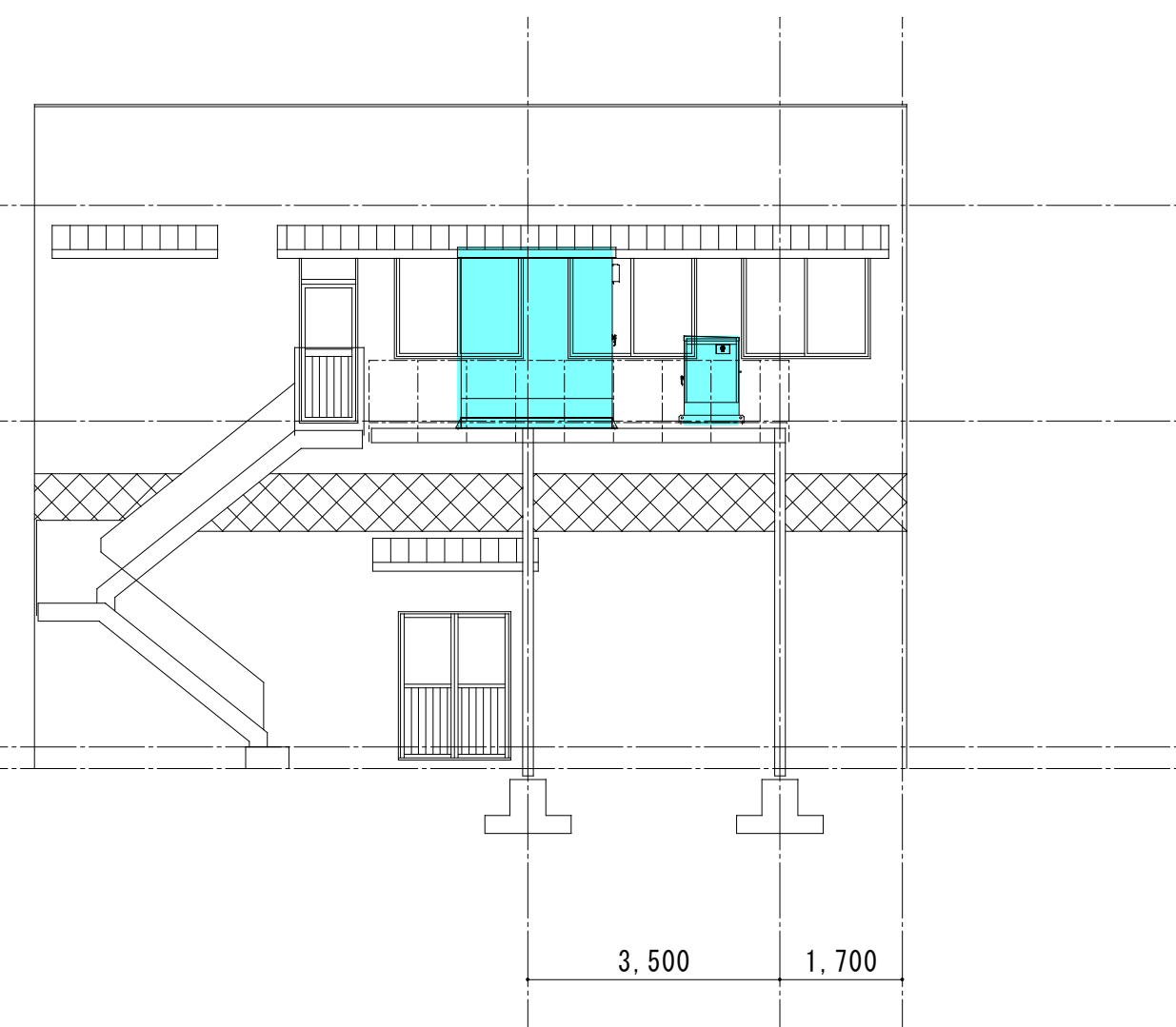
 アスファルト舗装：撤去・新設(A-5-15)



発電機架台 2階平面図

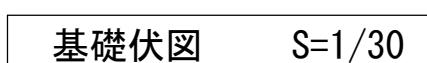


発電機架台 1階平面図

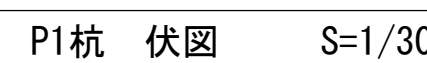
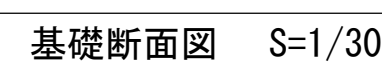


発電機架台 立面図

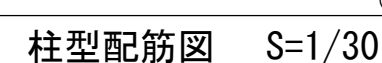
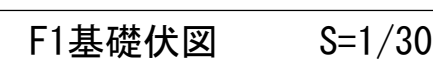
										縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%								
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 二級建築士 甲斐 宣行 第 293830号			構造設計一級建築士 第 号				担当 -	設計年月 令和 7 年 3 月	福山市建設局建築部設備課			工事名称 福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事		区 分 建築 (A)	
						設備設計一級建築士 第 号				作図 変更年月	図面名称 発電機架台平面図・立面図				縮 尺 1:100		図面番号 A-09	



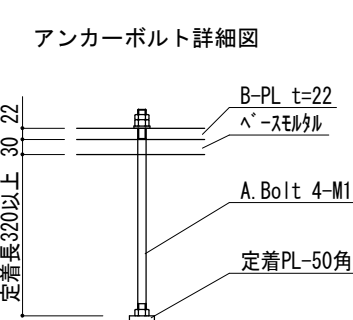
 エクスパンドメタル (XG23) 敷設範囲を示す
 根太を示す (C-75x45x15x2.3 @455以下)



桁径 (mm)	杭本体肉厚 (mm)	羽根径 (mm) 羽根肉厚 (mm)	杭全長 (=L) (m)			杭本数 (本)	設計杭耐力 「長期」 (KN/本)
			上杭 (m)	中杭 (m)	下杭 (m) 全長 (m)		
139.8	3.5	350×12	1.0		6.0 7.0	4	57.70



基礎梁リスト S: 1 / 30		
階	符 号	FG1
	位 置	全断面
共通	断 面	
	b × h	250 × 400
	上端筋	2-D16
	下端筋	2-D16
	スターラップ	□-D10-@200



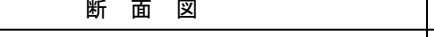
材料種別等

使用材料	コンクリート	設計基準強度 調合管理強度 スランプ	$F_c = 21 \text{ N/mm}^2$ $F_m = F_c + S$ 18cm
	鉄筋	SD295	
	ベースプレート	SN400C	
	アンカーボルト	ABR400	

鉄骨大梁継手リスト S=1:20	
符号	GJ1
部 材	H - 200 × 100 × 5.5 × 8 全 断 面
形 状	
	HTB:F8T(メッキ)
フランジ	2PL - 16 × 100 × 290 16 - M16
ウェブ	2PL - 6 × 170 × 140 4 - M16

鉄骨小梁仕口リスト S=1:20		HTB:F8T(メッキ品)	
符 号	BJ1	BJ3	BJ4
部 材	B1 H-200 x 100 x 5.5 x 8	B3 2[-125 x 65 x 6 x 8	B4 [-100 x 50 x 5 x 7.5
形 状			
GPL HTB	GPL-9 2-M16 (F8T)	GPL-9 2-M16 (F8T)	GPL-9 2-M16 (F8T)

床版参考图 $S=1:20$

断面図	施工上の留意点
	・エキスパンダメタル床は施工上支障がないように分割計画を行うこと ・エキスパンダメタル床の分割に伴い、必要な場合は1床材の変更を可とする。 ・床材XG2は、0-75 45 x 15 x 2.3 との密着接、溶融亜鉛めっきを施すこと。 ・現状では、SUSボルトを使用して床材に固定する。 ・柱頭部や梁継手等の支障部をさけた上で、645以下でボルト留めすること。 ・ポルト・座金を用いて縦めしを以下で縦めしの措置を行うこと。

鉄骨部材リスト

・ 異なる鉄部材は、全て消滅部材付を指すこと
・ 高力ボルトは、F8T（消滅部材付の高力ボルト）とす

符 号	部 材	材 質	JOINT	備 考
C1	□-150×150×9	STKR400	—	BPL-ﾀﾞｲﾔｸｼｬﾙ SNA00C
G1 CG1	H-200×100×5.5×8	SS400	GJ1	
B1	H-200×100×5.5×8	SS400	BJ1	
B2	[-100×50×5×7.5	SS400	BJ4	
水平ブレース	M16（ターンバックル付）	—	ブレースシート	JIS A 5540 適用品
根太	C-75×45×15×2.3	SSC40.0		

縮尺率	A-1 : 100%
	A-2 : 71%
	A-3 : 50%

訂正	月	日	

原 設 計 株 式 会 社

〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214

一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士 甲斐 宣行

構造設計一級建築士

第 号

附備設計一續表第 1

第 号

担当

—

作图	
----	--

[illegible]

設計年月

令和 7年 3月

变更年月	
------	--

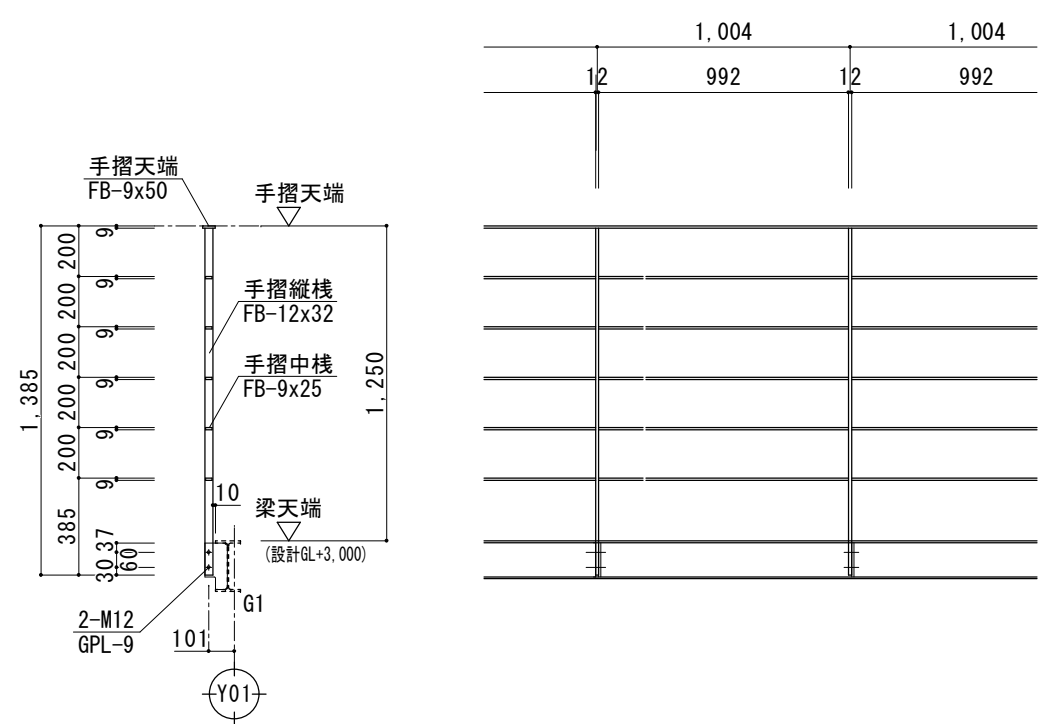
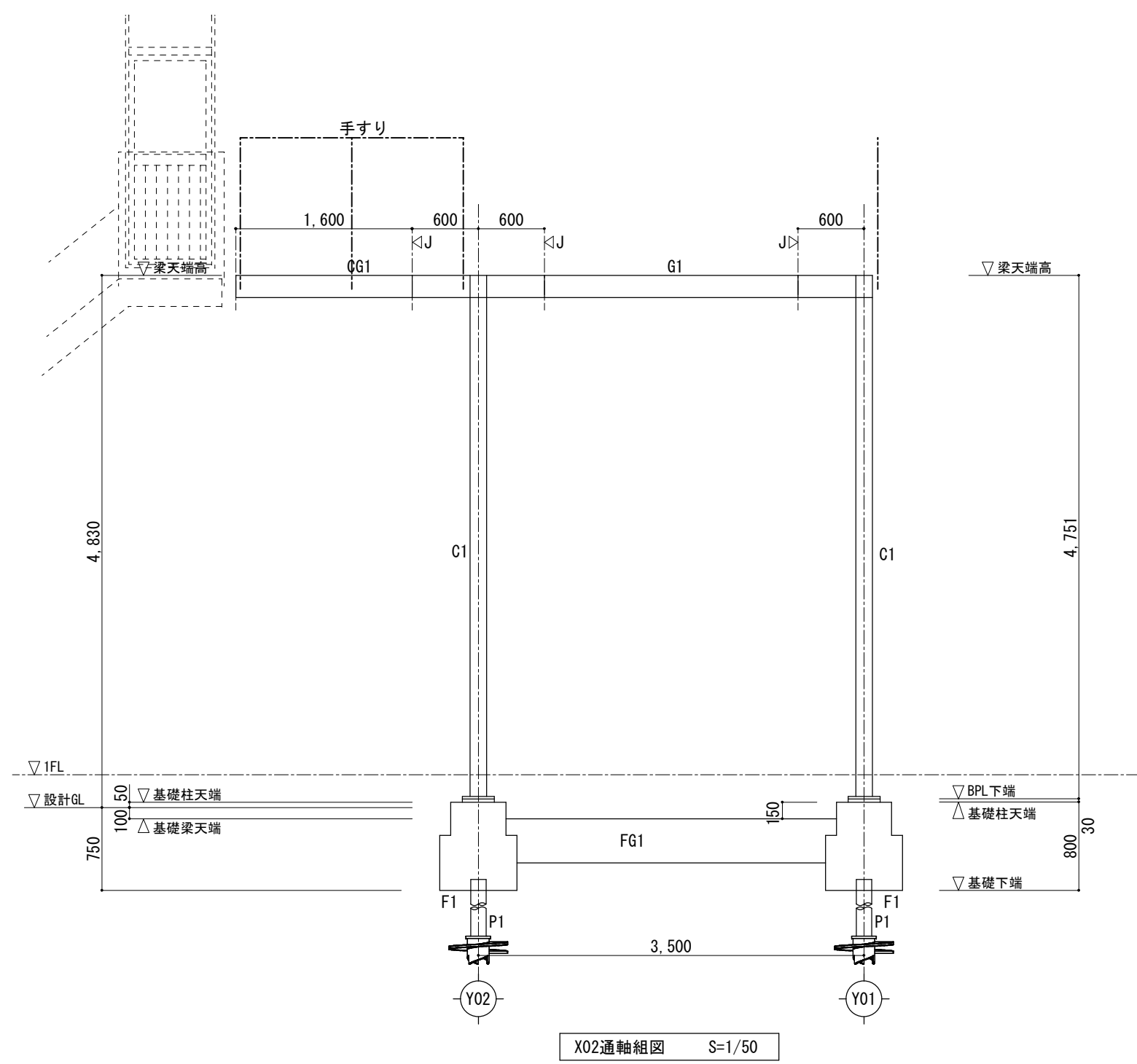
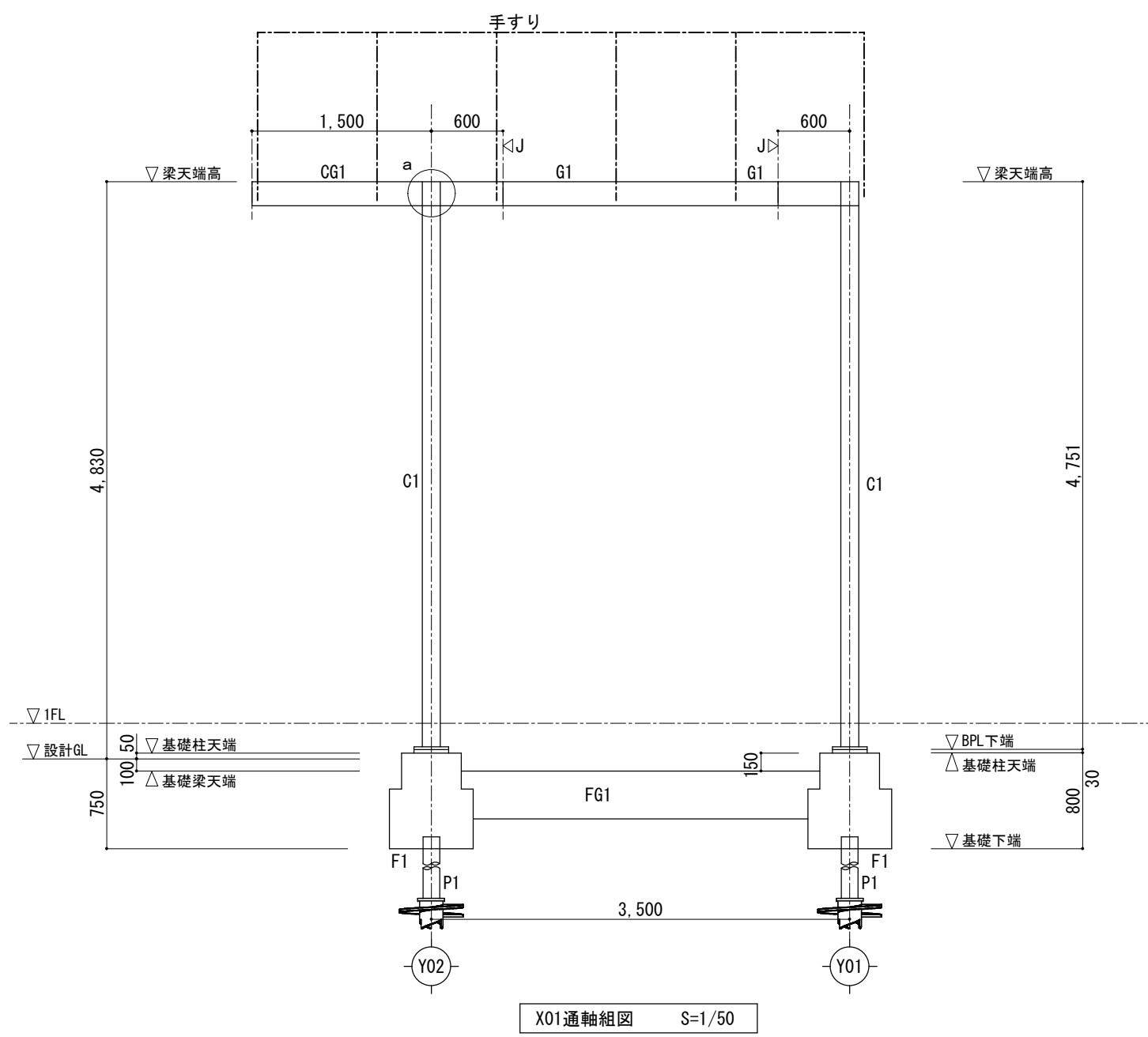
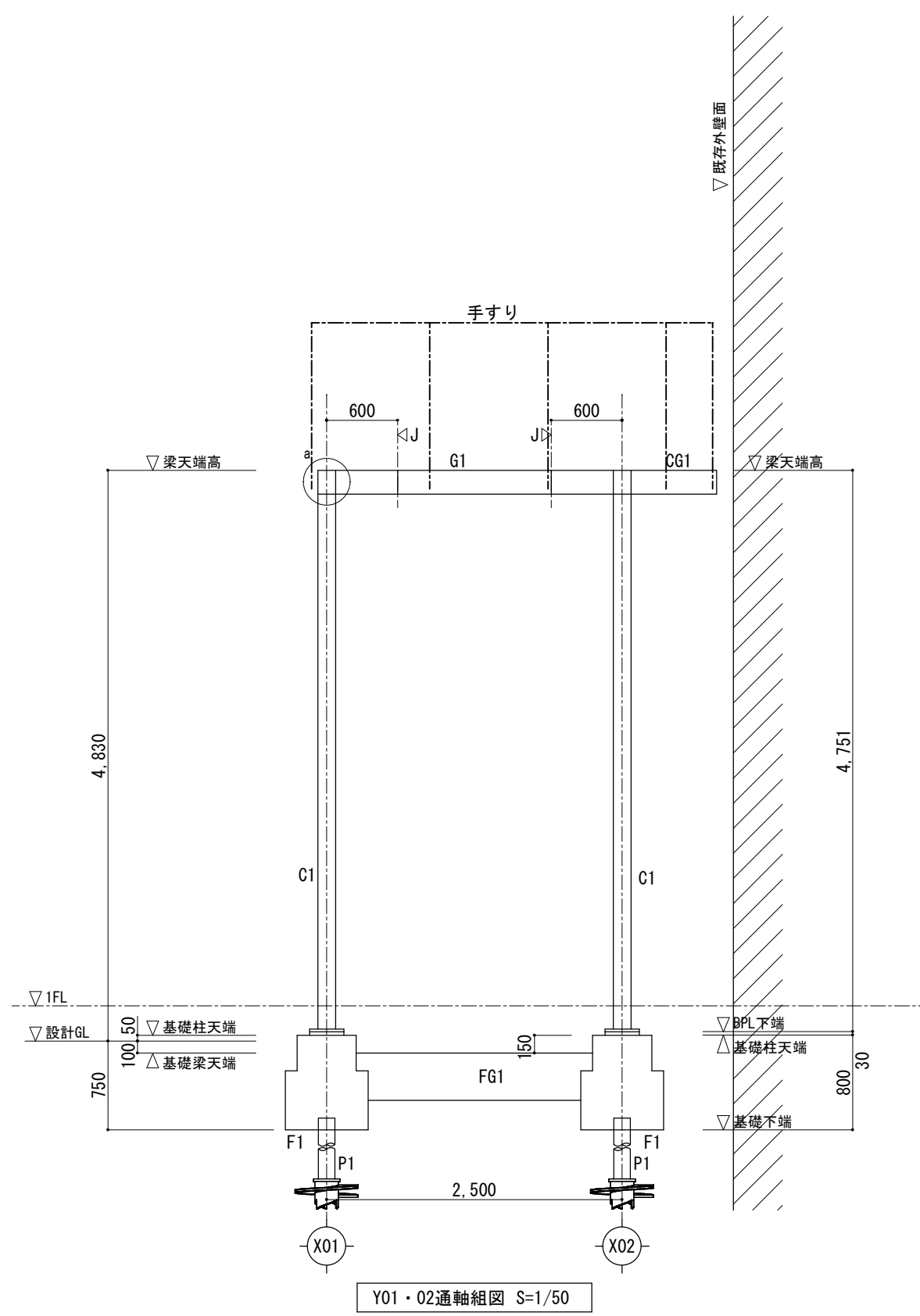
A

工事名称

福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事

図面名称	縮 尺
------	-----

発電機架台構造詳細図1	1:30	1:50
-------------	------	------



訂正			月 日			原 設 計 株 式 会 社			担当			設計年月			工事名称			区 分		
						〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号			-			令和7年3月			福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事			建築(A)		
						TEL 084-922-3213 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行			作図			変更年月			図面名称			縮 尺		
															発電機架台構造詳細図2			1:30 1:50		
																		A-11		

参考数量書

§ 工事名称 福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事

§ 工事場所 福山市沼隈町常石 1 8 5 7 番地 2

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

設 計 書

工事名称 福山地区消防組合西消防署沼隈内海出張所電気設備改修工事
工事場所 福山市沼隈町常石 1 8 5 7 番地 2

【工事概要】	
・電灯設備工事	．．． 一式
・動力設備工事	．．． 一式
・発電設備工事	．．． 一式
・構内配電線路工事	．．． 一式
・構内通信線路工事	．．． 一式
・発電機架台工事	．．． 一式

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

福 山 市

電気設備工事					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
電灯設備		1	式		
計					
動力設備		1	式		
計					
発電設備	非常用発電設備	1	式		
計					
構内配電線路	電灯・動力	1	式		
計					
校内通信線路	TEL	1	式		
計					
発電機架台	杭	1	式		
発電機架台	基礎	1	式		
発電機架台	鉄骨	1	式		
計					
仮設工事		1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

電気設備工事		電灯設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
電線		1	式			別紙 00-0720
ケーブル		1	式			別紙 00-0721
電線管		1	式			別紙 00-0722
照明器具		1	式			別紙 00-0723
盤類		1	式			別紙 00-0724
接地		1	式			別紙 00-0725
引留金具	HDZ35	1	個			
RC壁穴明け	φ 100x180L	3	か所			
(撤去)						
照明器具 撤去		1	式			別紙 00-0726
盤類		1	式			別紙 00-0727
計						

[illegible]

電気設備工事		構内配電線路		電灯・動力		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ケーブル		1	式			別紙 00-0733
電線管		1	式			別紙 00-0734
ハントホル鉄蓋	600φ 「電気」表示	1	枚			
地中埋設標	コンクリート製	1	個			
埋設標識シート	2倍長(W)150	3	m			
ハントホル穴明	φ65x100L	2	か所			
(撤去)						
電線 撤去		1	式			別紙 00-0735
ケーブル 撤去		1	式			別紙 00-0736
電線管 撤去		1	式			別紙 00-0737
盤類 撤去		1	式			別紙 00-0738
計						

福山市

電気設備工事		発電機架台		基礎		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
根切り(機械)	バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	14.3	m3			
埋戻し	機 械 バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	6.4	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
砂利地業	切込み砂利	0.6	m3			
残土処分		3.1	m3			
鉄筋		1	式			別紙 00-0739
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.3	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.3	t			
型枠	小型構造物用型枠 擁壁、囲障の基礎等 - -	15.8	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	15.8	m ²			
普通コンクリート		1	式			別紙 00-0740
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 - -	2.8	m3			
アスファルト舗装	A-5-15 再生密粒 再生クラッシュラン 特に狭い場所 人力	33.2	m ²			
(撤去)						
アスファルト舗装 撤去	A-5-15	31.9	m ²			
既存基礎撤去		1	式			
計						

電気設備工事		発電機架台		鉄骨		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(本体工事)						
鋼材		1	式			別紙 00-0741
購入材		1	式			別紙 00-0742
工場加工費	工作図供	5.4	t			
運搬費	場内小運搬共	5.4	t			
めっき費	HDZT49	5.4	t			
建方手間	本締め共、小運搬共	5.4	t			
建方重機費	付帯共	1	日			
あと施工アンカー	樹脂アンカー M-16 L-150 横向き	4	本			
アンカーボルト据付費		16	本			
柱下モルタル		4	か所			
検査費		5.4	t			
(付帯工事①)	既存施設改修					
付帯工事①	既存階段手摺 扉改造	1	か所			
(付帯工事②)	床工事					
鋼材・購入材		1	式			別紙 00-0743
取付手間	本締め共、小運搬共	30	m ²			
(付帯工事③)	手すり工事					
手すり	H=1.385 めっき	18.8	m			
計						

福山市

電気設備工事 電灯設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
電線		1	式			別紙 00-0720
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	22mm2	39	m			
計						
ケーブル		1	式			別紙 00-0721
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 2C 盤内 (旧盤～新設盤間)	86	m			
EM-CETケーブル	38mm2 管内	51	m			
EM-CETケーブル	38mm2 気中、盤内	5	m			
計						
電線管		1	式			別紙 00-0722
厚鋼電線管 (GPZ)	(42) 露出 溶融亜鉛メッキ 300g/m2以上	7	m			
厚鋼電線管 (溶融亜鉛めっき)	GZ54 露出配管	28	m			
耐衝撃性 硬質ビニル管 (HIVE)	露出配管 16mm	1	m			
金属製 可とう電線管 (F) (ビニル被覆有)	(38) エクステンション用等	1	m			
金属製 可とう電線管 (F) (ビニル被覆有)	(50) エクステンション用等	11	m			
計						

電気設備工事 電灯設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
照明器具		1	式			別紙 00-0723
LED照明器具 あ	埋込 2500lm	4	個			
LED照明器具 あ'	埋込 2500lm	9	個			
LED照明器具 あ''	埋込 5200lm 非常灯タイプ	5	個			
LED照明器具 い	埋込 1600lm	2	個			
LED照明器具 い'	埋込 1600lm 非常灯タイプ	3	個			
LED照明器具 う	露出 5200lm	37	個			
LED照明器具 う'	露出 5200lm 非常灯タイプ	2	個			
LED照明器具 え	ウォールライト 1200lm	1	個			
LED照明器具 お	露出笠付 5200lm	7	個			
LED照明器具 お'	露出笠付 5200lm 非常灯タイプ	2	個			
LED照明器具 か	露出笠付 800lm	6	個			
LED照明器具 か'	露出笠付 2500lm	4	個			
LED照明器具 き	階段誘導灯	1	個			
LED照明器具 く	ポーチライト 321lm	3	個			
LED照明器具 け	露出 5200lm	1	個			
LED照明器具 け'	露出 5200lm 非常灯タイプ	1	個			
LED照明器具 こ	殺菌灯	1	個			
LED照明器具 さ	タウナイト 埋込穴φ150 480lm	3	個			
LED照明器具 し	タウナイト 埋込穴φ150 495lm	1	個			

電気設備工事		電灯設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
照明器具		1	式			別紙 00-0723
LED照明器具 す	露出 9801m キッチンライト	1	個			
LED照明器具 せ	シーリングライト 7051m	1	個			
LED照明器具 そ	表示灯 (使用中)	1	個			
LED照明器具 た	ポーチライト 3651m	1	個			
LED照明器具 な	LBF3MP/RP -2 -06 LN	1	個			
計						
盤類		1	式			別紙 00-0724
引込開閉器盤	屋外型 LM	1	面			
電灯動力分電盤	露出型 LM-1	1	面			
電灯動力分電盤	露出型 LM-2	1	面			
端子台	20A 12Px6	1	個			
端子台	30A 6Px1	1	個			
端子台	20A 12Px5	1	個			
端子台	30A 10Px2	1	個			
SPD収容盤	クラス I 再使用	1	面			
計						

電気設備工事		電灯設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
接地		1	式			別紙 00-0725
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	14φ×1.5m～3連	1	か所			
接地極埋設標	金属製	1	枚			
計						
照明器具 撤去		1	式			別紙 00-0726
蛍光灯器具 撤去	埋込形 FL 20W ×2 再使用しない	5	個			
蛍光灯器具 撤去	埋込形 FL 40W ×1 再使用しない	4	個			
蛍光灯器具 撤去	埋込形 FL 40W ×2 再使用しない	14	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 20W ×1 再使用しない	20	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 40W ×2 再使用しない	50	個			
蛍光灯器具 撤去	ダウライト	4	個			
蛍光灯器具 撤去	壁付形 FL 20W ×1 再利用しない	1	個			
計						
盤類		1	式			別紙 00-0727
分電盤 撤去	LM-1 内機のみ	1	面			
分電盤 撤去	LM-2 内機のみ	1	面			
計						

電気設備工事		動力設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
電線		1	式			別紙 00-0728
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	22mm2	30	m			
600V二種ビニル絶縁電線 (HIV)	22mm2	14	m			
計						
ケーブル		1	式			別紙 00-0729
EM-CEケーブル	3.5mm2- 3C (旧盤～新設盤間)	12	m			
EM-CETケーブル	38mm2 管内	46	m			
計						
電線管		1	式			別紙 00-0730
厚鋼電線管 (GPZ)	(42) 露出 溶融亜鉛メッキ 300g/m2以上	35	m			
金属製 可とう電線管 (F) (ビニル被覆有)	(38) エキステンション用等	11	m			
計						
ボックス類		1	式			別紙 00-0731
フルボックスSS形 屋外 (SUS) WP	0.5㎡以上1.0㎡未満/個 (電灯・動力共用)	1	個			
フルボックスSS形 屋外 (SUS)	0.5㎡以上1.0㎡未満/個 (電灯・動力共用)	4	個			
計						

電気設備工事		発電設備		非常用発電設備		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管	オイルタンク～発電機	1	式			別紙 00-0732
配管用炭素鋼管	SGP 25A	4	m			
フレキシブルジョイント	油用ベローズ形 25A	4	個			
計						
電線管		1	式			別紙 00-0748
厚鋼電線管 (溶融亜鉛めっき)	GZ16 露出配管	24	m			
金属製 可とう電線管(F) (ビニル被覆有)	(17) エクステンション用等	9	m			
計						
配線		1	式			別紙 00-0749
EM-CEEケーブル	2mm2- 4C 管内	33	m			
計						

電気設備工事		構内配電線路		電灯・動力		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ケーブル		1	式			別紙 00-0733
EM-CEケーブル	8mm2- 3C 管内	2	m			
EM-CEケーブル	8mm2- 3C FEP内 (PF・CD)	44	m			
計						
電線管		1	式			別紙 00-0734
厚鋼電線管 (GPZ)	(28) 露出 溶融亜鉛メッキ 300g/m2以上	2	m			
波付硬質合成樹脂管 (FEP)	(30)	10	m			
計						
電線 撤去		1	式			別紙 00-0735
600V絶縁電線 撤去	22mm2 × 1本 再使用しない	9	m			
600V絶縁電線 撤去	38mm2 × 1本 再使用しない	7	m			
計						

電気設備工事		構内配電線路		電灯・動力		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ケーブル 撤去		1	式			別紙 00-0736
(動力)						
CVケーブル 撤去	5.5mm2-3C 管内 再使用しない	2	m			
CVケーブル 撤去	5.5mm2-3C FEP管内 再使用しない	8	m			
CVケーブル 撤去	38mm2-3C 管内 再使用しない	8	m			
CVケーブル 撤去	38mm2-3C FEP管内 再使用しない	45	m			
CVケーブル 撤去	38mm2-3C W.D内 再使用しない	1	m			
(電灯)						
CVケーブル 撤去	38mm2-3C 管内 再使用しない	7	m			
CEケーブル 撤去	5.5mm2-3C 管内 再使用しない	4	m			
CEケーブル 撤去	5.5mm2-3C FEP管内 再使用しない	6	m			
CETケーブル 撤去	38mm2-3C 管内 再使用しない	3	m			
CETケーブル 撤去	38mm2-3C FEP管内 再使用しない	56	m			
計						

電気設備工事		構内配電線路		電灯・動力		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
電線管 撤去		1	式			別紙 00-0737
硬質ビニル電線管 撤去	(VE36, HIVE36) 再使用しない	2	m			
硬質ビニル電線管 撤去	(VE42, HIVE42) 再使用しない	8	m			
金属製 可とう電線管(F) (ビニル被覆有)撤去	(38) エクスパンション用等 再使用しない	1	m			
金属製 可とう電線管(F) (ビニル被覆有)撤去	(50) エクスパンション用等 再使用しない	1	m			
計						
盤類 撤去		1	式			別紙 00-0738
引込計器盤 撤去	LM	1	面			
SPD収容盤 撤去	クラス I 再使用する	1	面			
計						

福山市

電気設備工事		発電機架台		基礎		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鉄筋		1	式			別紙 00-0739
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10 少量	0.11	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13 少量	0.02	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D16	0.09	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D19	0.08	t			
計						
普通コンクリート		1	式			別紙 00-0740
普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度24 S18 粗骨材20	2.8	m ³			
計						

電気設備工事		発電機架台		鉄骨		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材		1	式			別紙 00-0741
□-150x150x9	STKR400	2,991	kg			
H-200x100x5.5x8	SS400	2,105	kg			
コ-100x50x5x7.5	SS400	163	kg			
PL-32、16	SN400C	131	kg			
PL-16	SS400	73	kg			
PL-9	SS400	106	kg			
PL-6	SS400	22	kg			
計						
購入材		1	式			別紙 00-0742
アンカーボルト	M-16 L=720 ABR400	16	本			
フレース	M-16 TB付 JIS5540 L=900	32	m			
HTB	M-16 L=45 F8T	40	組			
HTB	M-16 L=50 F8T	160	組			
HTB	M-16 L=45 F8T	92	組			
計						

電気設備工事		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
有価物処理費		1	式			別紙 00-0744
有価物処理費	銅くず	134	kg			
有価物処理費	ナット処理	177	kg			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0745
運搬費	コンクリートガラ	1	式			
運搬費	廃プラ	1	式			
運搬費	残土	1	式			
運搬費	蛍光管	1	式			
計						
発生材処理費		1	式			別紙 00-0746
発生材処理費	コンクリートガラ	1.67	t			
発生材処理費	廃プラ	0.62	t			
発生材処理費	鉄くず H3	277	kg			
発生材処理費	残土	4	t			
発生材処理費	ランプ	34.4	kg			
計						

